



第五次総合計画アンケート指標の 令和2年度実績値について

令和2年9月
企画政策部企画課

第1 調査の趣旨

1 調査の趣旨

アンケート調査は、第五次総合計画前期基本計画の計画期間である平成29（2017）年度から令和3（2021）年度の間、毎年度、「市民アンケート」と「幸せ実感モニター」の2つを実施しています。

市民アンケートは、第五次総合計画前期基本計画の基本施策に設定した91のアンケート指標（市民が思う割合）の実績値について把握するために実施するものです。

幸せ実感モニターは、いわゆる定点観測として、一定期間継続的に同一者による回答により、行政施策の評価や市民意識の推移とその理由等を詳細に把握するために実施するものです。

アンケート調査で把握したアンケート指標の実績値は、施策ごとに設定している「目指す状態」の達成に向けた主な取組の成果を表すものとして、統計指標とともに進捗度合いをはかるもので、第五次総合計画前期基本計画の進捗管理（行政評価の施策評価）に用います。

2 報告書の位置付けと活用

本報告書は、アンケートの調査分析結果を示すことで、アンケート指標の目標達成に向けて、各担当部局が実施する行政評価の施策評価（一次評価）や、次年度以降の主な取組とその予算編成に利活用できるようにしたものです。

また、各部局において、より詳細な分析等ができるよう、報告書及びアンケート集計データ等を以下に掲載しています。

【掲載場所】

Garoon / ファイル管理 / 004:企画政策部 / 1000:企画課 / 共有文書

3 報告書の構成

第1 調査の趣旨	1
第2 市民アンケート調査の概要	2
第3 幸せ実感モニター調査の概要	5
第4 総括	8
第5 集計結果	10
第6 アンケート指標の推移及び実績値等上位順	14
第7 施策別の分析結果	32

第2 市民アンケート調査の概要

1 調査期間

令和2年6月10日(水)から6月24日(水)

2 対象者

長野市内在住の18歳以上の男女5,000人

3 標本の抽出

住民基本台帳（令和2年6月1日現在）から無作為抽出

4 調査方法

返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

回収標本数 3,182票

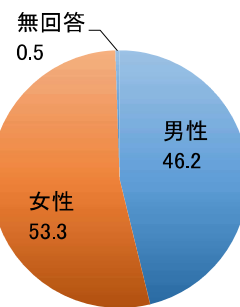
回収率 63.6%

6 属性に関する結果概要

(1) 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	1,469	46.2
女性	1,696	53.3
無回答	17	0.5
合計	3,182	100.0

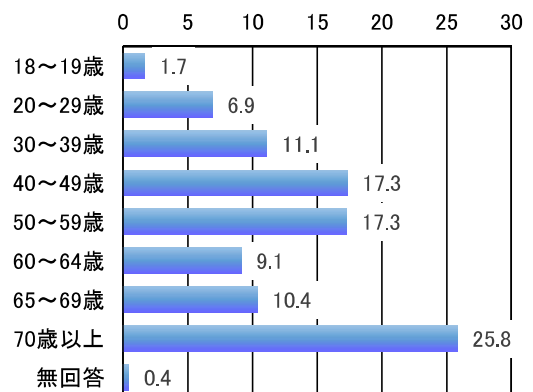
回答者性別(総数3,182、単位%)



(2) 年齢構成

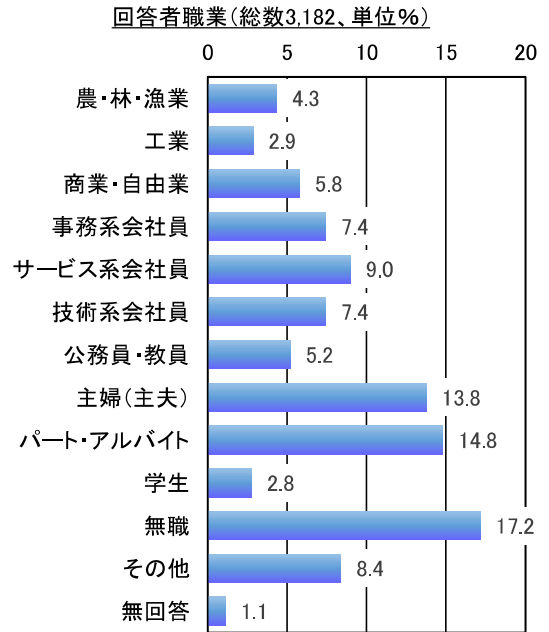
選択肢	回答数(人)	割合(%)
18~19歳	53	1.7
20~29歳	220	6.9
30~39歳	353	11.1
40~49歳	551	17.3
50~59歳	549	17.3
60~64歳	290	9.1
65~69歳	330	10.4
70歳以上	822	25.8
無回答	14	0.4
合計	3,182	100.0

回答者年齢(総数3,182、単位%)



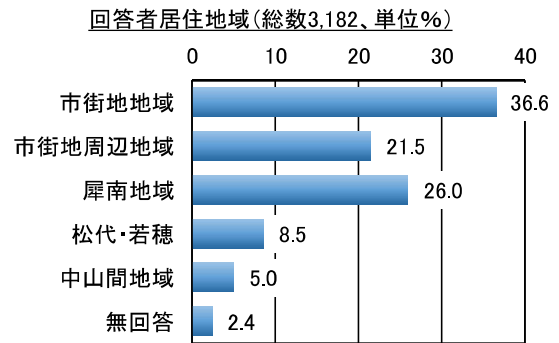
(3) 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農・林・漁業	138	4.3
工業	91	2.9
商業・自由業	184	5.8
事務系会社員	236	7.4
サービス系会社員	286	9.0
技術系会社員	236	7.4
公務員・教員	166	5.2
主婦(主夫)	438	13.8
パート・アルバイト	471	14.8
学生	88	2.8
無職	546	17.2
その他	267	8.4
無回答	35	1.1
合計	3,182	100.0



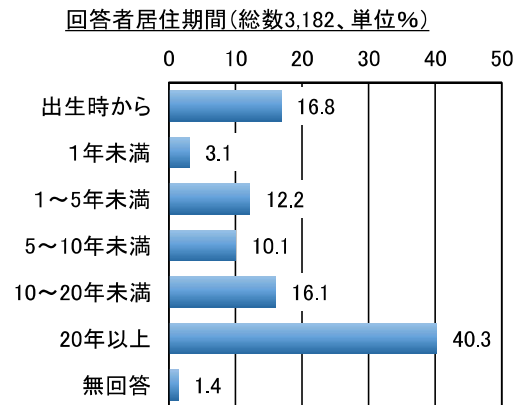
(4) 居住地域

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地地域	1,164	36.6
市街地周辺地域	684	21.5
犀南地域	826	26.0
松代・若穂	272	8.5
中山間地域	160	5.0
無回答	76	2.4
合計	3,182	100.0



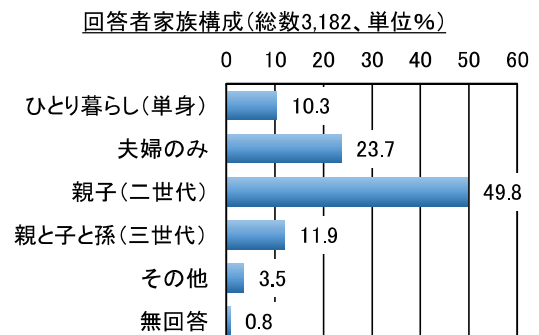
(5) 居住期間(※市民アンケートのみ)

選択肢	回答数(人)	割合(%)
出生時から	536	16.8
1年未満	100	3.1
1~5年未満	388	12.2
5~10年未満	320	10.1
10~20年未満	511	16.1
20年以上	1,282	40.3
無回答	45	1.4
合計	3,182	100.0



(6) 家族構成

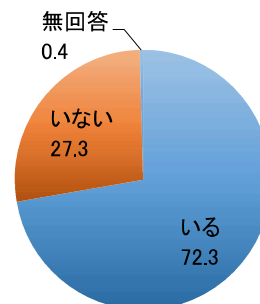
選択肢	回答(人)	割合(%)
一人暮らし(单身)	327	10.3
夫婦のみ	753	23.7
親子(二世帯)	1,586	49.8
親と子と孫(三世帯)	379	11.9
その他	112	3.5
無回答	25	0.8
合計	3,182	100.0



(7-1) 子どもの有無

選択肢	回答数(人)	割合(%)
いる	2,300	72.3
いない	868	27.3
無回答	14	0.4
合計	3,182	100.0

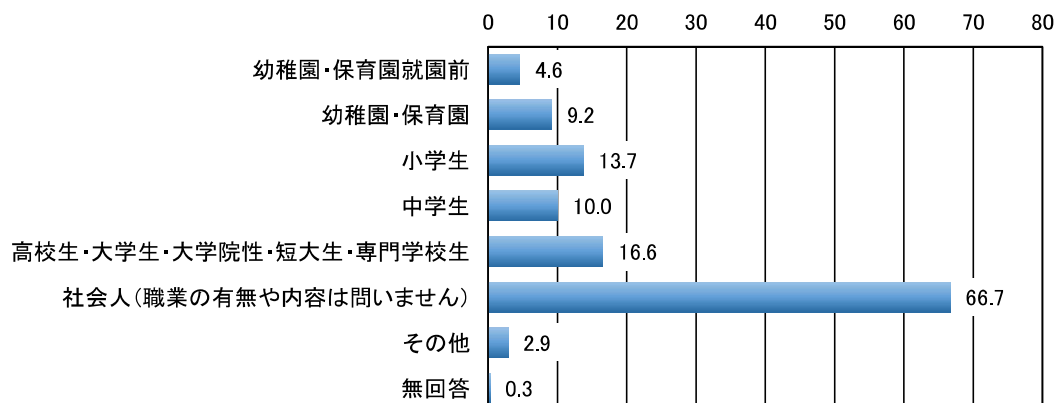
お子さんの有無(総数3,182、単位%)



(7-2) 子どもの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	106	4.6
幼稚園・保育園	212	9.2
小学生	316	13.7
中学生	230	10.0
高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生	381	16.6
社会人(職業の有無や内容は問いません)	1,534	66.7
その他	67	2.9
無回答	7	0.3
合計(%ベース)	2,300	100.0

お子さんの状況(総数2,300、単位%)



第3 幸せ実感モニター調査の概要

1 調査期間

令和2年6月10日(水)～7月5日(日)

2 対象者

長野市内在住又は通勤・通学の17歳(令和2年6月1日現在)以上の男女189人

3 標本の抽出

平成28年募集による応募者

4 調査方法

ながの電子申請への入力方式及び返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

回収標本数 135票

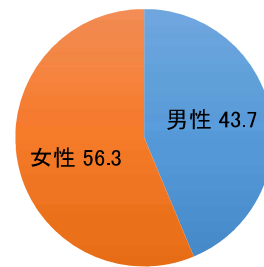
回収率 71%

6 属性に関する結果概要

(1) 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	59	43.7
女性	76	56.3
無回答	0	0.0
合計	135	100.0

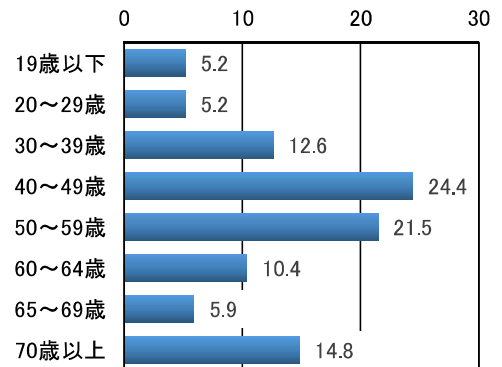
回答者性別(総数135、単位%)



(2) 年齢

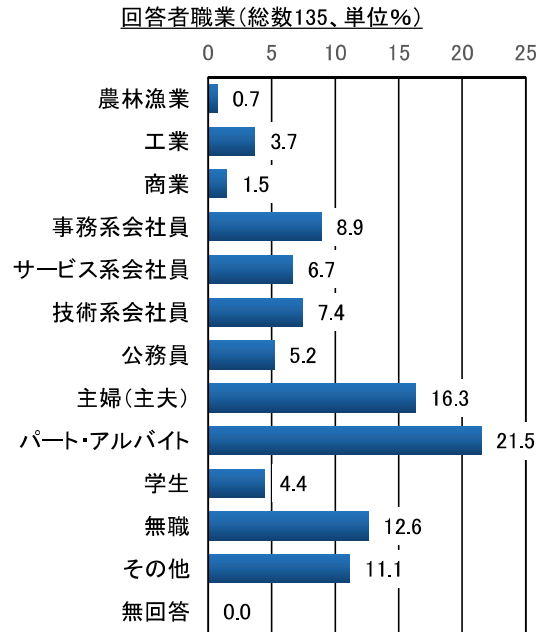
選択肢	回答数(人)	割合(%)
19歳以下	7	5.2
20～29歳	7	5.2
30～39歳	17	12.6
40～49歳	33	24.4
50～59歳	29	21.5
60～64歳	14	10.4
65～69歳	8	5.9
70歳以上	20	14.8
合計	135	100.0

回答者年齢(総数135、単位%)



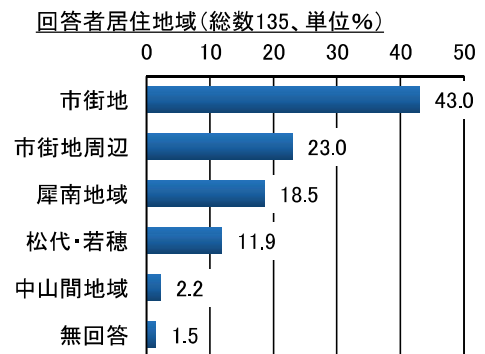
(3) 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農林漁業	1	0.7
工業	5	3.7
商業	2	1.5
事務系会社員	12	8.9
サービス系会社員	9	6.7
技術系会社員	10	7.4
公務員	7	5.2
主婦(主夫)	22	16.3
パート・アルバイト	29	21.5
学生	6	4.4
無職	17	12.6
その他	15	11.1
無回答	0	0.0
合計	135	100.0



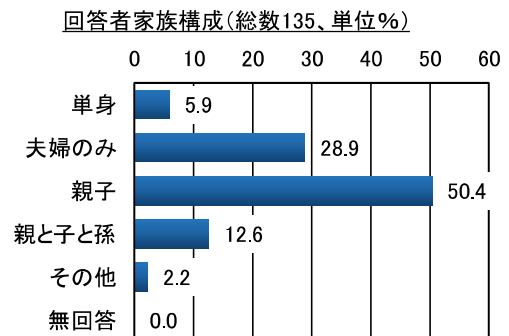
(4) 居住地

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地	58	43.0
市街地周辺	31	23.0
犀南地域	25	18.5
松代・若穂	16	11.9
中山間地域	3	2.2
無回答	2	1.5
合計	135	100.0



(5) 家族構成

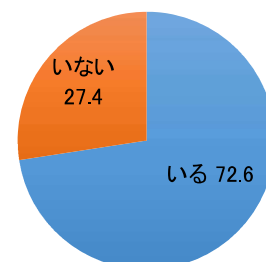
選択肢	回答数(人)	割合(%)
単身	8	5.9
夫婦のみ	39	28.9
親子	68	50.4
親と子と孫	17	12.6
その他	3	2.2
無回答	0	0.0
合計	135	100.0



(6-1) 子どもの有無

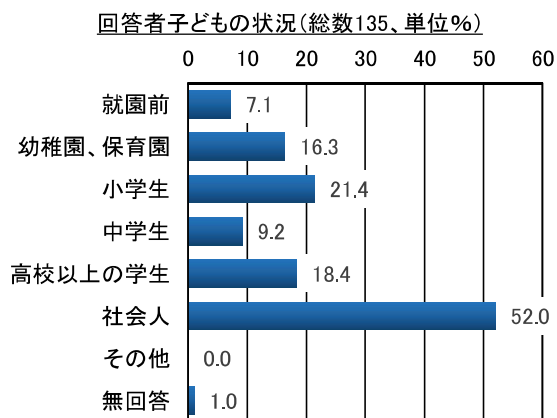
選択肢	回答(人)	割合(%)
いる	98	72.6
いない	37	27.4
無回答	0	0.0
合計	135	100.0

回答者子どもの有無(総数135、単位%)



(6-2) 子どもの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
就園前	7	7.1
幼稚園、保育園	16	16.3
小学生	21	21.4
中学生	9	9.2
高校以上の学生	18	18.4
社会人	51	52.0
その他	0	0.0
無回答	1	1.0
合計(%ベース)	98	100.0



第4 総括

本年度は、第五次総合計画前期基本計画の策定から4年度目に当たるため、中間報告として、現状値（H28）と4年間（H29～R2）の平均値を比較・検証しました。

- 平均値が5ポイント以上上昇した指標はありませんでした（P28～31参照）。
一方で、平均値が5ポイント以上低下した8指標（うち「環境や体制に関する評価」7指標、「回答者自身の実践状況」1指標）は以下のとおりです。

順位	増減 (a-b)	平均 (H29～R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
【環境や体制に関する評価】						
53	-9.8	54.1	63.9	↗	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
52	-8.1	40.9	49.0	↗	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
51	-7.7	44.9	52.6	↗	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
50	-6.3	34.4	40.7	↗	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
49	-5.7	43.8	49.5	↗	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
48	-5.4	52.0	57.4	↗	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
47	-5.3	39.7	45.0	↗	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
【回答者自身の実践状況】						
38	-6.4	64.8	71.2	↗	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている

※「目標」は、現状値と比較して計画期間の平均値を5ポイント以上の上昇とする場合 ↗

現状維持(5ポイント未満までの上昇)とする場合 ⇨と記載

- 上記指標の「モニターの主な否定的意見」のうち、代表的意見は以下のとおりです。

順位	施策コード	指標名	モニターの主な否定的意見（代表的なもののみ抜粋）
【環境や体制に関する評価】			
53	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である	<ul style="list-style-type: none"> ✓共働き、働く女性の、子育てへの支援や配慮が足りない(R2) ✓子どもが少なくなり、育児や教育環境に支障(R2) ✓子ども連れで安心して遊べる施設が少ない(H30・R2) ✓出産できる医療機関が減っている(H29・R2) ✓子育て支援制度・サービスが不十分(R1・R2)
52	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通機関の便が悪い。車がないと生活できない(H29・30・R1・R2) ✓中山間地・過疎地区、あるいは中心市街地でも、環境が整っていない(H29・R2) ✓地域社会・隣近所の付き合いが希薄(R2) ✓地域の病院やスーパーがどんどん減っている(R2)

順位	施策コード	指標名	モニターの主な否定的意見（代表的なもののみ抜粋）
【環境や体制に関する評価】			
51	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ イベント自体が少ない(H30・R2) ✓ イベントが一過性で賑わいにつながっていない(H29・R1・R2) ✓ 今年は新型コロナによる自粛が影響(R2)
50	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 考え方が古い、保守的、農村社会型(R1・R2) ✓ 意識が低い。排他的・閉鎖的。かかわりを嫌う(H30・R2) ✓ LGBT の人はまだ受け入れられていない(R2) ✓ 個性や尊重し合える環境がない。同調圧力を感じるから(H30・R2)
49	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 施設や環境が整っていない(R2) ✓ サポートやアフターケア、情報不足(H29・H30・R1・R2) ✓ コロナ禍で自粛、ジムも閉鎖(R2)
48	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保育園に入る為にはいろいろと条件が厳しい(H29・H30・R1・R2) ✓ 特徴のある教育・保育を(R2) ✓ 保育園が遠すぎる。車での送迎がしにくい立地(R2)
47	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動しやすい環境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 交通手段や施設整備の遅れで、外に出るのが大変(H29・R1・R2) ✓ 活動内容が解らない。お誘いが少ない(H29・H30・R2) ✓ 数年前から老人クラブがなくなってしまい残念(R2)
【回答者自身の実践状況】			
38	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あまり外などで子供を見かけない。地域に子供がいない(H29・R2) ✓ 今の時世、不審者扱いされる可能性がある(H30・R1・R2)

なお、上記指標に共通する課題としては、以下の4点が挙げられます。

①少子化対策

【環境・体制】 2-1-1

【回答者自身】 5-1-3

②地域における交流促進、地域コミュニティの再生

【環境・体制】 2-2-1、2-2-2、2-5-1

③交通ネットワークの充実

【環境・体制】 2-1-2、2-2-1、2-2-2

④情報発信

【環境・体制】 2-2-1、2-4-1

第5 集計結果

I 環境や体制に関する評価 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分からない	無回答
1-1-1	市民の声が市政に反映されている	2.5	18.7	33.8	15.1	27.7	2.0
1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている	6.6	31.9	25.4	10.2	24.0	1.9
1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている	2.8	19.4	32.4	12.4	31.0	2.0
1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	2.7	20.6	31.9	13.5	29.3	2.0
	市の職員に好感が持てる	10.4	36.9	20.8	10.3	19.8	1.7
1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる	5.5	25.8	27.7	10.3	28.8	1.9
2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である	12.9	43.4	16.9	5.2	19.5	2.0
2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	12.7	40.9	14.4	4.2	25.6	2.1
2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている	5.2	25.4	22.2	5.7	39.3	2.3
2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	7.4	33.0	25.6	7.2	24.7	2.1
2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	8.7	36.4	26.5	9.9	16.6	1.9
2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	4.2	21.7	31.0	10.7	30.5	1.9
2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	10.3	36.7	30.1	13.1	8.0	1.7
2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている	4.3	21.1	30.0	11.8	30.8	1.9
2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	7.8	37.5	28.8	8.5	15.4	2.0
2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	3.6	17.2	33.9	13.4	29.9	2.0
2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	15.7	47.1	19.0	6.4	10.0	1.8
2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	6.2	29.7	28.3	11.2	22.6	2.0
2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	4.7	22.3	30.9	12.4	27.7	1.9
3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	4.6	20.2	38.5	19.5	15.1	2.0
3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	10.5	34.9	32.8	11.7	8.4	1.7
3-2-1	豊かな自然環境が保たれている	20.8	51.7	16.0	4.9	4.8	1.9
3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている	21.6	52.5	15.5	4.8	3.6	2.0
4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	5.4	26.9	32.9	13.8	18.8	2.2
4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている	14.3	47.4	15.3	4.6	16.4	2.1
4-2-1	交通マナーが良い地域である	13.0	41.9	26.3	11.9	5.0	2.0
4-2-2	地域で防犯に向けた取組が行われている	7.8	34.4	28.6	8.1	19.1	2.0
4-2-3	特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	5.3	25.3	24.3	7.5	35.6	2.1

I 環境や体制に関する評価 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	分からない	無回答
5-1-1	子どもがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている	13.9	33.7	21.4	5.2	23.2	2.6
5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	12.7	34.7	22.1	4.9	23.2	2.5
5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	16.3	39.6	18.1	4.8	18.6	2.5
5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている	14.6	30.3	24.7	10.6	17.5	2.3
5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	14.0	31.6	25.0	9.5	17.6	2.3
5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	9.8	29.8	32.9	14.8	10.4	2.2
5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	14.7	39.4	19.7	5.9	18.0	2.3
5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	16.4	37.5	26.9	9.2	7.9	2.1
5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	7.7	25.3	33.3	17.9	13.7	2.1
5-5-1	国際交流が盛んに行われている	2.5	12.4	35.1	22.8	24.8	2.3
6-1-1	長野市は、魅力的な観光都市である	24.4	42.3	20.7	8.1	2.5	2.0
6-1-2	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	9.6	31.3	37.7	12.8	6.7	1.9
6-1-3	野菜や果物づくりをしている人が増えている	14.1	32.9	27.2	9.1	15.0	1.8
6-2-1	野菜や果物づくりをしている人が増えている	14.1	32.9	27.2	9.1	15.0	1.8
6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	58.4	31.4	4.8	2.3	1.6	1.5
6-2-3	森林が整備されている地域である	11.9	30.5	27.6	12.2	16.1	1.7
6-3-1	活力のある企業が多い地域である	3.7	23.2	40.6	14.9	16.0	1.7
6-3-2	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	5.9	28.0	37.1	17.6	9.7	1.6
6-3-3	新たな雇用が生まれている	1.5	7.2	43.1	23.5	22.9	1.7
6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている	1.5	12.2	40.9	24.4	19.4	1.7
6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	4.7	30.5	35.4	11.8	16.2	1.5
7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である	12.1	36.0	31.3	14.1	4.7	1.8
7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている	13.8	41.5	26.1	9.3	7.3	2.0
7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	4.1	27.7	41.3	15.4	9.6	1.9
7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である	14.4	46.1	26.4	8.0	3.0	2.1
7-2-1	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	8.1	26.4	34.7	24.6	4.3	1.9
7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	8.1	26.4	34.7	24.6	4.3	1.9

II 回答者自身の実践状況 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	当はまる	やや当はまる	あまり当はまらない	当はまらない	分からない	無回答
1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	2.0	6.5	20.3	64.2	5.2	1.8
1-1-2	住民自治協議会、区、自治会などの活動やまちづくりに関わるボランティア活動などに参加している	7.5	16.5	18.1	52.6	3.5	1.8
2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	12.2	36.3	24.5	17.6	7.7	1.7
2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	13.1	41.6	23.9	14.5	5.3	1.6
2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	17.0	47.8	20.0	8.9	4.5	1.8
2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	17.9	43.5	21.4	12.4	3.2	1.6
2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	23.1	40.2	22.4	10.5	2.3	1.5
2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	24.2	44.2	17.6	8.7	3.6	1.6
2-4-3	かかりつけ医がいる	48.7	26.0	9.9	12.8	1.4	1.2
2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている	18.5	38.0	23.1	10.7	8.0	1.7
2-5-2	男女共同参画について理解を深めようとしている	15.8	35.4	24.5	11.8	10.9	1.5
3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	13.5	26.9	30.0	24.9	3.3	1.5
3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	35.2	49.2	10.6	3.0	0.8	1.2
	使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる	22.2	42.9	23.2	8.5	1.9	1.4
	ごみの分別を徹底している	61.9	31.8	3.6	0.9	0.5	1.2
3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	14.3	39.0	28.9	10.9	5.5	1.4
3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	15.0	31.7	26.0	21.1	4.5	1.6
4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	17.1	34.1	26.2	20.2	1.2	1.2
4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	10.6	23.4	30.7	32.0	1.9	1.3
4-2-1	自動車や自転車の交通マナーを意識して生活している	48.5	41.5	4.9	2.7	1.1	1.3
4-2-2	犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している	6.3	17.4	32.1	39.8	2.8	1.5
4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	22.2	35.5	21.9	17.1	2.2	1.2

II 回答者自身の実践状況 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	当はまる	やや当はまる	あまり 当はまらない	当はまらない	分からない	無回答
5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている	21.0	43.1	21.5	10.3	2.3	1.7
5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している	6.6	16.8	25.2	45.4	4.1	1.9
5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	2.6	10.5	30.6	46.2	8.0	2.1
5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる	9.2	23.4	29.9	31.5	3.8	2.2
5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している	8.6	25.5	26.5	34.8	2.6	1.9
5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	5.0	15.4	25.6	49.7	2.4	1.9
5-5-1	国際交流イベントに参加している	0.9	3.0	18.8	72.5	3.1	1.9
5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている	7.7	22.8	24.9	36.4	6.3	2.0
6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	7.6	25.3	31.6	29.4	4.0	2.1
6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	7.7	27.0	27.8	27.8	7.9	1.8
6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	18.9	24.6	15.9	37.5	1.5	1.7
6-2-2	地元産の農作物を意識的に買うように心がけている	38.8	39.4	10.8	8.0	1.2	1.7
6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている	43.7	37.7	9.5	6.1	1.1	1.8
7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	28.1	43.1	15.2	9.0	3.0	1.7
7-2-1	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	11.5	9.8	18.6	56.3	1.9	1.8
	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	18.3	31.0	25.0	18.4	5.1	2.1

第6 アンケート指標の推移

●：環境や体制に関する評価（53項目）



：現状値と比較して計画期間の平均値を5ポイント以上の上昇

○：回答者自身の実践状況（38項目）



：現状維持(5ポイント未満までの上昇)

施策コード／施策名		肯定的回答割合の合算値(%)							担当部局
区分	指標名	現状値	実績値					平均	目標
		H28	H29	H30	R1	R2	R3		
1-1-1 市民とともに作る市政の推進		企画政策部							
●	市民の声が市政に反映されている	19.2	19.0	18.4	18.7	21.2		19.3	↗
○	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	9.8	9.4	10.0	7.7	8.5		8.9	↗
1-1-2 市民によるまちづくり活動への支援		地域・市民生活部							
●	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている	36.3	38.0	36.1	36.3	38.5		37.2	↗
○	住民自治協議会、区、自治会などの活動やまちづくりに関わるボランティア活動などに参加している	23.2	23.5	23.6	23.1	24.0		23.6	↗
1-2-1 効果的で効率的な行財政運営の推進		総務部、財政部							
●	効果的で効率的な行政運営が行われている	20.4	19.5	18.6	20.1	22.2		20.1	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進		総務部、企画政策部							
●	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	20.2	19.2	19.5	20.4	23.3		20.6	↗
●	市の職員に好感が持てる	45.2	43.4	44.7	43.8	47.3		44.8	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
1-2-3 地方中核都市としての役割の遂行		企画政策部							
●	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に、発展に向けて取り組んでいる	30.9	28.8	27.1	29.2	31.3		29.1	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援		こども未来部、保健福祉部							
●	子どもを産み育てやすい地域である	63.9	52.9	54.8	52.3	56.3		54.1	↗
○	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	45.3	47.9	42.5	45.2	48.5		46.0	↗
2-1-2 子どもの成長を育む環境の充実		こども未来部、保健福祉部							
●	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	57.4	51.5	52.1	50.9	53.6		52.0	↗
○	[再掲:2-1-1 子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている]	45.3	47.9	42.5	45.2	48.5		46.0	↗
2-1-3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援		こども未来部、保健福祉部							
●	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている	32.5	27.8	28.0	26.4	30.6		28.2	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—

施策コード／施策名		担当部局							
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)							目標
		現状値	実績値						
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均	
2-2-1 高齢者の社会参加と生きがいつくりの推進		保健福祉部							
●	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	45.0	40.5	39.5	38.2	40.4		39.7	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
2-2-2 高齢者福祉サービスの充実		保健福祉部							
●	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	49.0	42.4	38.5	37.6	45.1		40.9	↗
○	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	52.5	56.6	49.7	52.3	54.7		53.3	↗
2-3-1 障害者(児)福祉の充実		保健福祉部							
●	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	26.7	23.4	22.4	21.9	25.9		23.4	↗
○	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	65.2	67.9	63.3	64.3	64.8		65.1	↗
2-3-2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現		保健福祉部							
●	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	49.7	45.0	46.0	42.6	47.0		45.2	↗
○	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	55.6	61.3	57.9	59.1	61.4		59.9	↗
2-3-3 生活の安定と自立への支援		保健福祉部							
●	生活に困った時に相談できる体制が整っている	27.3	23.5	21.7	22.4	25.4		23.3	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
2-4-1 健康の保持・増進の支援		保健福祉部							
●	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	49.5	43.9	43.3	42.7	45.3		43.8	↗
○	健康づくりに継続的に取り組んでいる	56.8	62.8	60.1	58.9	63.3		61.3	↗
2-4-2 保健衛生の充実		保健福祉部							
●	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	21.7	17.8	17.4	16.7	20.8		18.2	↗
○	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	64.8	69.2	69.0	66.4	68.4		68.3	↗
2-4-3 地域医療体制の充実		保健福祉部							
●	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	62.9	58.4	60.3	58.2	62.8		59.9	↗
○	かかりつけ医がいる	75.4	73.7	74.3	74.7	74.7		74.4	↗
2-5-1 人権尊重社会の実現		地域・市民生活部							
●	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	40.7	34.5	34.2	33.1	35.9		34.4	↗
○	人権問題について理解を深めようとしている	52.4	55.9	54.1	52.3	56.5		54.7	↗
2-5-2 男女共同参画社会の実現		地域・市民生活部							
●	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	29.0	25.5	24.1	23.1	27.0		24.9	↗
○	男女共同参画について理解を深めようとしている	47.3	50.3	48.6	49.6	51.2		49.9	↗

施策コード／施策名		担当部局							
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)							
		現状値	実績値					目標	
			H28	H29	H30	R1	R2		R3
3-1-1 低炭素社会の実現		環境部							
●	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	27.4	37.0	27.4	24.3	24.8		28.9	↗
○	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	43.3	44.0	40.9	38.0	40.4		40.8	↗
3-1-2 循環型社会の実現		環境部							
●	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	50.0	58.6	47.3	44.4	45.4		48.9	↗
○	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	81.7	81.0	82.9	81.7	84.4		82.5	→
○	使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる	62.6	60.8	63.4	62.8	65.1		63.0	↗
○	ごみの分別を徹底している	93.3	91.5	92.5	92.2	93.7		92.5	→
3-2-1 豊かな自然環境の保全		環境部							
●	豊かな自然環境が保たれている	73.6	71.6	69.1	69.1	72.5		70.6	→
○	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	50.2	46.9	49.5	49.6	53.3		49.8	↗
3-2-2 良好な生活環境の保全		環境部							
●	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている	74.1	71.6	71.0	71.0	74.1		71.9	→
○	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	48.8	50.6	45.2	46.7	46.7		47.3	↗
4-1-1 防災・減災対策の推進		総務部							
●	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	35.5	35.7	34.0	32.9	32.3		33.7	↗
○	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	41.1	37.2	36.5	42.3	51.2		41.8	↗
4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防		消防局							
●	消防や救急体制が十分に整っている	62.7	61.8	61.3	61.5	61.7		61.6	↗
○	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	37.6	34.5	33.6	34.8	34.0		34.2	↗
4-2-1 交通安全対策の推進		地域・市民生活部							
●	交通マナーが良い地域である	44.1	46.2	45.5	43.7	54.9		47.6	↗
○	自動車や自転車の交通マナーを意識して生活している	90.4	86.7	87.8	88.1	90.0		88.2	→
4-2-2 防犯対策の推進		地域・市民生活部							
●	地域で防犯に向けた取組が行われている	41.8	44.5	42.1	38.7	42.2		41.9	↗
○	犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している	27.6	25.9	24.5	23.8	23.7		24.5	↗
4-2-3 安全な消費生活の確保		地域・市民生活部							
●	特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	31.0	32.8	32.0	27.5	30.6		30.7	↗
○	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	60.9	55.7	54.5	58.9	57.7		56.7	↗

施策コード／施策名		担当部局							
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)							
		現状値	実績値					目標	
		H28	H29	H30	R1	R2	R3		平均
5-1-1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実		教育委員会、こども未来部							
●	子どもがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている	41.2	40.1	38.8	46.3	47.6		43.2	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
5-1-2 子どもに応じた支援の充実		教育委員会、こども未来部							
●	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	41.0	40.9	40.2	42.5	47.4		42.8	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
5-1-3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力の向上		教育委員会、こども未来部							
●	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	49.7	51.4	49.4	53.4	55.9		52.5	↗
○	地域の子どもにあいさつや声かけをしている	71.2	66.2	64.7	64.0	64.1		64.8	↗
5-2-1 生涯学習環境の充実		教育委員会							
●	公民館などで、学びの機会が提供されている	52.0	51.3	52.4	48.7	44.9		49.3	↗
○	公民館などで提供されている学びの場に参加している	26.8	25.7	25.2	23.6	23.4		24.5	↗
5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進		教育委員会							
●	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	50.8	52.0	52.1	48.9	45.6		49.7	↗
○	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	19.2	18.1	15.6	14.6	13.1		15.4	↗
5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援		文化スポーツ振興部							
●	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	40.7	39.6	40.6	40.7	39.6		40.1	↗
○	音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる	39.4	37.1	35.1	33.0	32.6		34.5	↗
5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進		教育委員会、文化スポーツ振興部							
●	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	51.0	51.0	48.8	52.8	54.1		51.7	↗
○	地域の伝統的な行事に参加している	38.5	34.6	34.0	32.1	34.1		33.7	↗
5-4-1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進		文化スポーツ振興部							
●	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	54.8	52.5	51.8	53.3	53.9		52.9	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進		文化スポーツ振興部							
●	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	35.1	36.7	37.7	39.6	33.0		36.8	↗
○	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	22.8	19.7	20.8	19.5	20.4		20.1	↗
5-5-1 国際交流活動の推進		企画政策部、教育委員会							
●	国際交流が盛んに行われている	12.6	14.3	15.4	17.4	14.9		15.5	↗
○	国際交流イベントに参加している	5.2	4.8	3.9	3.7	3.9		4.1	↗

施策コード／施策名		担当部局							
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)							目標
		現状値	実績値					平均	
		H28	H29	H30	R1	R2	R3		
5-5-2 多文化共生の推進		企画政策部、教育委員会							
●	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
○	外国の文化や習慣を理解しようと努めている	31.0	32.5	29.3	27.7	30.5		30.0	↗
6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進		商工観光部							
●	長野市は、魅力的な観光都市である	66.4	64.7	60.3	63.7	66.7		63.9	↗
○	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	36.4	35.8	32.3	30.9	32.9		33.0	↗
6-1-2 インバウンドの推進		商工観光部							
●	[再掲:6-1-1 長野市は、魅力的な観光都市である]	66.4	64.7	60.3	63.7	66.7		63.9	↗
○	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	34.2	39.1	33.9	32.8	34.7		35.1	↗
6-1-3 コンベンションの誘致推進		商工観光部							
●	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	52.6	45.2	46.4	47.0	40.9		44.9	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進		農林部							
●	野菜や果物づくりをしている人が増えている	47.5	45.0	40.4	41.8	47.0		43.6	↗
○	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	44.0	47.0	41.7	40.8	43.5		43.3	↗
6-2-2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進		農林部							
●	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	87.8	86.4	85.7	88.6	89.8		87.6	→
○	地元産の農作物を意識的に買うように心がけている	80.9	77.3	75.9	76.2	78.2		76.9	→
6-2-3 森林の保全と資源の活用促進		農林部							
●	森林が整備されている地域である	41.1	36.6	34.8	38.8	42.4		38.2	→
○	(設定なし)	—	—	—	—	—	—	—	—
6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進		商工観光部							
●	活力のある企業が多い地域である	22.8	21.7	23.5	24.9	26.9		24.3	↗
●	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	30.7	30.7	31.7	34.1	33.9		32.6	↗
○	地元のお店で買い物をするように心がけている	79.6	77.7	76.3	76.4	81.4		78.0	→
6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進		商工観光部							
●	[再掲:6-3-1 活力のある企業が多い地域である]	22.8	21.7	23.5	24.9	26.9		24.3	↗
●	[再掲:6-3-1 市内に个性的で魅力的なお店が増えている]	30.7	30.7	31.7	34.1	33.9		32.6	↗
○	[再掲:6-3-1 地元のお店で買い物をするように心がけている]	79.6	77.7	76.3	76.4	81.4		78.0	→

施策コード／施策名		担当部局							
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)							目標
		現状値	実績値						
			H28	H29	H30	R1	R2	R3	
6-3-3 新たな活力につながる産業の創出		商工観光部							
●	新たな雇用が生まれている	9.4	10.8	11.6	10.6	8.7		10.4	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
6-4-1 就労の促進と多様な働き方の支援		商工観光部							
●	仕事を見つけやすい環境が整っている	13.2	12.9	15.5	15.1	13.7		14.3	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
6-4-2 勤労者福祉の推進		商工観光部							
●	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	34.4	32.6	30.7	30.9	35.2		32.4	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
7-1-1 地域の特性に応じた都市機能の充実		都市整備部							
●	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である	49.4	49.2	48.3	47.7	48.1		48.3	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
7-1-2 暮らしを支える生活機能の維持		建設部、上下水道局							
●	日常生活に必要なインフラが整備されている	51.7	53.3	52.6	49.3	55.3		52.6	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
7-1-3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進		建設部、都市整備部							
●	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	30.3	30.8	30.4	28.7	31.8		30.4	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-	-	-	-
7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成		都市整備部							
●	景観やまちなみが美しい地域である	57.2	55.4	54.8	56.6	60.5		56.8	→
○	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	73.9	71.6	71.7	68.0	71.2		70.6	→
7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築		都市整備部							
●	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	35.7	33.9	31.9	30.4	34.5		32.7	↗
○	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	26.4	27.2	24.2	22.1	21.3		23.7	↗
○	公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	50.4	55.9	48.4	47.8	49.3		50.4	↗
7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備		都市整備部							
●	[再掲:7-2-1 公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている]	35.7	33.9	31.9	30.4	34.5		32.7	↗
○	[再掲:7-2-1 通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している]	26.4	27.2	24.2	22.1	21.3		23.7	↗
○	[再掲:7-2-1 公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている]	50.4	55.9	48.4	47.8	49.3		50.4	↗

▼実績値の上位順（環境や体制に関する評価）

順位					実績値 (R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R2	R1	H30	H29	H28					
1	1	1	1	1	89.8	87.8	⇒	6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
2	2	2	2	2	74.1	74.1	⇒	3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
3	3	3	3	3	72.5	73.6	⇒	3-2-1	豊かな自然環境が保たれている
4	4	5	4	4	66.7	66.4	↗	6-1-1 6-1-2	長野市は、魅力的な観光都市である
5	6	6	7	6	62.8	62.9	↗	2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
6	5	4	5	7	61.7	62.7	↗	4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている
7	7	7	8	9	60.5	57.2	⇒	7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である
8	11	8	10	5	56.3	63.9	↗	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
9	8	14	14	17	55.9	49.7	↗	5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている
10	13	9	9	13	55.3	51.7	↗	7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている
11	21	20	18	25	54.9	44.1	↗	4-2-1	交通マナーが良い地域である
12	10	15	16	14	54.1	51.0	↗	5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている
13	9	13	11	10	53.9	54.8	↗	5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
14	12	11	13	8	53.6	57.4	↗	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
15	16	16	17	20	48.1	49.4	↗	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
16	18	28	28	27	47.6	41.2	↗	5-1-1	子どもがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている
17	24	26	26	29	47.4	41.0	↗	5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている
18	20	21	24	23	47.3	45.2	↗	1-2-2	市の職員に好感が持てる
19	23	19	20	18	47.0	49.7	↗	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
20	25	25	21	22	47.0	47.5	↗	6-2-1	野菜や果物づくりをしている人が増えている
21	14	12	12	15	45.6	50.8	↗	5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている
22	19	17	6	16	45.4	50.0	↗	3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
23	22	22	23	19	45.3	49.5	↗	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
24	31	29	25	21	45.1	49.0	↗	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
25	15	10	15	12	44.9	52.0	↗	5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている
26	28	32	33	28	42.4	41.1	⇒	6-2-3	森林が整備されている地域である
27	29	23	22	26	42.2	41.8	↗	4-2-2	地域で防犯に向けた取組が行われている

順位					実績値 (R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R2	R1	H30	H29	H28					
28	17	18	19	11	40.9	52.6	↗	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
29	30	27	27	24	40.4	45.0	↗	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
30	26	24	29	30	39.6	40.7	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている
31	32	31	30	32	38.5	36.8	↗	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO 法人などの活動がまちづくりに役立っている
32	34	33	35	31	35.9	40.7	↗	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
33	36	38	38	36	35.2	34.4	↗	6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
34	37	36	36	33	34.5	35.7	↗	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
35	33	37	40	40	33.9	30.7	↗	6-3-1 6-3-2	市内に個性的で魅力的なお店が増えている
36	27	30	32	35	33.0	35.1	↗	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている
37	35	34	34	34	32.3	35.5	↗	4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている
38	39	39	39	41	31.8	30.3	↗	7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
39	38	42	41	39	31.3	30.9	↗	1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる
40	41	40	42	37	30.6	32.5	↗	2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
41	40	35	37	38	30.6	31.0	↗	4-2-3	特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
42	44	43	43	42	27.0	29.0	↗	2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
43	42	44	46	46	26.9	22.8	↗	6-3-1 6-3-2	活力のある企業が多い地域である
44	46	45	45	45	25.9	26.7	↗	2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている
45	45	46	44	44	25.4	27.3	↗	2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている
46	43	41	31	43	24.8	27.4	↗	3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている
47	47	47	48	49	23.3	20.2	↗	1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている
48	48	48	47	48	22.2	20.4	↗	1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている
49	49	49	49	50	21.2	19.2	↗	1-1-1	市民の声が市政に反映されている
50	51	50	50	47	20.8	21.7	↗	2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている
51	50	52	51	52	14.9	12.6	↗	5-5-1	国際交流が盛んに行われている
52	52	51	52	51	13.7	13.2	↗	6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている
53	53	53	53	53	8.7	9.4	↗	6-3-3	新たな雇用が生まれている

▼実績値の上位順（回答者自身の実践状況）

順位					実績値 (R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R2	R1	H30	H29	H28					
1	1	1	1	1	93.7	93.3	⇒	3-1-2	ごみの分別を徹底している
2	2	2	2	2	90.0	90.4	⇒	4-2-1	自動車や自転車の交通マナーを意識して生活している
3	3	3	3	3	84.4	81.7	⇒	3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
4	4	4	4	5	81.4	79.6	⇒	6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている
5	5	5	5	4	78.2	80.9	⇒	6-2-2	地元産の農産物を意識的に買うように心がけている
6	6	6	6	6	74.7	75.4	⇒	2-4-3	かかりつけ医がいる
7	7	7	7	7	71.2	73.9	⇒	7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている
8	8	8	8	10	68.4	64.8	↗	2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている
9	11	10	13	11	65.1	62.6	↗	3-1-2	わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる
10	9	11	9	9	64.8	65.2	↗	2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている
11	10	9	10	8	64.1	71.2	↗	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている
12	13	12	11	13	63.3	56.8	↗	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる
13	12	13	12	14	61.4	55.6	↗	2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている
14	13	14	17	12	57.7	60.9	↗	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている
15	15	15	15	16	56.5	52.4	↗	2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている
16	15	16	14	15	54.7	52.5	↗	2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
17	17	17	22	18	53.3	50.2	↗	3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている
18	17	18	19	20	51.2	47.3	↗	2-5-2	男女共同参画について理解を深めようとしている
19	22	24	25	24	51.2	41.1	↗	4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している
20	19	19	16	17	49.3	50.4	↗	7-2-1 7-2-2	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている
21	21	21	20	21	48.5	45.3	↗	2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている
22	20	20	18	19	46.7	48.8	↗	3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
23	23	22	21	22	43.5	44.0	↗	6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる
24	24	23	23	23	40.4	43.3	↗	3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている
25	27	27	24	29	34.7	34.2	↗	6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている
26	28	26	28	26	34.1	38.5	↗	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
27	25	28	29	27	34.0	37.6	↗	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している
28	29	29	27	28	32.9	36.4	↗	6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている

順位					実績値 (R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
R2	R1	H30	H29	H28					
29	26	25	26	25	32.6	39.4	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる
30	30	30	30	30	30.5	31.0	↗	5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている
31	33	34	34	34	24.0	23.2	↗	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会などの活動やまちづくりに関わるボランティア活動などに参加している
32	31	32	32	31	23.7	27.6	↗	4-2-2	犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している
33	32	31	33	32	23.4	26.8	↗	5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している
34	34	33	31	33	21.3	26.4	↗	7-2-1 7-2-2	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している
35	35	35	35	35	20.4	22.8	↗	5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している
36	36	36	36	36	13.1	19.2	↗	5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている
37	37	37	37	37	8.5	9.8	↗	1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている
38	38	38	38	38	3.9	5.2	↗	5-5-1	国際交流イベントに参加している

▼前年度との比較による上位順（環境や体制に関する評価）

順位	増減(a-b)	R2(a)	R1(b)	施策 コード	指標名
1	11.2	54.9	43.7	4-2-1	交通マナーが良い地域である
2	7.5	45.1	37.6	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
3	6.0	55.3	49.3	7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている
4	5.2	47.0	41.8	6-2-1	野菜や果物づくりをしている人が増えている
5	4.9	47.4	42.5	5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている
6	4.6	62.8	58.2	2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
7	4.4	47.0	42.6	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
8	4.3	35.2	30.9	6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
9	4.2	30.6	26.4	2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
10	4.1	34.5	30.4	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
11	4.1	20.8	16.7	2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている
12	4.0	56.3	52.3	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
13	4.0	25.9	21.9	2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている
14	3.9	60.5	56.6	7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である
15	3.9	27.0	23.1	2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
16	3.6	42.4	38.8	6-2-3	森林が整備されている地域である
17	3.5	47.3	43.8	1-2-2	市の職員に好感が持てる
18	3.5	42.2	38.7	4-2-2	地域で防犯に向けた取組が行われている
19	3.4	72.5	69.1	3-2-1	豊かな自然環境が保たれている
20	3.1	31.8	28.7	7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
21	3.1	30.6	27.5	4-2-3	特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
22	3.1	74.1	71.0	3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
23	3.0	66.7	63.7	6-1-1 6-1-2	長野市は、魅力的な観光都市である
24	3.0	25.4	22.4	2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている
25	2.9	23.3	20.4	1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている
26	2.8	35.9	33.1	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
27	2.7	53.6	50.9	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
28	2.6	45.3	42.7	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
29	2.5	55.9	53.4	5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている

順位	増減(a-b)	R2(a)	R1(b)	施策コード	指標名
30	2.5	21.2	18.7	1-1-1	市民の声が市政に反映されている
31	2.2	38.5	36.3	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO 法人などの活動がまちづくりに役立っている
32	2.2	40.4	38.2	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
33	2.1	31.3	29.2	1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる
34	2.1	22.2	20.1	1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている
35	2.0	26.9	24.9	6-3-1 6-3-2	活力のある企業が多い地域である
36	1.3	54.1	52.8	5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている
37	1.3	47.6	46.3	5-1-1	子どもがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている
38	1.2	89.8	88.6	6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
39	1.0	45.4	44.4	3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
40	0.6	53.9	53.3	5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
41	0.5	24.8	24.3	3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている
42	0.4	48.1	47.7	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
43	0.2	61.7	61.5	4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている
44	-0.2	33.9	34.1	6-3-1 6-3-2	市内に個性的で魅力的なお店が増えている
45	-0.6	32.3	32.9	4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている
46	-1.1	39.6	40.7	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている
47	-1.4	13.7	15.1	6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている
48	-1.9	8.7	10.6	6-3-3	新たな雇用が生まれている
49	-2.5	14.9	17.4	5-5-1	国際交流が盛んに行われている
50	-3.3	45.6	48.9	5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている
51	-3.8	44.9	48.7	5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている
52	-6.1	40.9	47.0	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
53	-6.6	33.0	39.6	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている

▼前年度との比較による上位順（回答者自身の実践状況）

順位	増減(a-b)	R2(a)	R1(b)	施策 コード	指標名
1	8.9	51.2	42.3	4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している
2	5.0	81.4	76.4	6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている
3	4.4	63.3	58.9	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる
4	4.2	56.5	52.3	2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている
5	3.7	53.3	49.6	3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている
6	3.3	48.5	45.2	2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている
7	3.2	71.2	68.0	7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている
8	2.8	30.5	27.7	5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている
9	2.7	84.4	81.7	3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
10	2.7	43.5	40.8	6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる
11	2.4	54.7	52.3	2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
12	2.4	40.4	38.0	3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている
13	2.3	65.1	62.8	3-1-2	使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる
14	2.3	61.4	59.1	2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている
15	2.0	78.2	76.2	6-2-2	地元産の農産物を意識的に買うように心がけている
16	2.0	68.4	66.4	2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている
17	2.0	34.1	32.1	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
18	2.0	32.9	30.9	6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている
19	1.9	90.0	88.1	4-2-1	自動車や自転車の交通マナーを意識して生活している
20	1.9	34.7	32.8	6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている
21	1.6	51.2	49.6	2-5-2	男女共同参画について理解を深めようとしている
22	1.5	93.7	92.2	3-1-2	ごみの分別を徹底している
23	1.5	49.3	47.8	7-2-1 7-2-2	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている
24	0.9	24.0	23.1	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会などの活動やまちづくりに関わるボランティア活動などに参加している
25	0.9	20.4	19.5	5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している
26	0.8	8.5	7.7	1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている
27	0.5	64.8	64.3	2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている
28	0.2	3.9	3.7	5-5-1	国際交流イベントに参加している

順位	増減(a-b)	R2(a)	R1(b)	施策コード	指標名
29	0.1	64.1	64.0	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている
30	0.0	74.7	74.7	2-4-3	かかりつけ医がいる
31	0.0	46.7	46.7	3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
32	-0.1	23.7	23.8	4-2-2	犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している
33	-0.2	23.4	23.6	5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している
34	-0.4	32.6	33.0	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる
35	-0.8	34.0	34.8	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している
36	-0.8	21.3	22.1	7-2-1 7-2-2	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している
37	-1.2	57.7	58.9	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている
38	-1.5	13.1	14.6	5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている

▼現状値と平均値との比較による上位順（環境や体制に関する評価）

順位	増減 (a-b)	平均値 (H29~R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
1	3.5	47.6	44.1	↗	4-2-1	交通マナーが良い地域である
2	2.9	15.5	12.6	↗	5-5-1	国際交流が盛んに行われている
3	2.8	52.5	49.7	↗	5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている
4	2.0	43.2	41.2	↗	5-1-1	子どもがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている
5	1.9	32.6	30.7	↗	6-3-1 6-3-2	市内に個性的で魅力的なお店が増えている
6	1.8	42.8	41.0	↗	5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている
7	1.7	36.8	35.1	↗	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている
8	1.5	24.3	22.8	↗	6-3-1 6-3-2	活力のある企業が多い地域である
9	1.1	14.3	13.2	↗	6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている
10	1.0	28.4	27.4	↗	3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている
11	1.0	10.4	9.4	↗	6-3-3	新たな雇用が生まれている
12	0.9	52.6	51.7	↗	7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている
13	0.9	37.2	36.3	↗	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO 法人などの活動がまちづくりに役立っている
14	0.7	51.7	51.0	↗	5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている
15	0.4	20.6	20.2	↗	1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている
16	0.1	41.9	41.8	↗	4-2-2	地域で防犯に向けた取組が行われている
17	0.1	30.4	30.3	↗	7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
18	0.1	19.3	19.2	↗	1-1-1	市民の声が市政に反映されている
19	-0.2	87.6	87.8	⇒	6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
20	-0.3	30.7	31.0	↗	4-2-3	特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
21	-0.3	20.1	20.4	↗	1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている
22	-0.4	56.8	57.2	⇒	7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である
23	-0.4	44.8	45.2	↗	1-2-2	市の職員に好感が持てる
24	-0.6	40.1	40.7	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている
25	-1.1	48.9	50.0	↗	3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
26	-1.1	48.3	49.4	↗	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
27	-1.1	61.6	62.7	↗	4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている

順位	増減 (a-b)	平均値 (H29~R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
28	-1.1	49.7	50.8	↗	5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている
29	-1.8	29.1	30.9	↗	1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる
30	-1.8	33.7	35.5	↗	4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている
31	-1.9	52.9	54.8	↗	5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
32	-2.0	32.4	34.4	↗	6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
33	-2.2	71.9	74.1	⇒	3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
34	-2.5	63.9	66.4	↗	6-1-1 6-1-2	長野市は、魅力的な観光都市である
35	-2.7	49.3	52.0	↗	5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている
36	-2.9	38.2	41.1	⇒	6-2-3	森林が整備されている地域である
37	-3.0	59.9	62.9	↗	2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
38	-3.0	32.7	35.7	↗	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
39	-3.0	70.6	73.6	⇒	3-2-1	豊かな自然環境が保たれている
40	-3.3	23.4	26.7	↗	2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている
41	-3.5	18.2	21.7	↗	2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている
42	-3.9	43.6	47.5	↗	6-2-1	野菜や果物づくりをしている人が増えている
43	-4.0	23.3	27.3	↗	2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている
44	-4.1	24.9	29.0	↗	2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
45	-4.3	28.2	32.5	↗	2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
46	-4.5	45.2	49.7	↗	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
47	-5.3	39.7	45.0	↗	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
48	-5.4	52.0	57.4	↗	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
49	-5.7	43.8	49.5	↗	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
50	-6.3	34.4	40.7	↗	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
51	-7.7	44.9	52.6	↗	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
52	-8.1	40.9	49.0	↗	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
53	-9.8	54.1	63.9	↗	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である

▼現状値と平均値との比較による上位順（回答者自身の実践状況）

順位	増減 (a-b)	平均値 (H29~R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
1	4.5	61.3	56.8	↗	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる
2	4.3	59.9	55.6	↗	2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている
3	3.5	68.3	64.8	↗	2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている
4	2.6	49.9	47.3	↗	2-5-2	男女共同参画について理解を深めようとしている
5	2.3	54.7	52.4	↗	2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている
6	0.9	35.1	34.2	↗	6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている
7	0.8	82.5	81.7	⇒	3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
8	0.8	53.3	52.5	↗	2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
9	0.7	46.0	45.3	↗	2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている
10	0.7	41.8	41.1	↗	4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している
11	0.4	23.6	23.2	↗	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会などの活動やまちづくりに関わるボランティア活動などに参加している
12	0.4	63.0	62.6	↗	3-1-2	使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる
13	0.0	50.4	50.4	↗	7-2-1 7-2-2	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている
14	-0.1	65.1	65.2	↗	2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている
15	-0.4	49.8	50.2	↗	3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている
16	-0.7	43.3	44.0	↗	6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる
17	-0.8	92.5	93.3	⇒	3-1-2	ごみの分別を徹底している
18	-0.9	8.9	9.8	↗	1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている
19	-1.0	30.0	31.0	↗	5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている
20	-1.0	74.4	75.4	⇒	2-4-3	かかりつけ医がいる
21	-1.1	4.1	5.2	↗	5-5-1	国際交流イベントに参加している
22	-1.5	47.3	48.8	↗	3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
23	-1.6	78.0	79.6	⇒	6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている
24	-2.2	88.2	90.4	⇒	4-2-1	自動車や自転車の交通マナーを意識して生活している
25	-2.3	24.5	26.8	↗	5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している
26	-2.5	40.8	43.3	↗	3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている
27	-2.7	20.1	22.8	↗	5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している

順位	増減 (a-b)	平均値 (H29~R2)	現状値 (H28)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
28	-2.7	23.7	26.4	↗	7-2-1 7-2-2	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している
29	-3.1	24.5	27.6	↗	4-2-2	犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している
30	-3.3	70.6	73.9	⇒	7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている
31	-3.4	33.0	36.4	↗	6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている
32	-3.4	34.2	37.6	↗	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している
33	-3.8	15.4	19.2	↗	5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている
34	-4.0	76.9	80.9	⇒	6-2-2	地元産の農産物を意識的に買うように心がけている
35	-4.2	56.7	60.9	↗	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている
36	-4.8	33.7	38.5	↗	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
37	-4.9	34.5	39.4	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる
38	-6.4	64.8	71.2	↗	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている

第7 施策別の分析結果

【施策コード／施策名】		【担当部局】																												
1-1-1 市民とともにつくる市政の推進		企画政策部																												
【区分】	【指標名】																													
●	市民の声市政に反映されている																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>19.0%</td> <td>18.4%</td> <td>18.7%</td> <td>21.2%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>50.1%</td> <td>50.8%</td> <td>51.1%</td> <td>48.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>29.2%</td> <td>28.1%</td> <td>26.7%</td> <td>27.7%</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	肯定的評価割合	19.0%	18.4%	18.7%	21.2%	否定的評価割合	50.1%	50.8%	51.1%	48.9%	評価保留割合	29.2%	28.1%	26.7%	27.7%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (H28)</th> <th>目標 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>19.2%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">↑</td> </tr> <tr> <th>平均値 (H29～R2)</th> <td>19.3%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (H28)	目標 (R3)		19.2%	↑		平均値 (H29～R2)	19.3%
	H29	H30	R1	R2																										
肯定的評価割合	19.0%	18.4%	18.7%	21.2%																										
否定的評価割合	50.1%	50.8%	51.1%	48.9%																										
評価保留割合	29.2%	28.1%	26.7%	27.7%																										
現状値 (H28)	目標 (R3)																													
	19.2%																													
↑																														
平均値 (H29～R2)	19.3%																													
<p>【令和2年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ⋯ 保留的評価割合 	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - モニター(参考) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合 (%)</th> <th>モニター(参考) (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>19.2%</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>19.0%</td> <td>25.3%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18.4%</td> <td>26.1%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>18.7%</td> <td>25.2%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>21.2%</td> <td>23.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	肯定的評価割合 (%)	モニター(参考) (%)	H28	19.2%	16.0%	H29	19.0%	25.3%	H30	18.4%	26.1%	R1	18.7%	25.2%	R2	21.2%	23.7%											
年度	肯定的評価割合 (%)	モニター(参考) (%)																												
H28	19.2%	16.0%																												
H29	19.0%	25.3%																												
H30	18.4%	26.1%																												
R1	18.7%	25.2%																												
R2	21.2%	23.7%																												
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																												
✓ 言いやすくなった。	19歳以下	✓ 声が届いていない気がする。																												
✓ 幸せ実感モニターの取り組みがある。	20~29歳	✓ 高齢者の意見のみ反映されている。																												
	30~39歳	✓ どのように施策に反映されているのか不明。																												
	40~49歳	✓ 防災無線は聞こえず、豊野はフリーダイヤルでの電話確認もできない。																												
✓ 市議や県議が良く話を聞いてくれる。	40~49歳	✓ 北長野駅と三才駅間の新駅が必要なはずなのに、できる気配がない。																												
✓ 市報などを見るとそう思う。	40~49歳	✓ 声をどうやって上げればよいかわからない。																												
✓ セントラルスクウェアのトイレに和式トイレができ、自分の声(市民の声)が反映された。	40~49歳	✓ 声を市政に届ける機会がない。																												
✓ 各種施策を通して感じる。	50~59歳	✓ 長野市は対応が全て遅く、市民ファーストではない。																												
✓ 住自協からの要望を取り上げてもらっている。	50~59歳	✓ 市民の声は届いていないことが不満。																												
✓ 「市議会だより」を読んでいると日頃疑問に思っている内容があり、反映されていると感じる。	50~59歳																													
✓ 徐々に声が反映されてきている。	60~64歳	✓ 全く感じない。今回の新型コロナに関しても声が届いていない。																												
	60~64歳	✓ 2年に一度、市とのトークがあるが、なかなか届かない。																												
	65~69歳	✓ 要望したことが実現したとかの情報がない。																												
✓ 住民自治協議会活動をはじめ、地域での市政に対する声は届くことができるようになった。	65~69歳	✓ 中山間地の意見が活かされていない気がする。																												
✓ 「みどりのはがき」で反映される。	70歳以上	✓ 特定の人の意見は反映されるが、多くの人は無関心である。																												

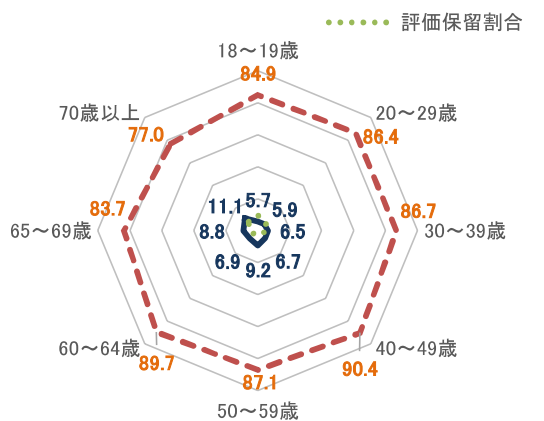
【施策コード／施策名】 1-1-1 市民とともにつくる市政の推進	【担当部局】 企画政策部
-------------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
○	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている

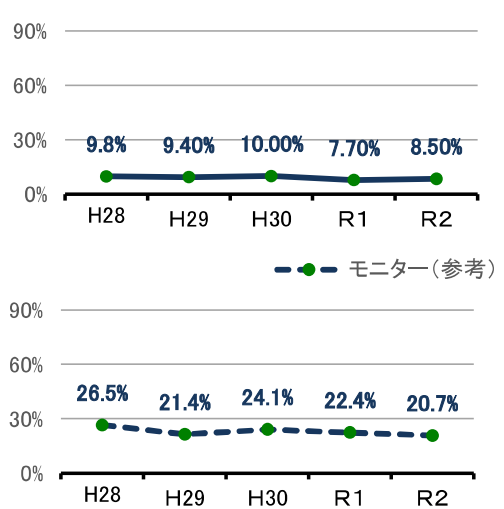
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	9.4%	10.0%	7.7%	8.5%
否定的評価割合	80.8%	83.7%	84.9%	84.5%
評価保留割合	7.7%	4.1%	4.3%	5.2%

現状値 (H28)	目標 (R3)	9.8%	↗
平均値 (H29~R2)		8.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
	19歳以下	✓あまりできてはいない。
	20~29歳	✓アイデアがない。 ✓なくても満足できている。
✓幸せ実感モニターをしている。 ✓行政の会議等で提案することはある。	30~39歳	✓興味がない。 ✓機会がない。 ✓参加の仕方がわからない。 ✓提案した経験がない。
✓次世代のために、非効率なことには意見を出している。 ✓小学校には寄せている。 ✓子どものために寄せている。	40~49歳	✓アイデアをどこに寄せればよいかわからない。 ✓投稿しても活かされないような気がする。 ✓意見を述べても聞き入れて対策を取ってくれない。 ✓取り組む余力がない。
✓努力して提案しているが、市は常に見捨てたり、却下するので憤慨している。 ✓アイデアがあれば提案する。	50~59歳	✓寄せてもスルーされるので、諦めている。 ✓そうした機会がない。 ✓必要を感じない。
✓機会があれば伝えている。 ✓技術提供している。 ✓住自協では、会議や研修会で発信している。	60~64歳	✓積極的にアイデアを寄せるよう、市報でもっとアピールして欲しい。 ✓近頃は無い。介護生活で視野が狭い。
✓地区まちづくり計画の推進に努めている。 ✓地区の役員をしている。 ✓町の取組みに参加している。	65~69歳	✓発言はしない。 ✓積極的には行動しない。
✓区長としては当然であり、いかにして皆さんが住みやすく暮らしやすい地域であるのか考えを巡らせている。 ✓安全に暮らしたいため提言する。	70歳以上	✓機会がなく特に行動していない。 ✓伝え方がわからない。

【施策コード／施策名】 1-1-2 市民によるまちづくり活動への支援	【担当部局】 地域・市民生活部
---------------------------------------	--------------------

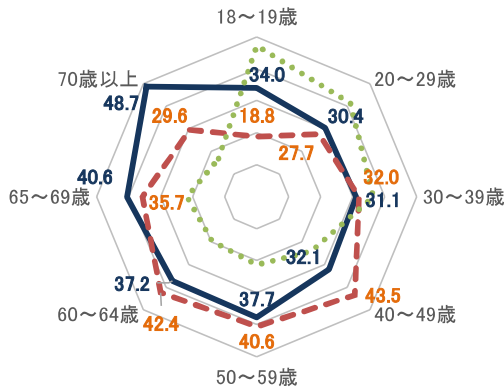
【区分】	【指標名】
●	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	38.0%	36.1%	36.3%	38.5%
否定的評価割合	34.2%	35.6%	35.4%	35.6%
評価保留割合	26.3%	25.5%	24.9%	24.0%

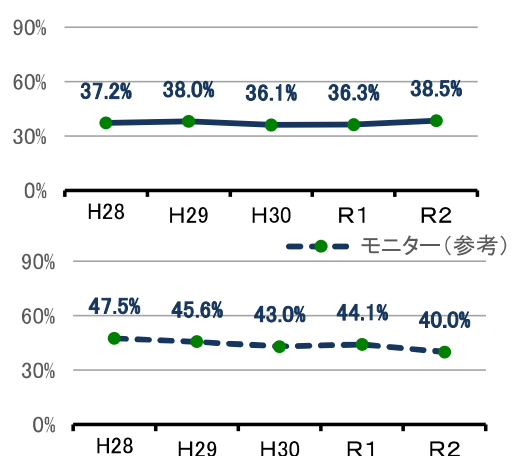
現状値 (H28)	目標 (R3)	36.3%	↗
平均値 (H29～R2)		37.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

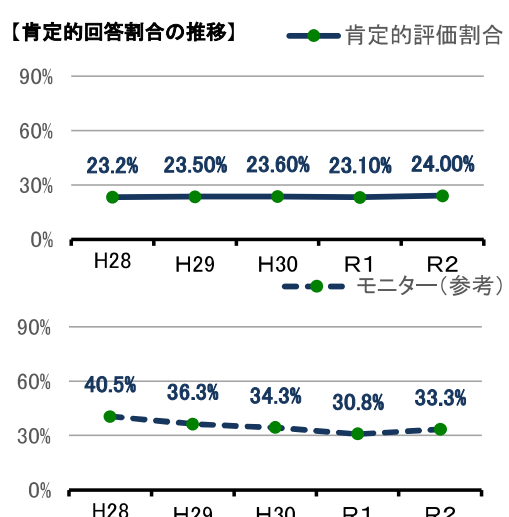
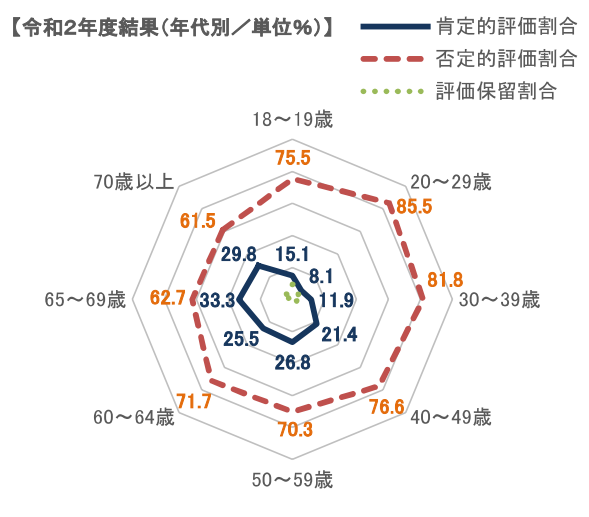
	19歳以下	
	20~29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓災害時には行政よりも積極的に活動をしてきていた。 ✓地域のためにもっと協力してもらいたい。 ✓住民自治協議会主催のイベントは魅力的なものがある。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓負担ばかりでメリットがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の事は地域でやるのが、あたりまえである。 ✓地域の活動が盛んである。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自治会の役員の強制や出不足金の引き上げなど参加したくないと思えるものばかり。 ✓区で提案したものが、許可されたり、されなかったり。 ✓時代に合わなくなっている事に行政が対策を取らないと手遅れになると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓頑張っていると思う。 ✓信更はそこを軸にして動いている。 ✓公園整備をしている。 ✓町の会議に参加すると、町からの要望に市が対応しているとわかる。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓むしろ負担ばかり。
<ul style="list-style-type: none"> ✓互いに協力して(資金援助)住民に優しい地域づくりをしている。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓町づくりに役立つとまでは行かない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓区の活動がなければ地域は成り立たない。 ✓住自協がないと住民対応ができない。 ✓「都市内分権」方針の下、懸命に努めている。一方で行政からの伝達機関と化す傾向が強く、今後の活動に危惧を覚える。 	65~69歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓形式化してきているところが、今後の課題。 ✓100%とはいかないまでもまちづくりの主体である。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓まったく無力である。

【施策コード／施策名】 1-1-2 市民によるまちづくり活動への支援	【担当部局】 地域・市民生活部
---------------------------------------	--------------------

【区分】	【指標名】
○	住民自治協議会、区、自治会などの活動やまちづくりに関わるボランティア活動などに参加している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	23.5%	23.6%	23.1%	24.0%
否定的評価割合	68.2%	71.5%	71.6%	70.7%
評価保留割合	5.7%	2.5%	2.4%	3.5%

現状値 (H28)	目標 (R3)	23.2%	↗
平均値 (H29～R2)		23.6%	



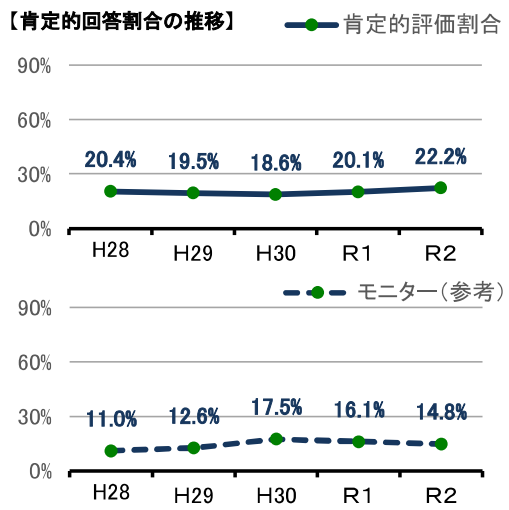
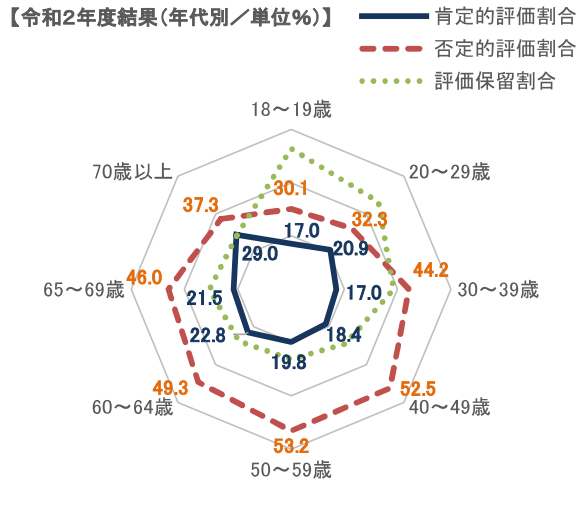
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
	19歳以下	✓ やったことがない。
	20～29歳	✓ 一人で行きたいと思わない。 ✓ ボランティア参加はない。 ✓ 機会がない。
✓ 災害ボランティアに参加した。 ✓ 組長などやっている。 ✓ 幸せ実感モニターをしている。	30～39歳	✓ 忙しくてそこまで手がまわらない。 ✓ 興味がない。 ✓ 機会がない。
✓ 地区のイベントなどには参加している。 ✓ 去年の台風災害で、ボランティア活動に携わった。 ✓ 子どもの為に参加している。	40～49歳	✓ 子どもの成長に合わせ、参加したい。 ✓ 募集があればするかもしれない。 ✓ どんなボランティアがあるのかわからない。
✓ 災害ボランティアや公民館活動へ参加している。 ✓ 草刈りをしている。	50～59歳	✓ 仕事家事子育てで参加できない。 ✓ 日時やタイミングが合えば参加しようと思う。 ✓ 開催は目的化しているだけで、当番でなければ参加しない。
✓ 仕方なく参加している。 ✓ 役員になっている。 ✓ 住自協では、会議や研修会で発信している。	60～64歳	✓ 自分のやりたいボランティアがないと思う。 ✓ 介護中心の生活で手が回らない。
✓ 住自協の一員として参加している。 ✓ 7年以上参加している。 ✓ 積極的に参加している。	65～69歳	
✓ 常に意識は地域のため、地域に暮らす人々のために参加している。 ✓ 自分ができるとはしようと決めている。 ✓ 地域の人々からの要請には快く応え積極的に参加している。 ✓ 区の役員は任期を終えたが、公民館役員を引き受けている。	70歳以上	✓ 体力的に無理。 ✓ 機会がなく特に行動していない。

【施策コード／施策名】 1-2-1 効果的で効率的な行政運営の推進	【担当部局】 総務部、財政部
--------------------------------------	-------------------

【区分】	【指標名】
●	効果的で効率的な行政運営が行われている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	19.5%	18.6%	20.1%	22.2%
否定的評価割合	43.6%	42.9%	43.0%	44.8%
評価保留割合	34.7%	35.4%	33.1%	31.0%

現状値 (H28)	目標 (R3)	20.4%	
平均値 (H29~R2)		20.1%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓よく議会を通して市政が行われている。	19歳以下	✓無駄が多い。
	20~29歳	✓給付金についての配送を見た感じ、対応については少し残念だった。
✓しっかりやってくれていると思う。 ✓頑張っている様子がわかる。	30~39歳	✓コロナウイルスの対応が残念だった。 ✓戦略マネジャーが活用できていないかわからない。
✓特別給付金をマイナンバーから申請し、思っていたより早く振込があった。	40~49歳	✓水害やコロナウイルスの時の対応が遅かったと思う。 ✓効率的なら、もっと若い世代が動いているはず。 ✓市民の声を聞こう！ 特に弱者！ ✓全く運営が見えない。 ✓支所にいる職員の人数の多い。観察していると本当に何もせずに座っているだけの人が三分の一。 ✓もっと情報をオープンにして欲しい。
✓去年の台風19号での災害時には、行政機関の方々の迅速な対応がとても心強かった。 ✓各種施策を通して感じる。	50~59歳	✓少なくとも、旧市街地の再開発は感心しない。 ✓行政は無策で情けないと思う。 ✓新しい発想がなく、税金の使い方も、市民中心に考えてない。
✓もう少し頑張ってほしい。 ✓大きな不満はない。部署によってはしっかり行っている。	60~64歳	✓民間活力の活用。 ✓まだ無駄な部分がある様に見える。 ✓市民の為の行政が感じられない。
✓悪い点は感じない。	65~69歳	✓理念は素晴らしいが現場まで浸透していない。 ✓後付け行政ではいけない。
✓以前より改善されてきている。 ✓情報不足。 ✓行政に対する見方が少々変わってきて、市民目線での対応を感じることができるようになった。 ✓中堅・若手の職員は意欲的で前向きである。	70歳以上	✓国と地方自治体を通じ、縦割り行政を改める必要がある。 ✓中々身を結んでいない。

【施策コード／施策名】 1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進	【担当部局】 総務部、企画政策部
--------------------------------------	---------------------

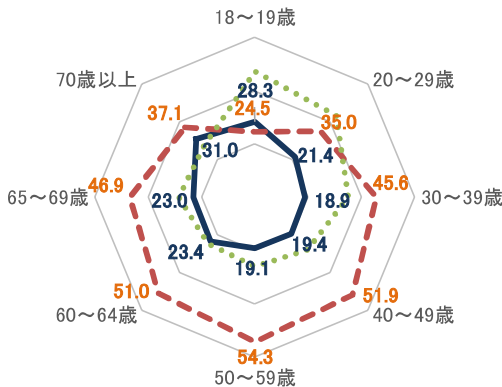
【区分】	【指標名】
●	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	19.2%	19.5%	20.4%	23.3%
否定的評価割合	46.3%	44.5%	44.8%	45.4%
評価保留割合	32.4%	33.0%	30.9%	29.3%

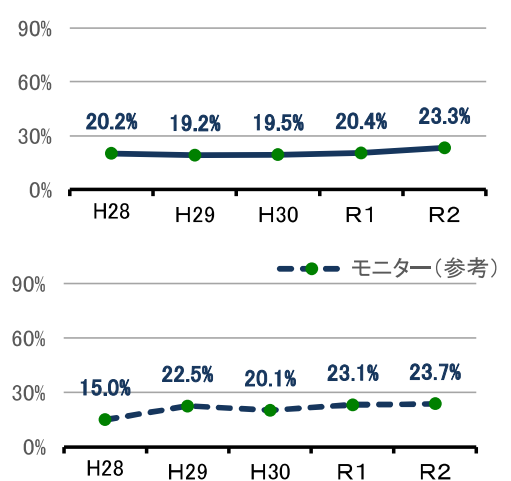
現状値 (H28)	目標 (R3)	20.2%	↗
平均値 (H29~R2)		20.6%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓市民の声をよく聞いてやっていると思う。 ✓ニュースを見て感じる。 	19歳以下	
	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり若者向きではない。 ✓必要な道路工事が進まない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓これからも期待している。 ✓幸せ実感モニターのような市民の意見を聞く機会がある。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓高齢者の意見のみ。 ✓一部の団体の意見が優先されているように思う。 ✓市民ニーズに丁寧に耳を傾ける努力が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ✓和式トイレを設置してもらえた。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓不妊治療、妊娠出産、育休、保活とこれまでに関りの無かった分野で役所に行くことが増えたが、面倒な手続きばかりだと毎回ストレスを感じている。 ✓市民のニーズは無視されている。 ✓市民の意見をもっと拾い上げて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓行政機関だけで考えて施設を作るという事ではなく、市民の声を反映させた運営になっていると思う。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓市民の安心安全を考えた行政には見えない。 ✓行政運営の方向性がそもそも分かりづらい。 ✓意味も無い道路拡張や増設され、本当に市民のニーズなのか。
<ul style="list-style-type: none"> ✓住自協との連絡ができています。 ✓臨機応変に早く対応してもらえると嬉しい。 ✓各種施策を通して感じる。 ✓市民のニーズを把握する仕組みができつつある。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓市民のニーズを掴んでいないとまでは言えない。 ✓市民の為に行政が感じられない。 ✓年齢も興味も違う多くの人のニーズを踏まえるのは難しいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓悪い点は感じない。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ニーズに基づいていない行政の押し付け感が強い。 ✓全てが遅い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓自治協の役割を評価したい。 ✓職員が市民のためという気持ちで仕事をしているか、分担されたことをこなしていくのみか。 ✓支所でできることが多くなり助かる。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓中々身を結んでいない。 ✓市民の声がとどきにくいので、アンケートが有効。 ✓御用聞き活動により意見や要望の吸い上げを定期時にやるべき。

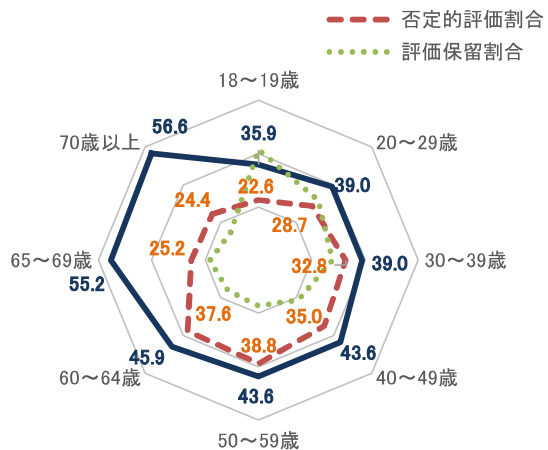
【施策コード／施策名】 1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進	【担当部局】 総務部、企画政策部
--------------------------------------	---------------------

【区分】	【指標名】
●	市の職員に好感が持てる

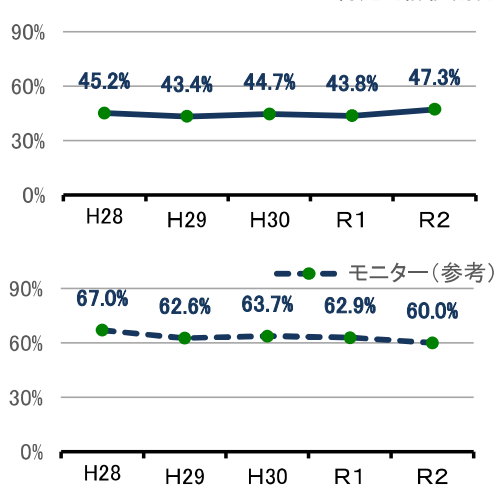
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	43.4%	44.7%	43.8%	47.3%
否定的評価割合	36.0%	34.1%	33.6%	31.1%
評価保留割合	18.8%	18.4%	19.2%	19.8%

現状値 (H28)	目標 (R3)	45.2%	↗
平均値 (H29~R2)		44.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓悪いイメージはない。	19歳以下	✓人による。
✓台風のあと土日も仕事をしてくれた。	20~29歳	
✓しっかりやってくれていると信じている。 ✓窓口で丁寧な対応をしてもらえる。 ✓こどもの保育園について相談したときに、とても丁寧に説明いただいた。	30~39歳	✓長野市をどのようにしたいのか目指す方向性が見えないまま、現場の職員が日々の仕事に追われてしまってかわいそう。
✓窓口対応はとても親切になった。 ✓近くの支所の職員さんはそうである。 ✓全員ではないが、明るく元気な対応をして頂く方もいて、元気をもらえる。 ✓丁寧に親切そうな人も多いが、忙しすぎるのか対応が事務的で冷たいこともある。	40~49歳	✓人によって対応が良くない。引き継ぎが良くされていない。 ✓職員人数が明らかに多すぎる部署の見直しをすべき。 ✓市役所の対応で、市民は顧客という意識がないと感じたことが多い。 ✓窓口、電話対応が悪い職員がいる。
✓市役所や支所へ出向いた際、すぐ対応していただいて、とても助かる。 ✓仕事などで関係のある職員に関しては好感を持っている。 ✓感じの悪い人はいない。	50~59歳	✓コロナの時マスクがない中、市役所の職員は立派なマスクをしていた。 ✓いつも態度が上から目線で態度がふてぶてしく不快な感じる職員が何人もいた。
✓いつも皆さん親切。	60~64歳	✓普通だと思うが、若干常識が無い職員がいる。
✓臨時職が多いためか窓口対応が良い。	65~69歳	✓職員の方によって差がある。 ✓規則や上部ばかり気にして本来の目的を果たせていない。徒労。
✓好感は持て、みんな頑張っている。特に保険、健康の職場。 ✓障害福祉、介護等で大変お世話になり、また、電話などで様々な課に親切にもらい、ありがたい。 ✓大変好感が持てる。多忙な中でも納得するまで真剣に市民対応ができていると思う。	70歳以上	✓人によって違うが、自分の範疇を超えてまで市民のために尽くす姿勢がもう一歩。

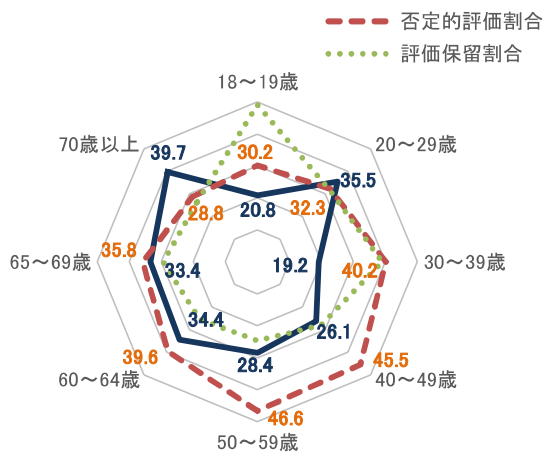
【施策コード／施策名】 1-2-3 地方中核都市としての役割の遂行	【担当部局】 企画政策部
--------------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
●	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる

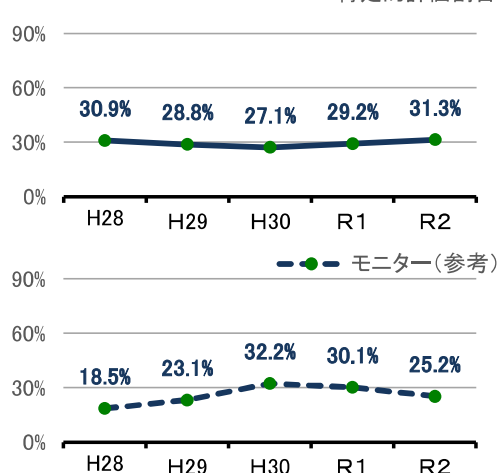
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	28.8%	27.1%	29.2%	31.3%
否定的評価割合	36.5%	37.1%	36.3%	38.0%
評価保留割合	32.8%	33.2%	31.0%	28.8%

現状値 (H28)	目標 (R3)	30.9%	↗
平均値 (H29～R2)		29.1%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓いろいろな活動で他市町村と連携できているように感じる。	19歳以下	✓商業施設が少ない。
✓隣町の広告などみる。	20～29歳	
✓連携して取り組んでいると聞いたことがある。 ✓災害等の緊急時の連携。 ✓近隣市町村とより連携を強めてほしい。	30～39歳	✓何をやっているか知らない。 ✓行政運営が見えない。 ✓須坂長野東インターの大規模開発など、周辺市町村と連携がとれているとは考えられない。
✓リモート市町村長の会議をみて、情報交換して良くしようとしている姿をみた。 ✓須坂市や中野市にアクセスしやすい。	40～49歳	✓知らない。 ✓自分の地域でいっぱいな感じ。 ✓長野市がやや遅れを取っている気がする。
✓広域連携が行われている。 ✓行動や結果に繋がるとなお良い。 ✓長野市は長野県の中でも中心になる地域であるため、他の市町村と協力することにより長野県全体の発展につながると思う。 ✓市長の動きから感じる。	50～59歳	✓千曲市などと連携をもっと密にしてほしい。学ぶ事は学んで欲しい。 ✓やっているかもしれませんが、違うだろうと思う。 ✓連携が弱い。
✓中核市なのでもっとリーダーシップを持ってほしい。 ✓もう少し頑張してほしい。 ✓周辺市町と連携している取り組みもある。	60～64歳	✓観光地との交通網を連携してほしい。 ✓長野市全体に発展していない。
✓様々な取り組みをしているように思う。	65～69歳	✓取組みはあるが、知られていない。もったいない。
✓信濃町、千曲市、須坂市などといった地域ともっと連携を深めてほしい。 ✓消防や医療等についてははっきりしているが、他にはよく分からない。 ✓近隣地町村との連携した行政運営が増えてきている。 ✓今の時代、地域と地域の連携は必須のである。	70歳以上	✓情報不足と無関心。 ✓公共インフラについてはもっと連携を進めて良いのではないと思う。 ✓隣接市との合併か連携か、これからの人口減少にどう対応するか。 ✓リーダーがいない。

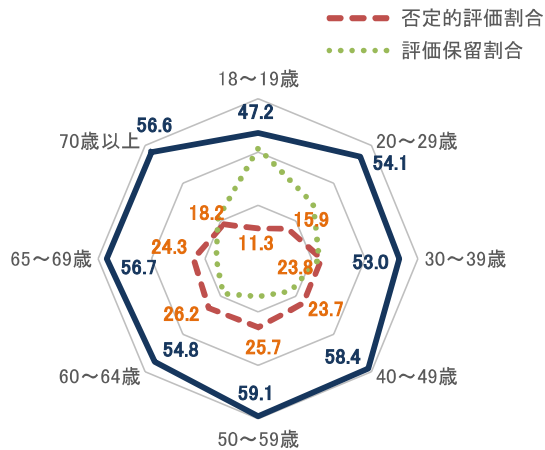
【施策コード／施策名】 2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援	【担当部局】 こども未来部、保健福祉部
---	------------------------

【区分】	【指標名】
●	子どもを産み育てやすい地域である

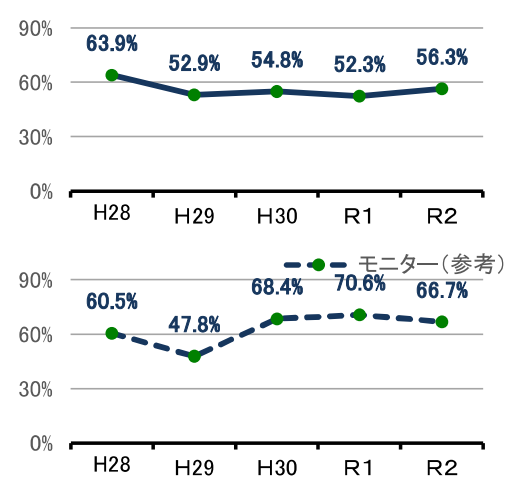
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	52.9%	54.8%	52.3%	56.3%
否定的評価割合	26.7%	24.4%	25.7%	22.1%
評価保留割合	17.9%	17.6%	18.0%	19.5%

現状値 (H28)	目標 (R3)	63.9%	↗
平均値 (H29~R2)		54.1%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



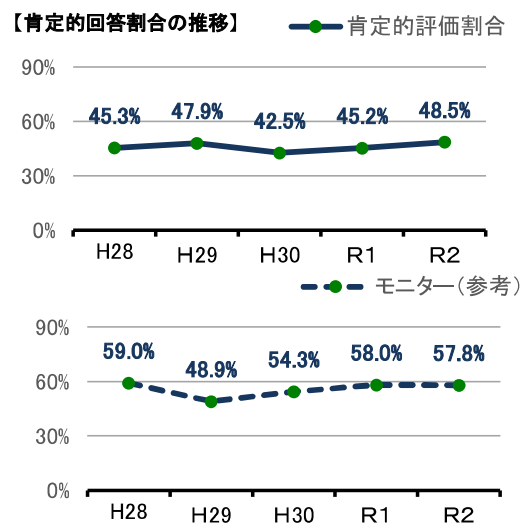
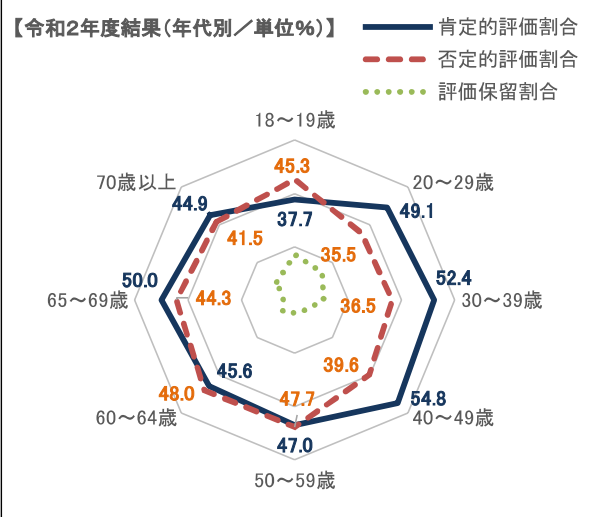
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 姪が生まれたがとても育てやすかった。 ✓ 保育園の入所待ちなどがなく、預けることができる。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 支援制度がやや不十分。 ✓ 小さいころからいろんなことを経験できるような施設がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 寄付金も特別に貰えた。 ✓ 自然が多く近所付き合いもある。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大学が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実際、沢山の補助や支援を受けた。 ✓ 子育てをされていて困ることがない。 ✓ 自然が多くゆびゆびと子育てができる環境であると思う。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 育児サービスが充実していない。 ✓ 子育て支援金がほしい。 ✓ 他の市区町村の話を見ると、長野市にはない支援がたくさんある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 相応の学校や医療機関等がある。 ✓ 育てやすかった。 ✓ 子供の医療費が安い。子供が遊べる公園が多い。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ お金がかかる。 ✓ サポートが充実していない。 ✓ 子どもが暮らす前提で地域社会が作られていない。 ✓ 子連れで安心して遊べる施設が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子育て支援が充実しているように感じる。 ✓ 職場には3人~4人のお子様を育てている親が多いため、育てやすいと感じる。 ✓ 自然環境豊かで都市機能も整っている。 ✓ 近所付き合いもまだあり孤立しないで子育てできる。 ✓ 自然が豊かで、人が穏やかな土地柄である。 	50~59歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 親戚・近所の付き合いが長く、何かと力を貸してくれる。公園と緑が多く自然と接する子育てができる。 ✓ 地域での交流がある環境が整っている。 ✓ 戸建てが多く静か。自然が多いし買い物も便利。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 働く女性で一年前から小さな子供を預ける保育園を探していると聞く。 ✓ 出産できる病院が減っている。子育て世帯への支援が十分ではない。 ✓ 子供がどんどん少なくなって子供どうし、親どうしの関係も薄くなっているのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 周産期医療体制が充実している。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 共働き世代には厳しい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子供たち三人、お陰で無事に成長した。 ✓ 児童センターはじめ地域で子供を育てる環境がある。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中山間地なので、子供が少なく、教育に支障がある。医療機関に恵まれない。

【施策コード／施策名】 2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援 2-1-2 子どもの成長を育む環境の充実	【担当部局】 こども未来部、保健福祉部
---	------------------------

【区分】	【指標名】
○	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	47.9%	42.5%	45.2%	48.5%
否定的評価割合	40.1%	48.0%	44.9%	42.1%
評価保留割合	9.2%	6.7%	6.5%	7.7%

現状値 (H28)	目標 (R3)	45.3%	
平均値 (H29~R2)		46.0%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ 姉の子育てを手伝った。	19歳以下	
✓ 声をかけるようにはしている。 ✓ 検診も多くあってありがたい。	20~29歳	✓ 関心がない。
✓ 自分も子供が生まれ、余計に思う。 ✓ 子育て中なのでお互い様の精神で助け合っている。 ✓ 自分も子育てをしている。 ✓ 必要な時には手助けしようと思っている。	30~39歳	✓ 他人に対してなにかしようとは思わない。 ✓ 手助けする余裕はないし、手助けしてもらえない。
✓ 子を持つ親として、お互いに手助けしていきたい。 ✓ 相談窓口がある。 ✓ 兄の子供を預かたりしている。 ✓ 心掛けてはいる。	40~49歳	✓ 我が子の世話で手いっぱいである。 ✓ 他家に関与する機会があまりない。 ✓ 子育て支援センターに子供を連れて行く以外の場所がわからない。
✓ 部下に対して取組んでいる。 ✓ 計画を立てたりする時声を聞くようにしている。 ✓ 千曲市の孫の面倒を頼まれると見ている。	50~59歳	✓ 周囲に実態がない。 ✓ 子育て家庭と接点がない。 ✓ 近所の付き合いがそれほどない。
✓ 地域で子育てサロン子供さんへの声掛けをしている。	60~64歳	✓ 近所に子供がいない。 ✓ 気持ちはあっても実際は難しい。 ✓ 下手に声を掛けたり、注意すると、かえって親が文句を言うなど気まずいことがある。難しいと痛感。
✓ 見守り育て合いサロンの実施。 ✓ 意識し努めている。 ✓ 日常孫の世話をしている。	65~69歳	✓ 隣近所との交流があまりないため、頼まれたり、相談されたら協力はする。
✓ 毎月開催の子育て広場に参加したり、近所の保育園の子供たちに声掛けしている。	70歳以上	✓ その状況にない。 ✓ 該当者がいない。

【施策コード／施策名】 2-1-2 子どもの成長を育む環境の充実	【担当部局】 こども未来部、保健福祉部
-------------------------------------	------------------------

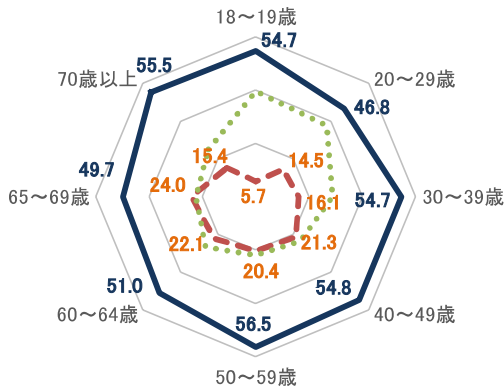
【区分】	【指標名】
●	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	51.5%	52.1%	50.9%	53.6%
否定的評価割合	20.0%	20.2%	20.9%	18.6%
評価保留割合	26.3%	24.8%	24.1%	25.6%

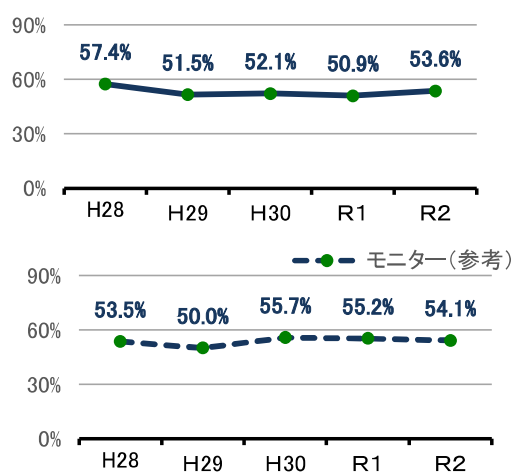
現状値 (H28)	目標 (R3)	57.4%	↗
平均値 (H29～R2)		52.0%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓自然な中で遊ぶことができる。 ✓あまり待機児童のことを聞かない。	19歳以下	
✓家では出来ないことをしてくれている。 ✓0歳からでないと保育園厳しい。	20～29歳	
✓幼稚園教育が充実している。 ✓待機児童数も少ないと聞いている。	30～39歳	✓都会に比べれば充実しているとまでは言えない。
✓都会と比べてとても充実している。 ✓情報で自分の子供が行っている時より、今の方がさらに充実している。 ✓保育園の質が高かった。 ✓もう少し、遊具などあるといい。	40～49歳	✓利便性の高い地域には空きがなく、車で送迎がしにくい立地にあたりする。 ✓もっと時代の流れにあった対応をして欲しい。 ✓保育園が遠すぎる。一方で、子供が通う済生会保育園の保育士が熱心で親切。
✓保育所の数も多いので働くお母さんは助かっている。 ✓一応それなりの園や保育所がきちんとある。 ✓信更保育園では子供がのびのび生活している。	50～59歳	✓小さなお子様を育てている方とお話した時、保育園に入る為にはいろいろと条件が厳しいと聞いた。 ✓待機児童がいる。
✓希望した保育所に通わせられた。	60～64歳	✓先生の質に疑問を感じる。 ✓閉鎖的な感じがする。
✓認定こども園、保育園、児童センター、子どもプラザ等ある。	65～69歳	✓幼少、未就園児に不足。共働きは一歳未満から必要。
✓少人数への対応がよい。ただ戸隠保育園の環境はあまりよくない。 ✓幼稚園をはじめそれぞれ園毎に独自の教育・保育が行われている。 ✓冷暖房の充実を望む。 ✓地域では保育園バスを多々見かけることが多いことや、幼稚園児の野外活動の姿をよく見かける。	70歳以上	✓ハード面では一見充足しているように見えるが夫々の規模が小さい、又ソフト面では知力・体力・芸術面等個性を伸ばす特徴のある子育て等の充実が望まれる。 ✓高齢世帯で分からない。

【施策コード／施策名】 2-1-3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援	【担当部局】 こども未来部、保健福祉部
--	------------------------

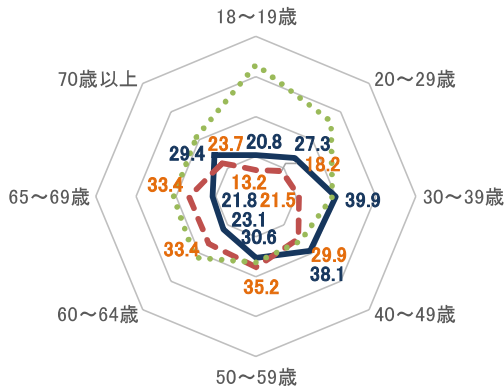
【区分】	【指標名】
●	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	27.8%	28.0%	26.4%	30.6%
否定的評価割合	31.2%	29.5%	31.8%	27.9%
評価保留割合	38.4%	39.3%	37.6%	39.3%

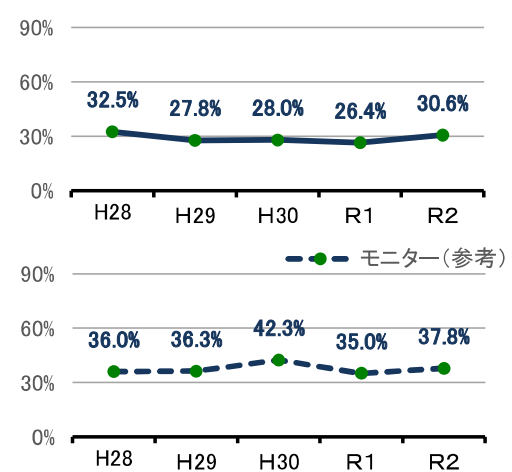
現状値 (H28)	目標 (R3)	32.5%	
平均値 (H29～R2)		28.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓近所に相談施設がある。	19歳以下	
✓ハードルは高いが、たくさんの連絡先を貰えた。	20~29歳	✓どこで相談できるのか分かりづらい。
✓妻が妊娠して、保健所でいろいろ紹介してもらった。 ✓通っている幼稚園がかなりしっかりやってくれている。 ✓出産後に育児相談に関する相談窓口などの周知があった。	30~39歳	✓たらいまわしで解決しない。 ✓無いわけではないが、積極的に動かない限りやはり取り残されてしまう。
✓子供の通っている済生会保育園の保育士が熱心で親切である。 ✓小学校に、カウンセラーが来る。 ✓保健センターに相談できる。	40~49歳	✓あまり周知されていない。 ✓特にそういう制度も知らない。 ✓どこに相談すれば良いかわかりにくい。特に就園前。
✓児童相談所対応ダイヤル「189」というのがあると広報長野で読んだ。 ✓サークル活動が盛んであり、集う場所が多数あるように感じる。 ✓子育て広場、支援センターなどある。	50~59歳	✓相談を受けることも無くなった。 ✓保健所の健診等あり、いいと思うが、赤ちゃんを産んだ方のはなしでは、保健婦が家庭問題に介入して、余計にこじれた話を聞いた。 ✓お知らせなど前に比べると少ない。
✓体制は出来ていると思う。相談された後の対応については不明。 ✓児童福祉の充実。相談窓口や定期健診での相談ができる。	60~64歳	✓表面的な援助しかない。 ✓どこに相談していいのかわからない。 ✓子育て支援員の存在があまり整っていない。 ✓そのような体制があることがわからず、知人に相談した。 ✓気軽に相談する相手、場所、窓口がわからない。
	65~69歳	✓働きながらの時間帯では行きづらい状態。
✓広報が不十分の様に感じる。 ✓保健センターで相談や話は聞いてもらえるが、思ったような回答が得られないことが多い。	70歳以上	✓高齢世帯は分からない。 ✓健康センター職員はよくやってくれているが、他に相談しやすい場がない。 ✓相談するところが近くにない。

【施策コード／施策名】 2-2-1 高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進	【担当部局】 保健福祉部
--	-----------------

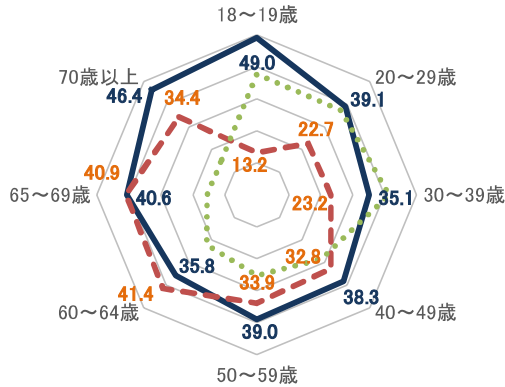
【区分】	【指標名】
●	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	40.5%	39.5%	38.2%	40.4%
否定的評価割合	33.5%	34.4%	35.5%	32.8%
評価保留割合	24.1%	23.0%	22.6%	24.7%

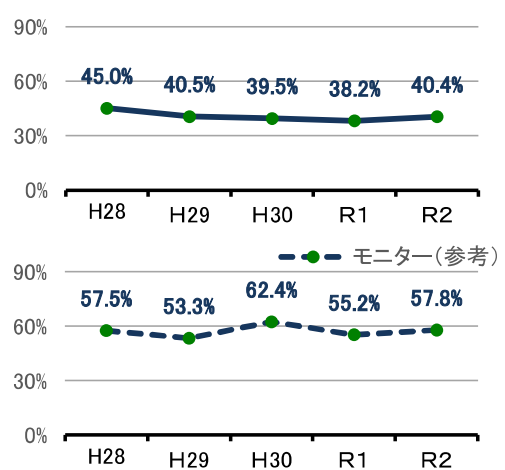
現状値 (H28)	目標 (R3)	45.0%	
平均値 (H29~R2)	39.7%		

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- ⋯ 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地区にお年寄りのサークルがあって、活動している。 ✓ 交通安全の見守りをして下さる方が多かった。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ シニア大学など環境はある。 ✓ まわりの話などを聞いてみる。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者と関わる機会があまりない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者向けは充実してそう。 ✓ 回覧板で情報が載っている。 ✓ 高齢者向けの活動情報はとても充実している。 ✓ 住んでいる地域では盛んにある。 	30~39歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者向けは充実してそう。 ✓ 回覧板で情報が載っている。 ✓ 高齢者向けの活動情報はとても充実している。 ✓ 住んでいる地域では盛んにある。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ハローワークのように、もっと人材マッチングのシステムを積極的に行うべきである。現状では周知が不十分。 ✓ 広域の為、足がないと参加できなくなっていく。 ✓ 日中、一人である高齢者をたくさん見る。 ✓ こういったことへの誘いが少ない気がする。 ✓ 周囲でそうした活動を見ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各地区の公民館などで行われている学習活動に参加したことがあり、皆さんも熱心に質問されていた。 ✓ 公民館活動などが盛んだと感じる。 ✓ 地区清掃にも元気な高齢者を多く見かけ、公民館サークル活動も盛んである。 ✓ 高齢者はパワフルで仲間どうし学習やボランティアに充実した暮らしをしている。 ✓ 利用して感じる。 ✓ 実家の母の暮らしぶりを見ていてそう思う。 	50~59歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者の活躍が目立つ。 ✓ 実際にボランティアをしている。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 数年前から老人クラブがなくなってしまい残念。重要性を改めて感じる。 ✓ 公民館活動が未成熟で格差もある。介護施設の質の問題も見落とせない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学ぶ施設がたくさんある。 ✓ 地域みんなが支え合いの努力をしているが、限界がある。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あるにはあるが柔軟な参加ができるとう良い。 ✓ 携わっている方が少ない。 ✓ 活動内容が解らない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市報や回覧板等で情報が得られる。 ✓ 高齢者を対象とした講座がある。 ✓ 各種ボランティアや学習活動はあるが男性の参加が少ない。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公的施設における活動はよく行われていると思うが、高齢者の住まいの近くに地域公民館以外には集まれるところがほとんど無いと言っている状態である。

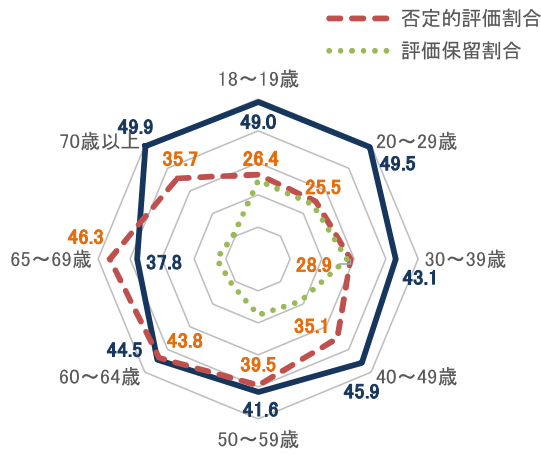
【施策コード／施策名】 2-2-2 高齢者福祉サービスの充実	【担当部局】 保健福祉部
-----------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
●	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている

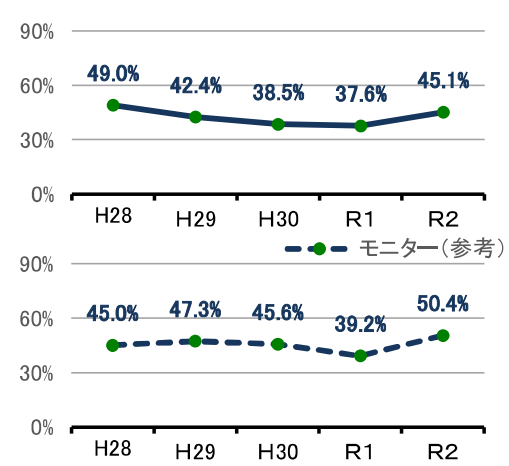
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	42.4%	38.5%	37.6%	45.1%
否定的評価割合	40.3%	42.3%	44.0%	36.4%
評価保留割合	15.5%	16.2%	14.9%	16.6%

現状値 (H28)	目標 (R3)	49.0%	
平均値 (H29～R2)		40.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



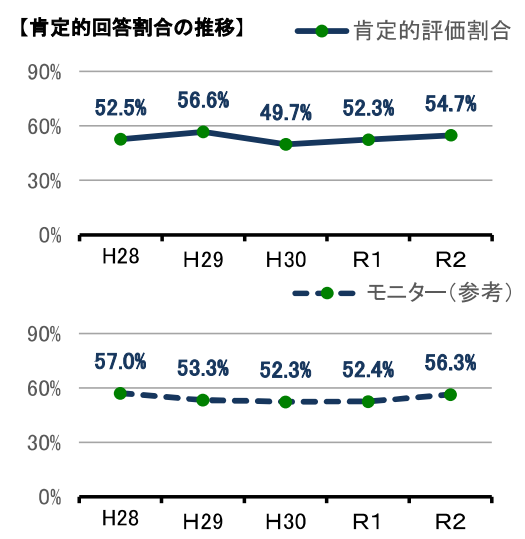
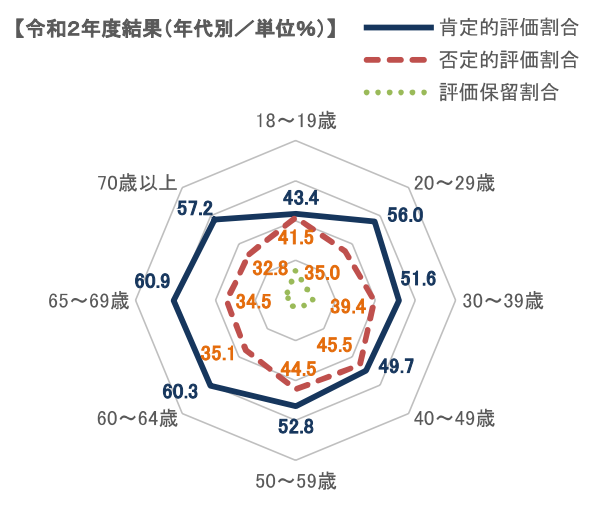
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスが多い。 ✓祖母が元気に暮らせている。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通機関の便が良くない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓バリアフリーの意識が高い。 ✓かがやきひろばが充実している。 ✓デイサービスなど施設がたくさんあるように感じる。 ✓地域協力がある。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓もう少しバリアフリーだと良い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓かがやきひろばが充実している。 ✓デイサービスなど施設がたくさんあるように感じる。 ✓地域協力がある。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓車社会なのでどうかしないと高齢者になると住みにくい街になる。 ✓山間部が昔より不便になっているように見える。
<ul style="list-style-type: none"> ✓古くからの方が多地域なのでそう思う。 ✓地域の繋がりは多少なりとも残っている。 ✓訪問介護などがある。 ✓支所など支援が充実している。 ✓相応の医療機関があり、交通網も充実している。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の努力が必要である。 ✓環境が整っていないから高齢者が独自のルールを作りはじめ迷惑になることが多い。 ✓バスの減便や小売店の廃業など買物弱者問題は解決されていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓2世帯で暮らしている家族が多い。 ✓高齢者サービス付き住宅や宅老所、リハビリ型デイサービスなど多くの施設がある。 ✓実家の母の暮らしぶりを見ていてそう思う。 ✓高齢者施設も沢山有り利用者もたくさん居る。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通機関が少ない。 ✓両親が昨年の災害で家を失い住み慣れた土地を離れ暮らしている。 ✓交通の整備が不足。タクシー券の補助など不足している。 ✓公共交通機関や商店が近くにないと厳しい。 ✓車がないと不便。
<ul style="list-style-type: none"> ✓そのため市街地に引っ越した。 ✓在宅介護が福祉サービスの充実で助かっている。 が、外に出るのは大変。車椅子でのトイレや食事処を事前に調べないといけない。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓病院もスーパーもどんどん減っていく中、今までだった車社会だったのに高齢者は暮らせない。 ✓引き継ぎ手や面倒をめてもらえる環境が整っているとは言えない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓買い物便利。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に中山間地の高齢化は深刻であり、支援が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ✓インフラ、交通 利便性あり。 ✓サークル活動や生きがいを持てるような活動が行われている、通いの場がある。 ✓一人暮らしの高齢者を地域内で助け合っている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓隣近所の付き合いが希薄になっている。 ✓家庭環境により異なるので何とも言えないが、安全面と緊急時のフォローが家族とご近所等で助け合えるネットワークづくりができていない。

【施策コード／施策名】 2-2-2 高齢者福祉サービスの充実	【担当部局】 保健福祉部
-----------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
○	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	56.6%	49.7%	52.3%	54.7%
否定的評価割合	34.9%	42.3%	40.6%	38.4%
評価保留割合	6.0%	5.5%	4.1%	5.3%

現状値 (H28)	目標 (R3)	52.5%	↗
平均値 (H29~R2)		53.3%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ 近くに住んでいる祖父母の手伝いをしている。	19歳以下	✓ する機会がない。
✓ 義実家が高齢なので助け合っている。 ✓ 様々な事業があり良い。	20~29歳	✓ 近所に高齢者があるかどうかもわからないほど付き合いがない。
✓ 台風19号で避難の際に隣の一人暮らしの高齢の方を車に乗せて一緒に行動していた。避難生活中、その方は子どもの話あそび相手になってくれた。	30~39歳	✓ 近所に高齢者がいるかわからない。 ✓ 余裕がない。 ✓ 他人に対してなにかしようとは思わない。
✓ 包括センターなどの利用。 ✓ ゴミ出しの手伝いをしている。 ✓ 心掛けてはいる。	40~49歳	✓ あまり接する機会がない。 ✓ 高齢者とかかわりがない。 ✓ 近所付き合いはほとんどない。
✓ 田んぼ手伝っている。 ✓ ゴミ捨てや雪かきの手伝いをしてあげたり、野菜やお花を頂いたりと交流している。 ✓ 母の暮らしを見ていてそう思う。 ✓ 必要な手助けをしている。 ✓ 買い物など。	50~59歳	
✓ 地域での福祉活動に参加。近くに身内のいない方への声かけをしている。 ✓ 挨拶をする。ゴミ出しの手伝いや植木の消毒等組でする。	60~64歳	✓ 近所に介護が必要な高齢者がいない。
✓ 居場所づくり(体操・お茶飲みサロンect.の実施)	65~69歳	
✓ サロン事業や介護予防健康体操の会などでお役を通じて話をしたり、聴いている。道でお会いしたら必ず声掛けしている。 ✓ 高齢者に対する支援をもっともっと進めていくことに努力している。	70歳以上	✓ 自分達がすでに一番高齢になっている。 ✓ その状況にない。

【施策コード／施策名】 2-3-1 障害者(児)福祉の充実	【担当部局】 保健福祉部
----------------------------------	-----------------

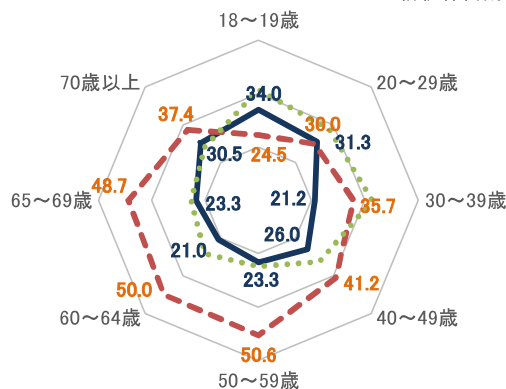
【区分】	【指標名】
●	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	23.4%	22.4%	21.9%	25.9%
否定的評価割合	45.9%	44.8%	45.2%	41.7%
評価保留割合	28.6%	29.8%	29.3%	30.5%

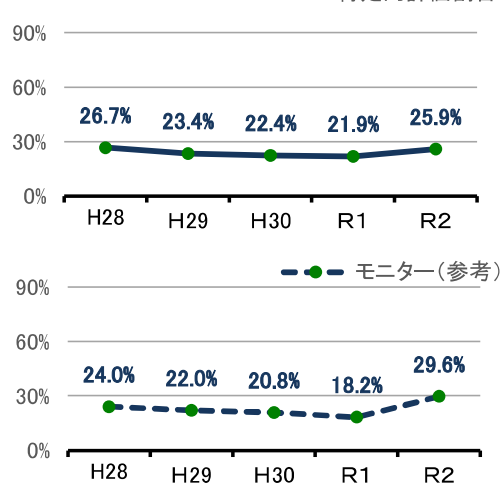
現状値 (H28)	目標 (R3)	26.7%	
平均値 (H29~R2)		23.4%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓施設はある。 ✓色々な企業で雇用している。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ユニバーサルデザインの建物を増やしたほうが良い。 ✓サービスをあまり見かけない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓公共の場所はバリアフリーが進んでいる。 ✓バリアフリーが当たり前になってきている。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓点字ブロックなど増やした方が良い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野駅周辺はバリアフリーが整っている。 ✓ヘルプマークが浸透してきている。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自動車文化なので同居者がいれば問題ない。 ✓人で暮らせるようなサービス環境には至っていない。 ✓公共交通の移動も十分でない支援が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓授産施設が多い。 ✓市報などの情報からそう感じる。 ✓情報を入手できるかできないかで大きく異なる。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓車イスの方が車道を移動しているのを見てるとそうは思わない。 ✓重症心身障害者の施設が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ハードウェア面(バリアフリー)でもソフトウェア面(接客サービス)も充実してきている。 ✓子供が障害者なのでよくやっている。 ✓障害福祉は充実し、恵まれている。 ✓福祉自動車の運行。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓障がいのある方々をあまり見かけられない。 ✓バリアフリーにほど遠い。 ✓道の整備が足りない。 ✓災害時に障害のある方の避難が大変だと気づいた。 ✓近くに見当たらない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓通常時には暮らせる環境整備が進んでいる。災害時には課題がある。 ✓サービスや環境は整いつつあるが十分ではない。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓障害のある人の状態を把握したうえでの適切な支援が必要。 ✓バリアフリーが未整備なところが多い。 ✓障害者に対する認識がうすい。
	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓経験がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓特に問題はない。 ✓民生児童委員が親身になってくれる。 ✓障害者施設がいろいろ催事に参加して存在をアピールしている。 ✓いくつかの施設などの環境が整っていると思うが、足の問題、道路環境の問題等で外出できない障害者もあり、この対応策が期待される。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓接する機会が自然にあれば良い。 ✓障がい者への住民の意識(関心)が低いいため、改善するような風潮はない。障がいを隠している面も伺える。 ✓市営住宅があるが、障がい者は5階までの階段の上り下りがきついと思う。 ✓親が高齢になったり、亡くなった後心配である。

【施策コード／施策名】 2-3-1 障害者(児)福祉の充実	【担当部局】 保健福祉部
----------------------------------	-----------------

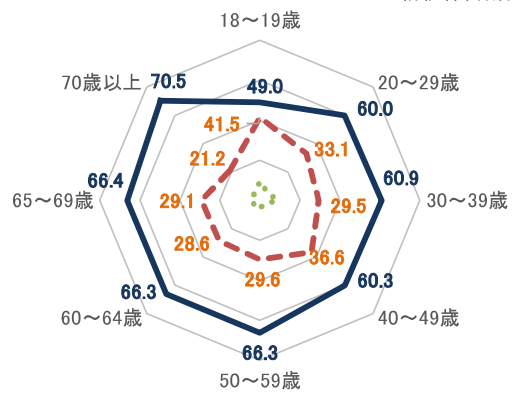
【区分】	【指標名】
○	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	67.9%	63.3%	64.3%	64.8%
否定的評価割合	24.9%	29.5%	28.7%	28.9%
評価保留割合	4.9%	3.9%	3.9%	4.5%

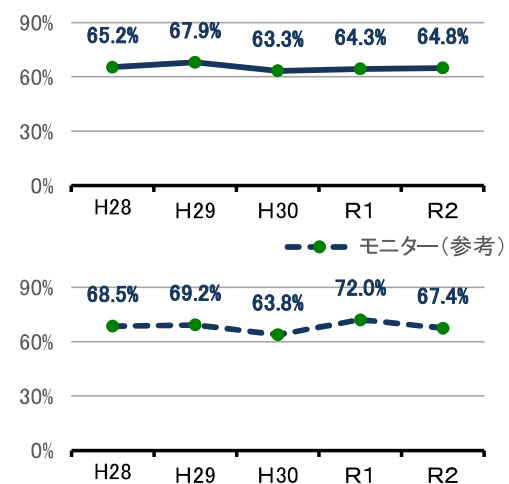
現状値 (H28)	目標 (R3)	65.2%	
平均値 (H29～R1)		65.1%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ヘルプマークには気にかけている。	19歳以下	
✓障害の人には手を貸すようにしている。	20～29歳	✓勇気が出ない。
✓できる限り手助けしたいので声をかけられやすいように意識している。	30～39歳	✓見かけなかった。 ✓他人に対してなにかしようとは思わない。 ✓ヘルプマークがあれば気にかけて見ます。
✓できることをやっている。	40～49歳	✓障害者と変わる機会がない。 ✓周りにいないため、特に何かしたという事はない。 ✓我が子の世話で手いっぱいである。
✓必要であれば声をかけるようにしている。	50～59歳	✓機会がない。 ✓日常的にお見かけすることがない。 ✓バスや電車で席を譲ることはしていますが、積極的に声をかけることはなかなかできていない。
✓困っている事はないか、すぐに声かけ、手助けしたい。	60～64歳	✓特に気に掛けるようにはしていない。
✓実際にできるか分からないが気にはかけている。	65～69歳	✓気にはかけるが行動にはなかなかでられない。 ✓声をかけられない限りジロジロ見たりしない。
✓心掛けてはいる。	70歳以上	✓その状況にない。 ✓その時の状況で手助けする。
✓視覚障害者など声を掛けるようにしている。		
✓近所の障害者施設の方が車イスで、上り坂で大変そうだと声を掛けている。		
✓我が家にも障害のある娘がいるので、率先して行っている。		
✓福祉に携わっているので、自然に手助けができる。		
✓ドアの開閉等の声がけをする。自分の経験からなるべく声をかける。		
✓特に目にハンディがある方に気にかけるようにしている。		
✓関心をもってみている。		
✓自分の孫もそうであるように障害者の目線で常に対応できるようにしている。		
✓以前からそのようなときは実践している。		

【施策コード／施策名】 2-3-2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現	【担当部局】 保健福祉部
---	-----------------

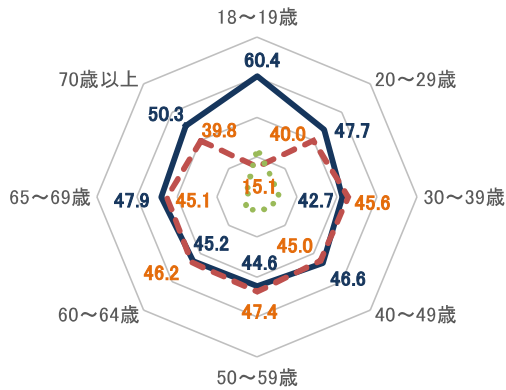
【区分】	【指標名】
●	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	45.0%	46.0%	42.6%	47.0%
否定的評価割合	45.5%	43.9%	46.7%	43.2%
評価保留割合	7.8%	7.4%	7.2%	8.0%

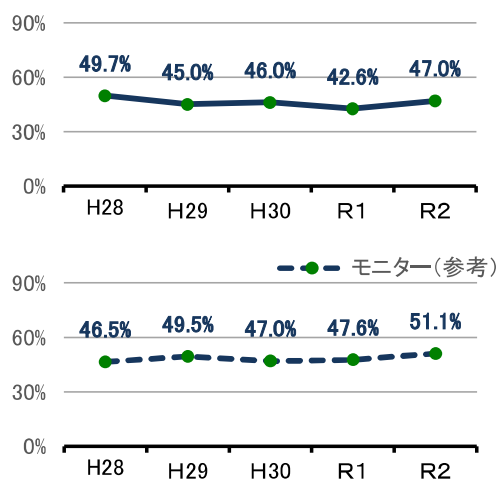
現状値 (H28)	目標 (R3)	49.7%	
平均値 (H29～R2)		45.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓近所の人と仲がいい。
- ✓台風19号の際も地域一体となって支えあうことができていた。
- ✓子供産まれてから話しかけられるようになった。
- ✓毎日挨拶をして交流がある。
- ✓わりと近所同士話す機会がある。
- ✓近所付き合いをふりかえると関係がしっかりしている。
- ✓台風19号で避難した際に近所に声を掛け避難を促したり、一人暮らしの高齢者を車に乗せて一緒に避難したり、助け合う場面があった。
- ✓いつも相談にのってもらっているから、お互いに支えあっている。
- ✓子育てについて協力している。
- ✓地域の活動が盛んである。
- ✓地区内で親睦を深める行事が行われている。
- ✓昔からの助け合いが活きている。
- ✓高齢者同士でも家の行き来がよく見かけられるし、雪かきなども皆、協力的である。
- ✓実家の母の暮らしぶりを見ていてそう思う。
- ✓組同士の助け合いや声掛けをする。民生委員に相談できる。
- ✓何かあったときには周りの人に頼れる。
- ✓アパートなので大家との関係は良好。
- ✓隣組同士の関係は良好である。
- ✓声かけなどは多い。
- ✓現在困った時助けていただいていたので有難いと思う。
- ✓地域においてお助け隊(ウルトラ隊)を結成して相談などにのっている。

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65～69歳
- 70歳以上


【モニターの主な否定的意見】

- ✓中心市街地では近所付き合いが減ってきている。
- ✓近所付き合いがない。
- ✓今アパートに住んでいるが、回覧も回ってこない。
- ✓ご近所さんとはあまり関わらない。
- ✓自分の周りがそうでない。
- ✓助けてもらえるのは高齢者だけで子育て世代は助けてもらえない。
- ✓近所付き合いがない。
- ✓挨拶をしても無視をする人もいるくらいなので人間関係が築ける環境ではない。
- ✓勤務時間や休日などの関係で隣近所との交流はほとんどない。
- ✓挨拶はするがそれ以外は見うけられない。
- ✓道路を挟んで区が違くと、全くわからない。
- ✓隣に住んでいる人も知らない。
- ✓挨拶ができない大人の人が増えている。当然支え合いは難しい。
- ✓築かれている人は多いが自分から発信できない人をどう接していくかが問題。
- ✓付き合いが無い。
- ✓限定的である。
- ✓付き合いがない。
- ✓プライバシーを優先する気風がある。

【施策コード／施策名】 2-3-2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現	【担当部局】 保健福祉部
---	-----------------

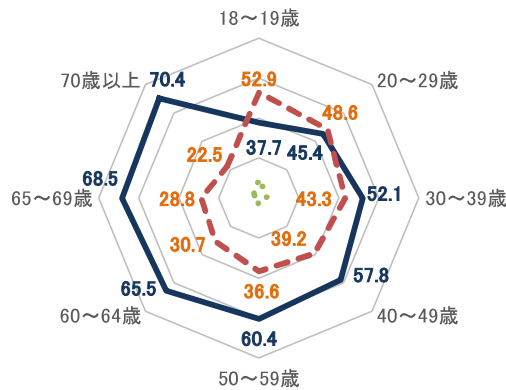
【区分】	【指標名】
○	ご近所同士で交流をし、困った時お互いに助け合える関係を築こうとしている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	61.3%	57.9%	59.1%	61.4%
否定的評価割合	31.9%	36.7%	34.9%	33.8%
評価保留割合	4.8%	3.0%	2.9%	3.2%

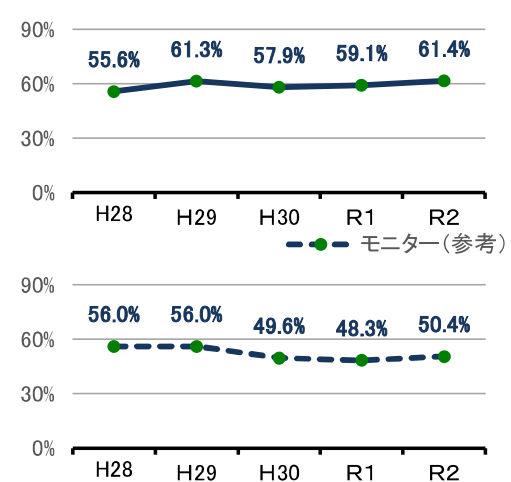
現状値 (H28)	目標 (R3)	55.6%	
平均値 (H29~R2)		59.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓挨拶をして交流している。 ✓赤ちゃんが居るところには話している。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓近所付き合いがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓できることをやっている。 ✓情報共有してよい関係を築こうとしている。 ✓地域活動に参加している。 ✓近所で挨拶をして、顔見知りになっている。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓交流がないため。 ✓関わりがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓普段より交流している。 ✓心掛けてはいる。 ✓連絡先も知っているし、顔を合わせれば立ち話もする。 ✓あいさつは必ずするようにしている。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓治安が悪いので、極力関わらないようにしている。 ✓不要。 ✓余裕がない。 ✓他人に対してなにかしようとは思わない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓困ったときには助け合っている。 ✓ご近所づきあいはしている。 ✓高齢化に伴いお互いに声を掛け合っている。 ✓実践している。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓一人暮らしの為、恐怖感から出来ていない。 ✓我が子の世話で手いっぱいである。 ✓意識していない。 ✓近所づきあいなし。
<ul style="list-style-type: none"> ✓積極的に声かけをしている。 ✓身近な地域での見守りや支え合いをしている。 ✓古くからの住民とは交流があるが、転入者は難しい。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓面倒である。 ✓挨拶程度の付き合い。 ✓近所が変わった人ばかりで、関わりたくない。 ✓そういう雰囲気ではない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域での活動と関係づくりを実施している。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓アパートなので近所の交流はそれぞれない。 ✓マンションなので、年代が違う人には今のご時世、話しかけていいものか戸惑う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓近所づきあいは地域福祉の原点と考えて、いろいろな会議や集会で話題しているほか、路上であった人には声掛けしている。 ✓温かい挨拶を心掛けている。今までいい関係を築いてきているため、今は助けてもらおうことが多い。 ✓助け合い、支え合いができるまちづくりを目指している。 ✓組(10世帯)まとまっている。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓していない。 ✓深い関係は難しいが気持ちは持っている。
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓地区での交流は不要と感じる。それ程人間関係を築けていない。 ✓付き合いがない。 ✓近所の交流は少ない。 ✓プライバシーとの兼ね合いが微妙。

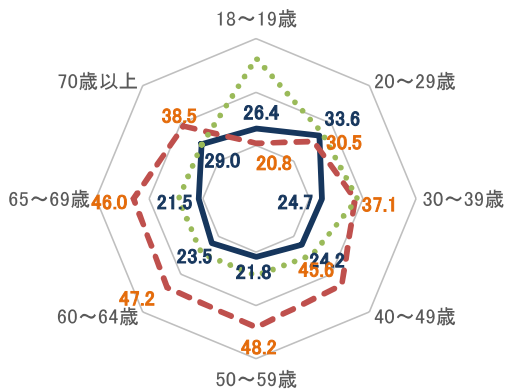
【施策コード／施策名】 2-3-3 生活の安定と自立への支援		【担当部局】 保健福祉部	
【区分】	【指標名】		
●	生活に困った時に相談できる体制が整っている		

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	23.5%	21.7%	22.4%	25.4%
否定的評価割合	44.6%	43.8%	46.0%	41.8%
評価保留割合	30.0%	31.4%	28.1%	30.8%

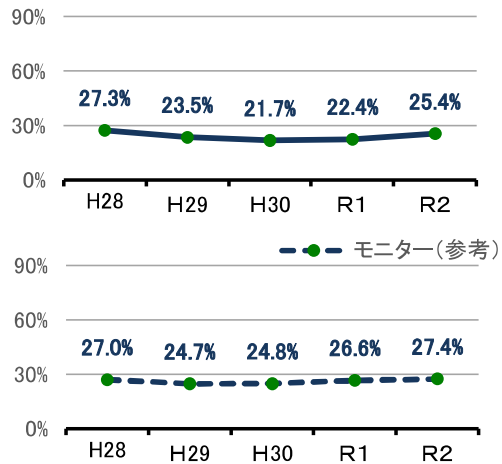
現状値 (H28)	目標 (R3)	27.3%	↗
平均値 (H29～R2)		23.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- ⋯ 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ニュースを見て思う。 ✓近くに揃っていると思う。 ✓相談窓口など調べるといろいろあった。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓どこに相談して良いのか分からない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓相談窓口など、わかりやすい。 ✓保健センター等で相談しやすい環境である。 ✓相談先一覧の冊子があったと思う。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓実際に友人が生活に困った時にどうしたらいいのかわからず、相談に行っても話がうまく進まず、かなりの時間がかかり、酷な状態が続いた。たらいまわしや度重なる説明が要らないように一貫していて分かりやすい窓口が欲しい。 ✓相談するのか、相談できる人がいるのかわからなく、どこに相談していいのかわからない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓行政窓口があることを知っている。 ✓実際に相談した事がある。 ✓支所などに聞ける。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓何処へ相談すればいいのかわからない。 ✓相談窓口が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓広報ながのに生活相談の問い合わせの内容が書かれてあるので整っていると思う。 ✓市役所が大きくて整備されて窓口に行きやすい。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓生活保護は整っているが、手厚過ぎて、お金をもらいすぎ。 ✓相談先が分からない。 ✓なかなか生活苦を他人に相談しにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓体制は整っているのだろうと想像するが、自分がと考えた時どこに相談すべきなのかわからない。 ✓災害時に相談できる体制ができていた。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓困ってからでは遅いと思う。 ✓民生委員が窓口にはなっているが、なかなか地域の中では相談できない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓声をかけると直ぐに対応してくれる。 ✓マイサポ等、行政施策は充実してきており大変良いと思う。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓体制自体知らない。
	65～69歳	
	70歳以上	

【施策コード／施策名】 2-4-1 健康の保持・増進の支援	【担当部局】 保健福祉部
----------------------------------	-----------------

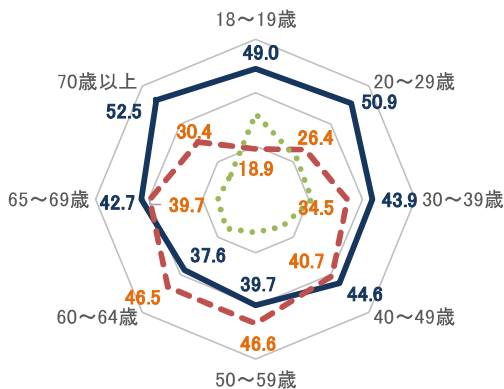
【区分】	【指標名】
●	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	43.9%	43.3%	42.7%	45.3%
否定的評価割合	37.4%	38.6%	38.3%	37.3%
評価保留割合	16.9%	15.2%	15.2%	15.4%

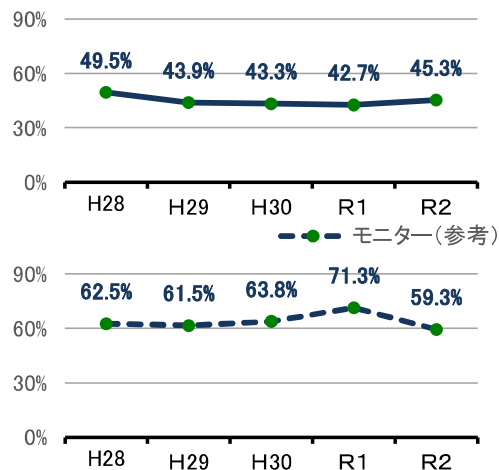
現状値 (H28)	目標 (R3)	49.5%	
平均値 (H29～R2)		43.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然が多いため。 ✓道もしっかりして歩きやすく、ジムもできた。 	19歳以下	
	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓スポーツする場が少なく感じる。 ✓公園が増えてきているも、子供向けで足つぼとか鉄棒など大人にもいいのがあると嬉しい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓スポーツジムなど、施設も充実している。 ✓体操教室など企画がある。 ✓市の健康診断など充実している。 ✓運動公園が近くにあり、アクアウィングのジムやプールも安価に利用できる。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓サポート、公共施設が少ない。 ✓健康診断等のカレンダーは来るものの、アフターケアはないように思う。 ✓公園などにジョギングコースや運動目安を表示するような取り組みがあってもいい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓公園が充実している。 ✓ジムやプール散歩できる公園も数多い。 ✓健康カレンダーが役に立っている。 ✓いろいろな健康講座が多くなってきた。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓整っていないので病気になるまで気づかないことがある。 ✓運動施設が近くにない。 ✓歩くことぐらいしかない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓運動施設、自然がある。 ✓各地の体育館では各種スポーツが行われていて、安心してウォーキングできる河川も整備された。 ✓スポーツ施設も多くあり、サキベジやフレイル予防など市も積極的に呼びかけている。 ✓病院が近隣にある。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ影響で自粛気味。 ✓ウォーキングや散歩をするのに主要道や町中は良いが限定される。 ✓ウォーキングはできるが健康講座等へ参加する足が高齢者にはない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓公的にも、民間にもたくさんある。 ✓身体を動かせる施設が整っている。 ✓検診や予防接種が充実している。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓周りを見渡しても高額な施設しかない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ウォーキングやラジオ体操ができる環境にある。 ✓行政施策の充実などにより、年々各地に「健康体操など」が実施されるようになってきており、住民の健康意識も高揚している。 ✓野山ある。 	65～69歳	
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓情報不足。 ✓リーダーとなっている人が消極的。

【施策コード／施策名】 2-4-1 健康の保持・増進の支援	【担当部局】 保健福祉部
----------------------------------	-----------------

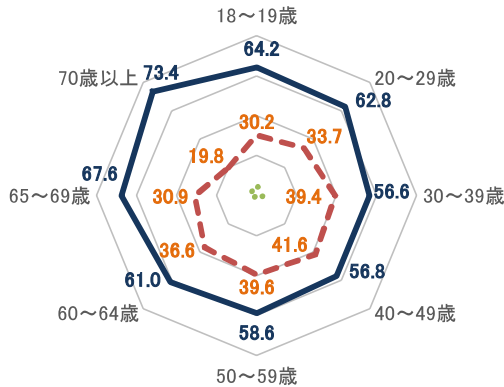
【区分】	【指標名】
○	健康づくりに継続的に取り組んでいる

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	62.8%	60.1%	58.9%	63.3%
否定的評価割合	32.4%	35.9%	36.6%	32.9%
評価保留割合	2.7%	1.6%	1.4%	2.3%

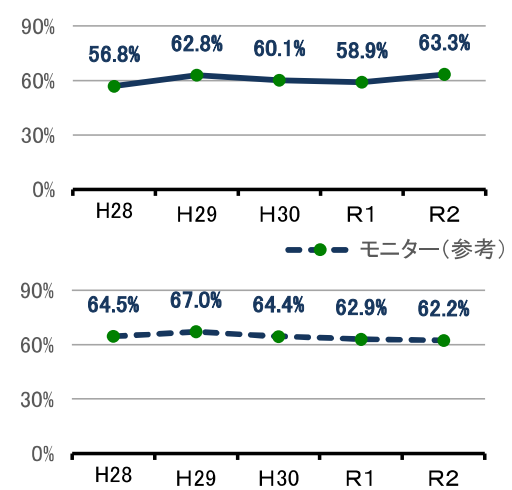
現状値 (H28)	目標 (R3)	56.8%	↗
平均値 (H29～R1)		61.3%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓筋トレをしている。	19歳以下	
✓散歩はしている。	20～29歳	✓家にこもって仕事に変わる小金稼ぎをひたすらしている。
✓自転車通勤している。	30～39歳	✓運動をしていない。 ✓余裕がないし、お金もない。
✓ジムに通っている。 ✓ジムが使えないので毎日8000歩を目安にウォーキングを行うようになった。	40～49歳	✓子どもがいない時はジムに行けたが、子どもを連れていけるジムが無い。または託児は費用がかかり、リフレッシュしたくても子連れで通えるジムがない。 ✓特に何かしていることはない。
✓健康的な食生活を心がけている。 ✓カロリーを意識した食事と適度な運動をしている。 ✓運動を継続している。 ✓地区のソフトバレーボールの練習に参加している。	50～59歳	✓特別なことはしていない。 ✓朝が早く、夜は遅いため、通勤で6000歩くらいは毎日歩いているが、それだけ。
✓空き時間ストレッチをしたり、毎日体重を測っている。 ✓野菜、海藻、きのこを積極的にとる食事や毎日2時間歩くなど、10年以上続けている。 ✓通勤を含め平日毎日1万歩以上歩くようにしている。	60～64歳	
✓毎週の卓球教室、ウォーキング、トレッキングをしている。	65～69歳	
✓犬を毎年受診。 ✓市はつつ体操クラブの実施している。	70歳以上	✓膝を痛めたため現在静かにしている。 ✓個人的な努力には限界もある。
✓積極的に健康塾(月3回、地元の公民館で開催)に役員として参加し、率先垂範しお年寄りの皆さんに喜んでもらっている。 ✓心身の健康が大事であると思い、シニア大学で勉強したり講演会やら音楽鑑賞で向上心と心に潤いを与え、体力面では年齢に応じた太極拳を4年前にはじめたり、とにかく結果は求めずに積極的に行動することに意義を求めて活動している。 ✓最後まで自分の足で自分の家で暮らす事を目標に積極的に取り組んでいる。		

【施策コード／施策名】 2-4-2 保健衛生の充実	【担当部局】 保健福祉部
------------------------------	-----------------

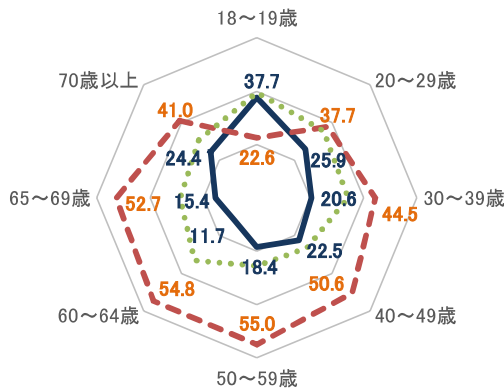
【区分】	【指標名】
●	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	17.8%	17.4%	16.7%	20.8%
否定的評価割合	51.7%	50.1%	51.7%	47.3%
評価保留割合	28.5%	29.4%	27.9%	29.9%

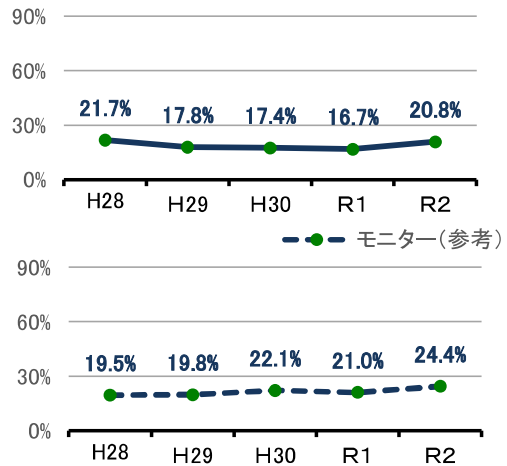
現状値 (H28)	目標 (R3)	21.7%	
平均値 (H29～R2)		18.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 窓口案内が必要と感じる。 ✓ 病院に相談できるのは良い。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ かかりつけの医者がある。 ✓ ハローワークが大きい。 ✓ 相談場所あるらしいけどハードルは高い。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 解決策は教えてくれない。 ✓ どこに相談して良いのか分からない。 ✓ 不安感がある時相談するまでの判断に至らない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 相談できる環境にある。 ✓ 保健センター等で相談しやすい環境である。 ✓ 相談窓口など、整っていると思う。 ✓ 相談先一覧の冊子がある。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どこに相談するのか分からない。 ✓ 心療内科に行く前に、パイプのような機関があるというと思う。 ✓ そういった環境があるという話を聞かない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 友達や親、先生に相談する。 ✓ 市報で相談窓口を見た。 ✓ 実際に相談した事があるのでそう思う。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 誰に相談したら良いのか分からない。 ✓ 病院以外、どんな体制になっているのか知らない。 ✓ 個人情報の取り扱いが不安。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「希望相談」というのがある事を広報なので見た。 ✓ 市の広報を通して感じる。 ✓ 年度当初に配布された健康カレンダーで確認している。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 企業の相談先は分かるが、公共のそれはよく分からない。 ✓ 保健センターの動きが悪い。相談しても解決にならない。 ✓ 相談先が分からない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 職場でそのような環境が整っている。 ✓ 民生委員の存在。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公的などところには相談しない。 ✓ いろいろな不安やストレスがあると思うが、まともに受けてくれる公的機関はない。
	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 心的なストレスに対処する体制はまだ未整備である。 ✓ 相談先が分からない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近い人が多いので相談しやすい。 ✓ 個人的な精神的問題などの相談体制についてもう少しPRが必要と思う。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報不足。 ✓ プライバシーの中で解決している。 ✓ そのような相談場所があることをあまり聞かない。 ✓ どこに相談したらよいかの周知があまりされていない。

【施策コード／施策名】 2-4-2 保健衛生の充実	【担当部局】 保健福祉部
------------------------------	-----------------

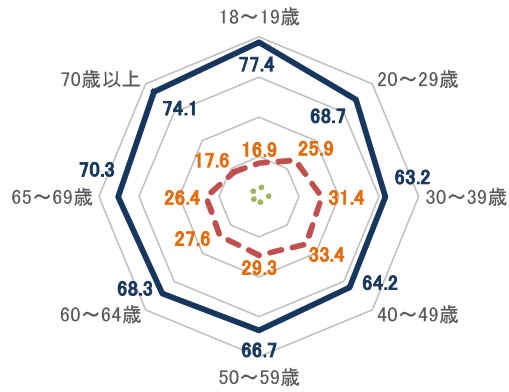
【区分】	【指標名】
○	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	69.2%	69.0%	66.4%	68.4%
否定的評価割合	25.0%	26.4%	27.6%	26.3%
評価保留割合	3.4%	2.3%	3.0%	3.6%

現状値 (H28)	目標 (R3)	64.8%	
平均値 (H29～R2)		68.3%	

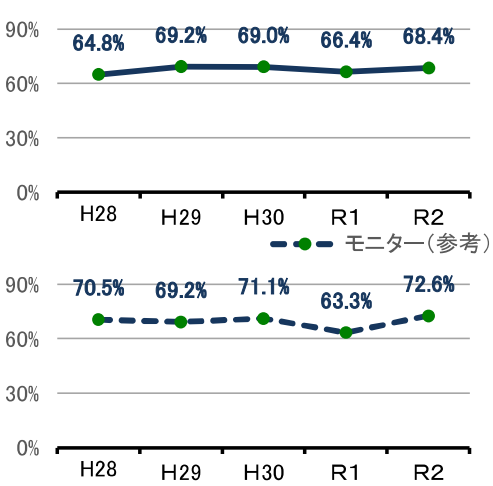
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- - - モニター(参考)



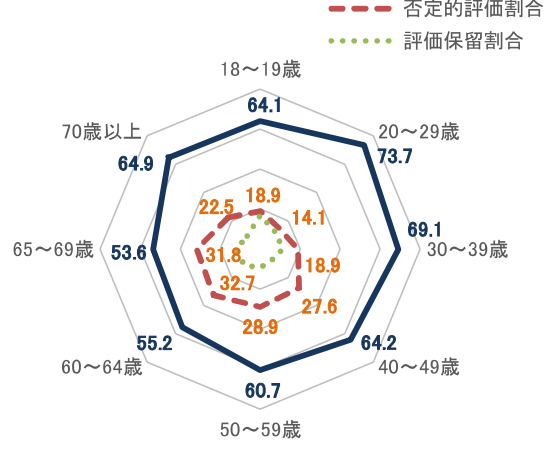
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家族や友人と話すようにしている。 ✓ 積極的に相談している。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家族に相談している。 ✓ 周りに相談したりしない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 友達や家族に相談できる。 ✓ ストレスは人に話すようにしている。 ✓ 同僚や友人に悩みを相談している。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 性格でつい溜め込む。 ✓ はけ口がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家族や友人に相談している。 ✓ 夫や親、兄弟、友人にすぐ相談する。 ✓ 公的機関を利用している。 ✓ 適度に吐き出している。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 忙しすぎて余裕がないしどこに相談していいかも分からない。 ✓ ストレスしかない。 ✓ 抱え込んでしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 何かあれば家族や知人等に相談している。 ✓ 発散するようにしている。 ✓ 主人、両親に相談しやすい。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信頼出来る相手がない。 ✓ 抱え込んでいる。 ✓ 特に取り組まず成り行きに任せている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子供達と話をしたり、LINEをしている。 ✓ 好きなガーデニングをしている。 ✓ 友達に愚痴を聞いてもらっている。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 抱え込んでいる。 ✓ 自分でなんとかしている。 ✓ 他人に相談するつもりが最初からない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 話を聞いてもらえる友達がいる。 ✓ 誰かに話すことで楽になる。 ✓ プラス思考が生活している。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一人で抱え込むことが多い。 ✓ 主治医や看護師に愚痴こぼす。買い物や外食を気のあった人とする。好きな音楽やDVDを見ている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 話す機会をもつようにしている。傾聴している。 ✓ 受けとめを前向きに。深刻に考えすぎない。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他には話さない。 ✓ 抱え込んでしまう性格である。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人づきあいが楽しくストレスは感じない。 ✓ 身体を動かしていればストレスは感じない。 ✓ 夫に話をする。また、自分の身に起きたことすべてを受け入れ必要なことと考えるようにしている。 ✓ リラックスする体操や身内に相談する等している。 ✓ 人と話すことができる。 ✓ 趣味の活動に参加している。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分の中で消化している。 ✓ 相談する人がいない。 ✓ 区長としての立場では一人で抱え込まないようにはできそうもない。 ✓ 性格的にこだわりがあるので、抱えてしまう面がある。 ✓ まずは夫婦間の話し合いをする。

●	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
---	-------------------------

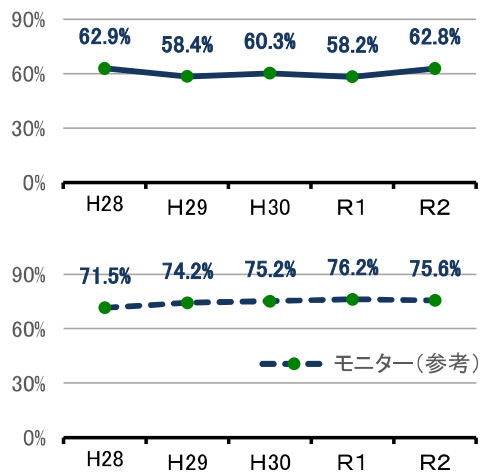
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	58.4%	60.3%	58.2%	62.8%
否定的評価割合	28.6%	26.9%	28.3%	25.4%
評価保留割合	11.0%	9.8%	10.1%	10.0%

現状値 (H28)	目標 (R3)	62.9%	
平均値 (H29～R2)		59.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓近くに病院が多いので良い。 ✓長野市には十分な医療施設がそろっている。	19歳以下	
✓コロナの中熱出てもどもこも対応してくれ、保健所も電話がはやい。 ✓かかりつけ医が近くにある。 ✓子供の医療費の負担が少なくなった。	20～29歳	
✓休日夜間などでも受け入れてくれる。 ✓病院など、しっかり整っている。 ✓子供の医療費が500円で済むのがとても助かる。7日間入院した際は特にそう感じた。	30～39歳	✓こちらに知識がないと教えて貰えないこともある。 ✓もっと検診の通知をすべき。
✓医療費が安い。病院が多い。 ✓いろいろなところに病院がある。 ✓市街地に住んでいるので恵まれている。市街地以外はあまりない。	40～49歳	✓専門開業医がすくない。病院もひとつしかない。 ✓病気の相談をしたく色々なクリニックへ行っても、それはうちではないと断られる。 ✓小児科が少ない。
✓日曜・祝日でも市民病院や日赤に受診できるので安心。 ✓小さな開業医と総合病院の医療提携等の連携がスムーズだと思う。	50～59歳	✓コロナ流行り始めに行政の頼りなさを感じた。 ✓近くには医院はなく総合病院では軽い症状では断られたりする。
✓近くに日赤病院があるので、それなりの医療が受けられている。 ✓近所に病院が十分にある。	60～64歳	✓個人のお医者さんの力量にかかっている。 ✓総合病院受診の場合は個人病院の紹介がないといけないので不便。
✓医療機関が充実している。	65～69歳	✓かかりつけ医と総合病院の連携が不十分。
✓大病院とかかりつけ医の制度が定着している。 ✓重篤でなければ安心。 ✓近隣に総合病院や個人開業医がある程度いる。 ✓長野市の医療体制は大変優れている。 ✓高額医療費の補填がいい。 ✓恵まれていると思うが、松本と比べるとどうなのか。	70歳以上	✓戸隠診療所は夜間休日は医師不在のため救急車が着くまでに15分以上かかる。

【施策コード／施策名】 2-4-3 地域医療体制の充実	【担当部局】 保健福祉部
--------------------------------	-----------------

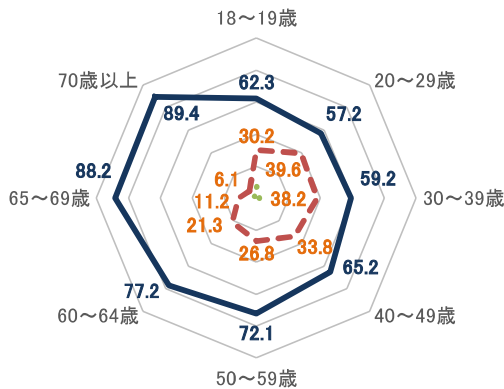
【区分】	【指標名】
○	かかりつけ医がいる

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	73.7%	74.3%	74.7%	74.7%
否定的評価割合	22.5%	22.9%	22.2%	22.7%
評価保留割合	1.8%	0.7%	0.5%	1.4%

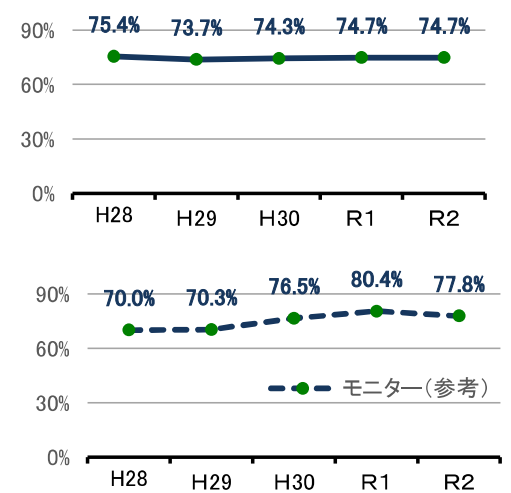
現状値 (H28)	目標 (R3)	75.4%	
平均値 (H29～R2)		74.4%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



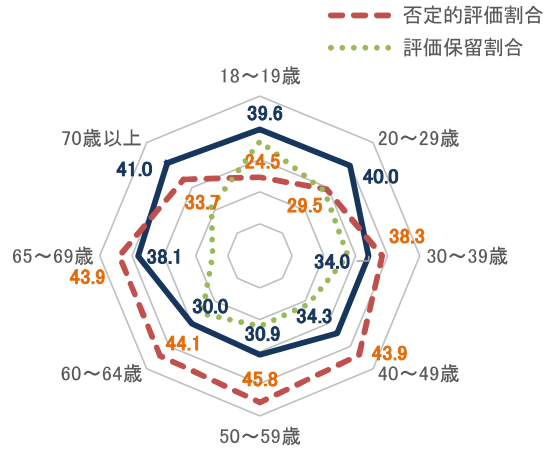
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓喘息を発症したことがある。 ✓持病がある。	19歳以下	
✓近所にいる。 ✓精神疾患があるため。	20~29歳	✓病院にあまりいかない。
✓コロナウイルス感染拡大中、体調を崩した際にかかりつけ医がなくて大変な思いをしたので、これからかかりつけ医をつくらうと思う。 ✓決めておくと頼りになる。 ✓近所にかかりつけ医がある。	30~39歳	✓あまり医者にかかることがないため、体調を崩してからよさそうな医者を調べて選ぶ。 ✓今はどこの医療機関も利用していない。 ✓昨年引っ越したばかりでどこがいいのか分からない。
✓以前より診ていただいている。 ✓個人病院が近所にある。 ✓なるべく同じ医師に診てもらおうようにしている。	40~49歳	✓病気にあまりならない。 ✓病院が嫌い。 ✓なかなか見つからない。
✓長野市に転入して以来、ずっとお世話になっている先生がいる。 ✓内科、耳鼻科、歯科全てかかりつけ医を決めている。	50~59歳	✓持病がない。 ✓見つからない。 ✓病気にならない。
✓体調の悪い時は見てもらえ、相談にのってもらえる先生がいる。 ✓持病(喘息)治療のため。近頃は 糖尿病治療も加わる。 ✓地域医療や中山間地医療の充実・強化されている。	60~64歳	✓診療項目ごとに行く病院が違うのでかかりつけ医はいない。診療項目にかかりつけ科があれば行く。
✓定期的に検診している。持病がある。 ✓定期的に受診している。	65~69歳	✓歯科、耳鼻科を年1回ぐらい。
✓定期的に薬をもらっている。 ✓定期的な検診ができる。 ✓内科は何処の医院、歯科は何処、重い病気は何処と決めて通っている。	70歳以上	✓必要性は感じている。 ✓今のところ大きな病気をしていないこともあり、特にかかりつけ医はいないが、今後検討していきたい。

【区分】	【指標名】
●	互いの個性や立場を尊重し合える地域である

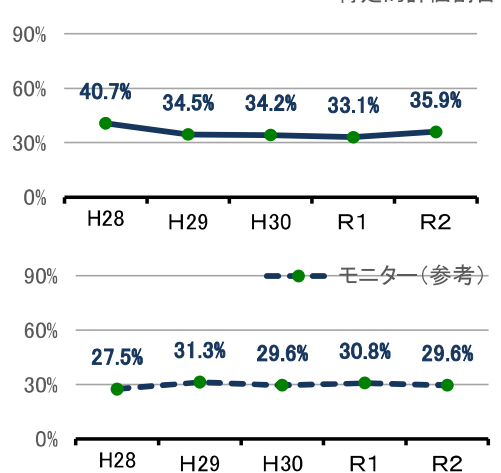
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	34.5%	34.2%	33.1%	35.9%
否定的評価割合	40.2%	40.3%	40.7%	39.5%
評価保留割合	23.3%	22.6%	22.4%	22.6%

現状値 (H28)	目標 (R3)	40.7%	↗
平均値 (H29～R2)		34.4%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓誰もが偏見等なく暮らせていると思われる。	19歳以下	✓LGBTの人はまだ受け入れられていない。 ✓人による。
	20～29歳	✓強制的に地域のイベントに参加させられる。 ✓LGBTへの理解はまだ低い。 ✓あまり関わりがない。 ✓コロナにかかった人だ！など差別は少なからずある。
✓話ができる環境にある。 ✓特に問題が発生しているように見えない。 ✓昔ほど地域が密ではなくなったのでそんなに息苦しさは感じない。	30～39歳	✓昔からの固定観念や先入観などがまだ強いと感じる場面がある。 ✓高齢者以外は蔑ろ。 ✓保守的な考え方の人が多い。
✓最低限は守られている。 ✓色々な個性も活かせるようになってきている。 ✓お互いの立場に気を使える市民性である。	40～49歳	✓個性や尊重し合える環境がない。 ✓住んでいるところが昔ながらの考え方を持っている。
✓なんとなく、折り合って生活している。 ✓まあまあいい距離感で生活できている。 ✓排除している場面に接したことがない。 ✓個性を否定するような閉鎖的な地域ではない。	50～59歳	✓閉鎖的と感じる。 ✓人と違うことを嫌う風土な気がする。 ✓交流の場が少ない。
✓尊重する機運は高まっている。 ✓地域での話し合いなどでそう感じる。 ✓自らいろいろ発信している。	60～64歳	✓出る杭は打たれるを感じる。 ✓昔からの住人で心がしがれているが、反面 プライバシーがない。
✓村八分のようなことがない。	65～69歳	✓自分本位。
✓ご近所付き合いが40年になるが特に支障はない。 ✓地域の中ではお互い理解し合っているように思われる。 ✓自治会活動を通じて感じる。	70歳以上	✓そこまで付き合いがない。 ✓関わりを持つことに関心が薄い。 ✓プライバシーが優先する。 ✓互いの個性を認め合うまでにはまだ至っていない。

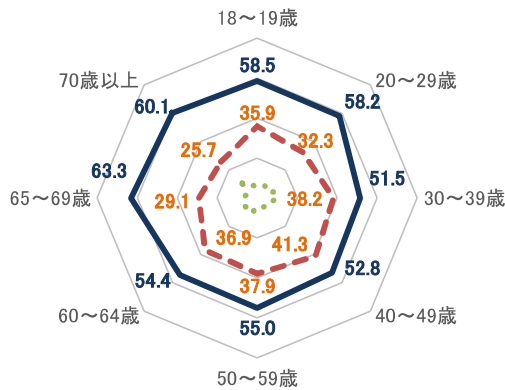
【区分】	○
【指標名】	人権問題について理解を深めようとしている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	55.9%	54.1%	52.3%	56.5%
否定的評価割合	32.8%	36.9%	35.8%	33.8%
評価保留割合	8.8%	6.6%	8.7%	8.0%

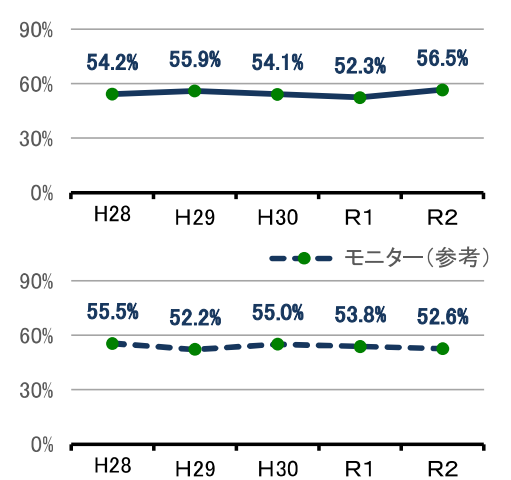
現状値 (H28)	目標 (R3)	52.4%	↗
平均値 (H29～R2)			54.7%

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人権には人一倍うさいと自負している。 ✓ 大学の授業で学んだことがきっかけである。 ✓ 黒人問題は調べた。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機会がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機会があれば積極的に情報収集をしている。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 関心がない。 ✓ その余裕が今ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人種、トランジェンダー等、理解したいと常に思っている。 ✓ 大切なことだと考える。 ✓ 自分が相手の立場だったらと考えるようにしている。 ✓ 学校教育で叩き込まれた(広島)。 ✓ 子どもと一緒に話し合ったりする。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ちょっと難しいので。同和的なことなら、時代錯誤というか、そろそろ終わりで良くないかと感じている。 ✓ 余裕がない。 ✓ 特に興味がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域で開かれる勉強会に参加している。 ✓ 多様性を認めています。 ✓ わりと勉強している。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校で既に学んだので、これ以上特に学ぶ場ありません。 ✓ 周りで人権問題がないように思う。 ✓ 知らない方が偏見しないと思う。 ✓ 意識したことがない。 ✓ 機会がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の勉強会に参加している。 ✓ 新聞やニュース本を読んでいる。 ✓ 障害者の親なので学習し伝えている。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人権問題に接することがなく、今後勉強していきたい。 ✓ あまり考えたことがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域で開かれる研修会等に参加している。 ✓ 新聞やニュース本を読んでいる。 ✓ 障害者の親なので学習し伝えている。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人権問題も難しいので自己判断が優先になり理解を深めようとはしていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 研修会に参加している。 ✓ 常に関心を持って努めている。狭い地域における人権課題は対応が難しい。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 無理に踏み込まず自然に理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 差別意識の多い地域であるから努めて学んだり、行動をしている。 ✓ 高校時代から取り組んでいたが、今も常に意識しているセミナーなどには積極的に参加し、学んだことは文書化し地域の皆さんと情報共有し話題にしている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特には何もしていない。 ✓ 積極的に理解を深めることはしていない。

【施策コード／施策名】 2-5-2 男女共同参画社会の実現	【担当部局】 地域・市民生活部
----------------------------------	--------------------

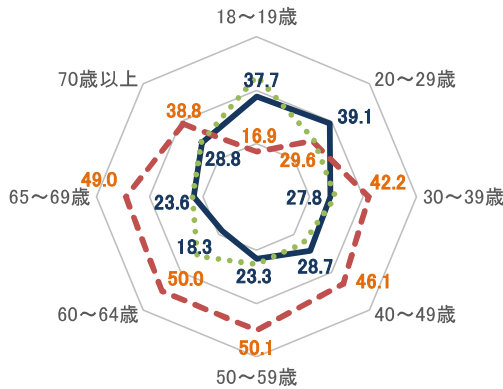
【区分】	【指標名】
●	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	25.5%	24.1%	23.1%	27.0%
否定的評価割合	44.5%	45.1%	45.6%	43.3%
評価保留割合	28.1%	27.9%	27.4%	27.7%

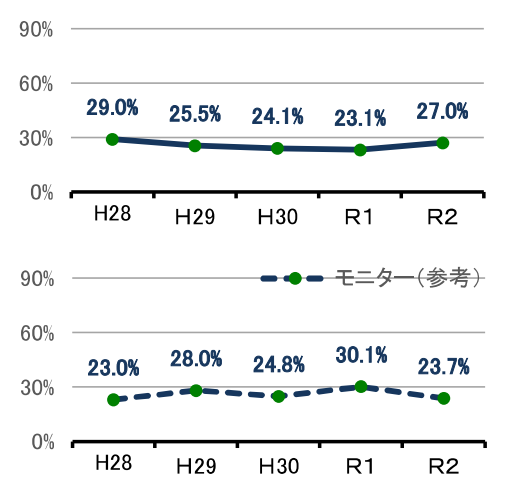
現状値 (H28)	目標 (R3)	29.0%	
平均値 (H29~R2)		24.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



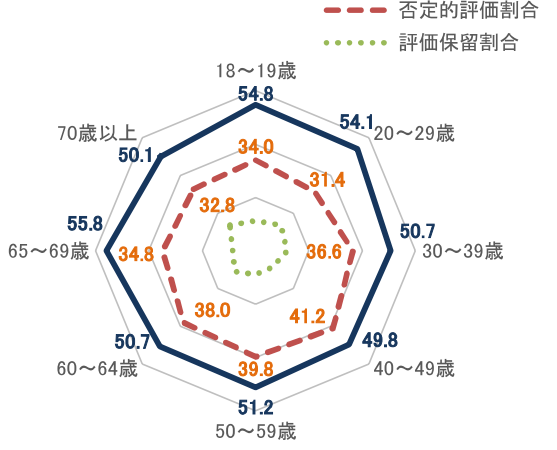
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓女性の就業者が少ない。 ✓男女平等で社会に出ていける世の中と思われる。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓性差別がまだある。 ✓女性は男性より下の立場におかれていることが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓男女平等だと思う。 ✓子持ちは就職厳しい。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓性差で雇用に至らない場所もある。 ✓みんなと一緒に評価される地域である。
<ul style="list-style-type: none"> ✓会社や、属する場面によりますが、自分次第で生かしている。 ✓だんだん開かれてきているが、まだ性別差があり職種に限られる。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓女は子供を産んだら子育てだけという周りの目しかない。 ✓保守的な考え方の人が多い。 ✓公職等において女性の活躍が少ないように思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の役員では、そう思う。 ✓性別はあまり差別を感じない。 ✓以前に比べ性別による差をつけることがなくなってきた。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓卒業した高校によつての差別がいまだに続いている。 ✓主婦向けの求人が少ない。子持ちというだけで職業の幅が狭い。 ✓就職先について困っている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓なんでも自分でやらないと思っている人が少ない。 ✓以前と比較して、出産後の女性が復帰し活躍できるようになってきた。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓男性優位の地域である。 ✓やはり地方は無理であると思う。 ✓なかなか受け入れてくれそうな社会になっていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓女性役員が年々増えている。それなりに対応している。 ✓以前より女性が活躍できる環境ができています。 ✓自らいろいろ発信している。 ✓まだ男社会である。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓高齢になるにつれ就職窓口がない。 ✓出る杭は打たれるを感じる。 ✓女性が出すぎたら必ずたたかれると思う。 ✓まだまだ古い考えの人がいる。
<ul style="list-style-type: none"> ✓自治会活動を通じて感じる。 ✓森と木の活動行っている方を通して徐々にではある。 ✓性別や能力(差別は無いと思う)に関係なく、誰もが参加できる地域であるが、なぜか参加者は少ない。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓組織や団体においては男社会が現実。
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓依然として男社会だと思う。 ✓場が少ないことと出る杭は打たれることが意外と多い。 ✓高齢化の時代になりそれぞれのキャリアを地域に生かせると思うが、あまり感じられない。

【区分】	○
【指標名】	男女共同参画について理解を深めようとしている

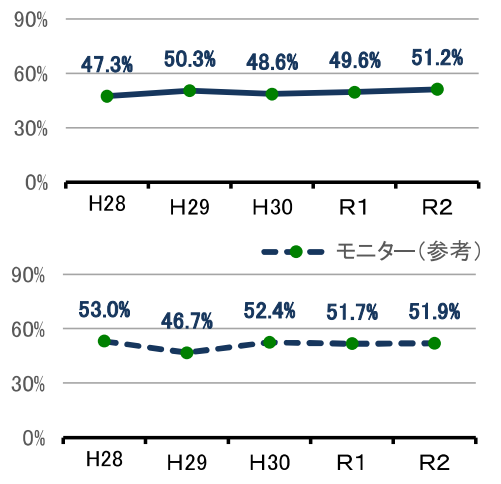
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	50.3%	48.6%	49.6%	51.2%
否定的評価割合	36.0%	38.8%	35.6%	36.3%
評価保留割合	11.4%	10.0%	11.5%	10.9%

現状値 (H28)	目標 (R3)	47.3%	
平均値 (H29～R2)		49.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓男女平等に気を付けている。 ✓グローバル世界で重要なことだと思う。	19歳以下	✓機会がない。男女間の差は少ない。
✓学校教育で叩き込まれた(広島)。 ✓情報を得るようにしている。 ✓心掛けてはいる。	20～29歳	✓関心がない。 ✓余裕がない。
✓長野市のセミナー参加した。 ✓そういったニュースやTVは見て理解を深めるように努めている。	30～39歳	✓何も行動していない。 ✓特に興味がない。
✓能力のある人はやれば良いと思う。 ✓男女関係なく社会に参加するものと思っている。 ✓男女の体、体力的違い等も含めて、考えられればと思う。	40～49歳	✓最近関わっていない。 ✓その機会がない。 ✓意識したことがない。 ✓興味がない。
✓わりと勉強している方である。 ✓多様性を認めている。 ✓活動に参加している。	50～59歳	✓参加の場がない。 ✓興味が無い。 ✓仕事において男女平等が必ずしも成り立たないと感じている。
✓女性職員が増えているので考えている。 ✓女性が参加しやすい社会環境の整備をしている。	60～64歳	✓特に理解を深めようとはしていない。 ✓自ら率先して実行している。 ✓社会に参画できていないので難しい。
✓研修会に参加している。 ✓地区の役員をしている。 ✓理念は理解しているが、現実的な対応はまだまだ不十分である。	65～69歳	✓自分のできることを自分なりに実行している。 ✓具体的な行動はしていない。
✓当然のこととして理解を進め、深める努力は継続して取り組んでいる。 ✓若いころから共働きをしていたので、もともと感じがあった。	70歳以上	✓接点がない。 ✓一般論としては理解しているつもりだが、まだ不足。 ✓以前は研究会などに参加していたが、現在はマスコミ等を通じて理解しようとしている。

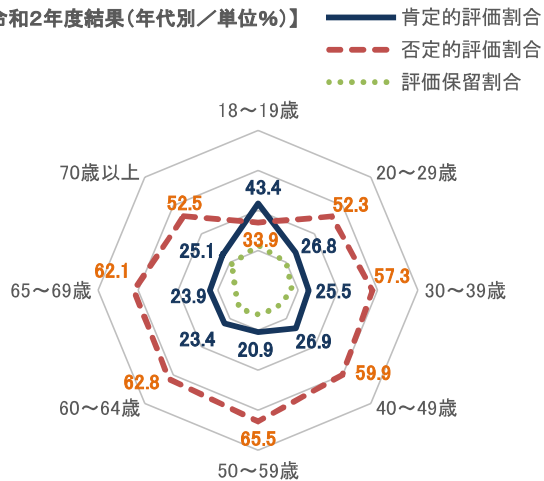
【施策コード／施策名】 3-1-1 低炭素社会の実現	【担当部局】 環境部
-------------------------------	---------------

【区分】	【指標名】
●	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている

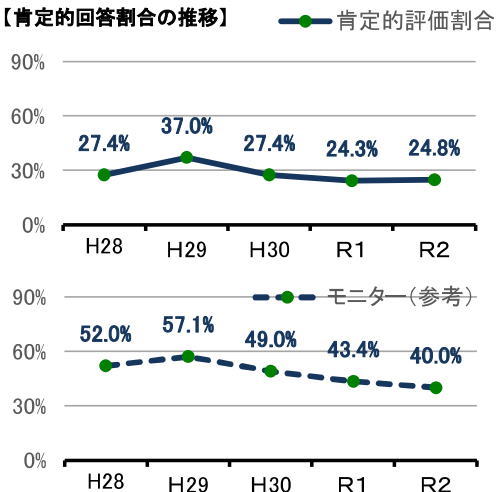
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	37.0%	27.4%	24.3%	24.8%
否定的評価割合	54.6%	54.9%	56.4%	58.0%
評価保留割合	5.9%	14.9%	15.3%	15.1%

現状値 (H28)	目標 (R3)	27.4%	
平均値 (H29～R2)		28.4%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

<ul style="list-style-type: none"> ✓ソーラーパネルをつけている家が多い。 ✓太陽光発電設備が増えてきているように感じる。 	19歳以下
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域内にあるソーラーパネルの設置箇所が増えた気がする。 	20～29歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓バス専用レーンを設けるなど公共交通機関の推進をしている。 ✓こまめに電気を消す、お風呂は追い炊きなどしなくていいように皆で一緒に入る、または続けて入るなどの節電に努めている。 	30～39歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓太陽光で電気を作っている。 ✓自身は意識している。 ✓自転車の利用。 	40～49歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓個人的には気を付けているが、太陽光発電には一長一短があり取り組めない。 ✓太陽光発電や雨水タンク、コンポストなどよく見かけるようになった。 ✓ソーラパネルの屋根が増えた。 	50～59歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓自動車利用をひかえている。 ✓職場では公共交通、自転車での通勤としている。 	60～64歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓太陽光発電利用、車の暖気運転をあまりしない人が、多くなった気がする。 ✓戸建てが多いので太陽光発電を見かける。 	65～69歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓太陽光やエコ製品を使用している。 ✓公共の場で行われている。 	70歳以上

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

<ul style="list-style-type: none"> ✓自動車は多い。 	19歳以下
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスを利用している人が多いようには思わない。 ✓身の回りにない。 	20～29歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓特別なイベントのときにしか行われぬ。 ✓車は大事であるため。 ✓設置について補助金がほしい。 ✓公共交通機関が少ない。 	30～39歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓特に他地域と比べて優れているとは思えない。 ✓自動車が無いと、生活が成り立たない。 ✓設備投資にお金がかかる。 ✓皆自分のことしか考えてない。 	40～49歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓密を避けるために自動車が増えた。 ✓そのような取り組みが進んでいるとは思えない。 ✓自動車を利用しないで、移動出来る場所が、長野市は限られる。 ✓自動車の利用はまったく控えられていない。 	50～59歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通機関が不便の為、自動車利用が必須となっている。 ✓自動車利用を控えるのはできない。 ✓経済的支援もなく、交通機関も未発達。 	60～64歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓太陽光はあまり見ない、車は多い。 ✓意識はあるが実践がとまっていない。 	65～69歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓一部では太陽光発電等に取り組んでいるが、近いところにも車で出かけたり、省エネ意識が低くなっている。 	70歳以上

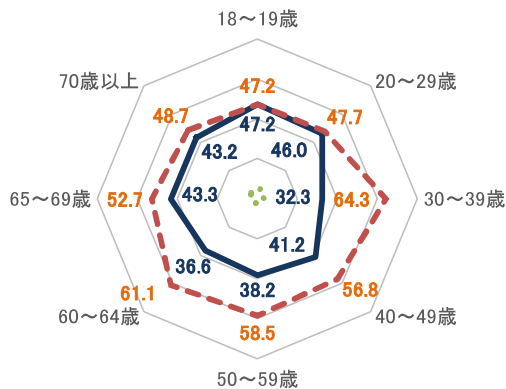
【区分】 ○	【指標名】 太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている
------------------	--

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	44.0%	40.9%	38.0%	40.4%
否定的評価割合	50.6%	53.4%	55.9%	54.9%
評価保留割合	3.2%	3.2%	2.9%	3.3%

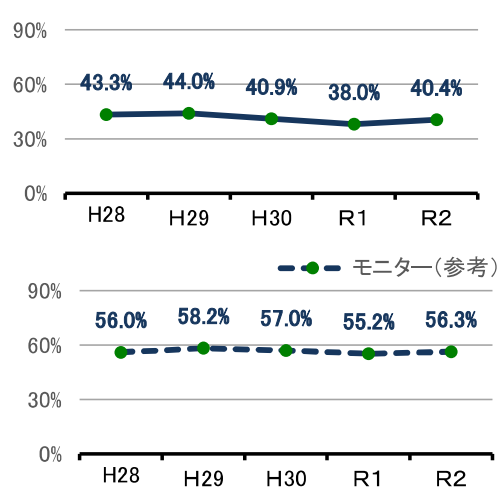
現状値 (H28)	目標 (R3)	43.3%	
平均値 (H29～R2)		40.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 節電によく気を付けている。 ✓ バスを利用している。 ✓ こまめに気を付けている。 ✓ 通勤は自転車にしている。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 意識していない。するにしても初期費用が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 通勤は自転車にしている。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 気にして生活していない。 ✓ 外出の際に自動車を使うことが多い。 ✓ 工夫できる部分がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 太陽光発電設置、徒歩通勤している。 ✓ 公共交通機関で通勤をするようにしたい。 ✓ 太陽光発電している。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生活に車は必須と感じる。 ✓ 車を使わないと生活できない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自動車通勤の必要がなくなり自転車に変えた。 ✓ 未来の人達に良い環境を残さないといけない。 ✓ 会社がマイカー通勤原則禁止である。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 設備投資にお金がかかる。 ✓ 毎日自動車利用している。 ✓ 車社会の長野市では自動車利用を控えるのは無理だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 節電に取り組んでいる。 ✓ 自転車通勤している。 ✓ 通勤や近所への移動は自転車を利用している。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子供の送り迎えで車を使わない日が無い。 ✓ 通勤に毎日自動車が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車と徒歩が近頃の移動手段。 ✓ 無駄遣いを控えている。 ✓ エアコンなどの利用を適宜考えている。 ✓ ハイブリット自動車に乗っている。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 節電はするが自動車利用は控えていない。 ✓ 自動車で毎日の生活を成立させている。遠出はあまりない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 節電を意識してやっている。 ✓ 太陽光発電を取り入れ、自家用車ではなく公共交通機関を利用して通勤している。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車を多く使う。 ✓ 実践が伴っていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 太陽光は無いが節電には気を付けている。 ✓ 太陽光発電を導入している。 ✓ 太陽光を利用し、市内にはできるだけバス利用、買い物もできるだけ徒歩で実践している。 ✓ 照明のLED化を進めた。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特に意識することも無く生活している。 ✓ 近くに自動車で出かけてしまう。

【施策コード／施策名】 3-1-2 循環型社会の実現	【担当部局】 環境部
-------------------------------	---------------

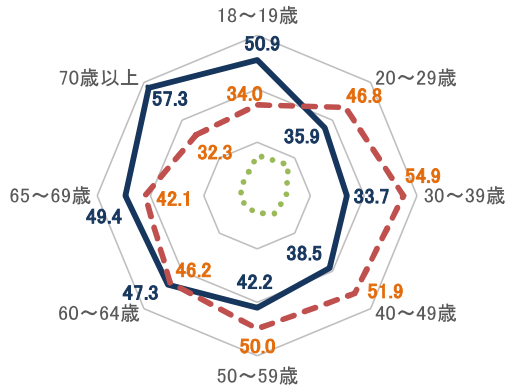
【区分】	【指標名】
●	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	58.6%	47.3%	44.4%	45.4%
否定的評価割合	37.0%	41.0%	43.7%	44.5%
評価保留割合	3.2%	9.2%	8.6%	8.4%

現状値 (H28)	目標 (R3)	50.0%	
平均値 (H29~R2)		48.9%	

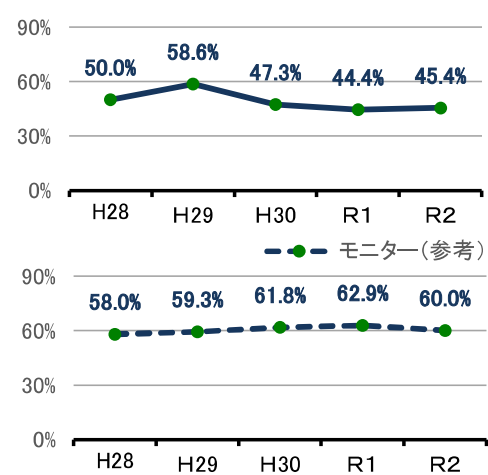
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合



【モニターの主な肯定的意見】

<ul style="list-style-type: none"> ✓生ゴミ処理機など活用されている畑に処理ポットがある。 ✓地区でゴミ拾いが行われている。 	19歳以下
<ul style="list-style-type: none"> ✓スーパーで紙パックなど回収してくれる。 ✓分別やゴミ削減の取り組みが行われている。 ✓分別が厳しい。 	20~29歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓マイバック・袋の有料化など取り組みがある。 ✓分別はしっかりしているしリサイクルの意識も高い。 	30~39歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓なるべくゴミをリサイクルできるようにしている。 ✓生ごみを中心に減量努力をしている。 ✓生ごみは畑の肥やしにしている。油は使いきる。 	40~49歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓資源回収時の紙の量が多い。 ✓できるだけ簡易包装にしてもらったり袋をもらわないようにしている。 ✓スーパーではマイバックを持参して購入する方が多くレジ袋をもらうことが恥ずかしい。 	50~59歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓リサイクル出来る物はスーパー等で集荷されている。 ✓ゴミの分別がよくできている。 ✓ごみの分別がしっかり行われ、量も多くない。 	60~64歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓資源回収が積極的に行われている。 ✓無駄に大量に買うことをしない、必要な物を必要なだけにしていないものを無駄にしない。 	65~69歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓自治会活動を通じて行っている。 ✓地域広報など活発である。 ✓分別収集など徹底している。 ✓各地区でそれなりに取り組んでいる。 ✓スーパーなどでも資源ごみの回収が行われている。 	70歳以上

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓ゴミは多い。	19歳以下
✓あまり意識したことがない。	20~29歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓前よりゴミの量が増えた。 ✓ゴミを減らすには、手間をかける必要があって、その手間をかけられるほどの余裕を持っていない。 	30~39歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓テイクアウトが増えて、ごみの量が増加。企業の努力が足りない。 ✓サンデーリサイクルなどの場所がわかりにくい。 	40~49歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ禍で、断捨離などで、ゴミが増えている。 ✓もっと企業が減らす努力をアピールして貰えば市民もがんばるのではないかと思う。 ✓新しいアパートが出来てからゴミステーションのマナーが悪くなり改善されない。 	50~59歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミ袋の購入が自由なので、ますますゴミの量が増えている。 ✓現場の人の苦勞を体験しないで言えないと思う。 	60~64歳
✓個人としてできることは限界がある。	65~69歳
<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミを出す量が増加している感じがするとともに、減らすようにという呼びかけもない。 ✓モラルが低い。 	70歳以上

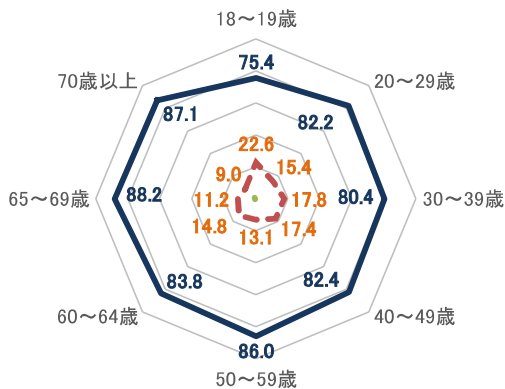
【区分】 ○	【指標名】 食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
-----------	---

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	81.0%	82.9%	81.7%	84.4%
否定的評価割合	16.6%	14.5%	15.1%	13.6%
評価保留割合	0.7%	0.7%	0.4%	0.8%

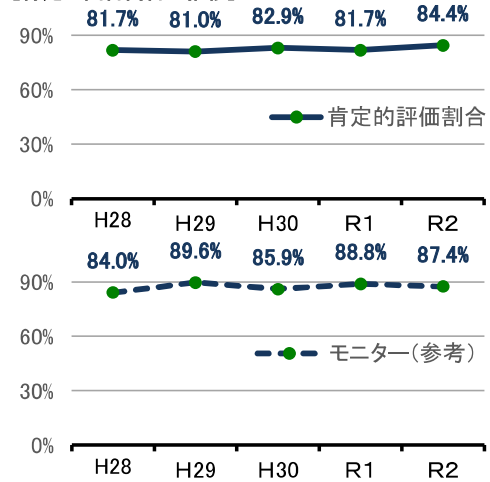
現状値 (H28)	目標 (R3)	81.7%	➡
平均値 (H29～R2)		82.5%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



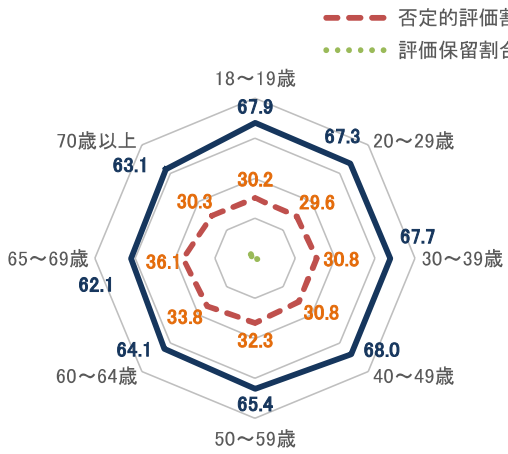
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 食べ物を無駄にしないようにしている。 ✓ ごみはなるべく抑えるようにしている。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 意識していない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 食べ物は残さないよう食べきる。 ✓ ごみを少なくしたい。 ✓ 食べきる努力はしている。 	20～29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 食べられる分しか頼まないようにしている。 ✓ なるべく減らすように努めて買い物をしている。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 以前よりゴミが増えた。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 食べられる量だけつくる。 ✓ 食べ残しがないように心がけている。 ✓ 不必要な物は買わないように気を付けている。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ごみゼロは無理。 ✓ 食物は無駄にしません、その他の家の不用物を出すのであまり当てはまらない。 ✓ 食べ残しを処分することがある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 食材は使い切るし、小さな紙片も資源回収に出している。 ✓ 賞味期限を確認している。 ✓ 気を付けて生活している。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あまり心がけていない。 ✓ 余り意識していない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 品物を多く購入しないようにしている。 ✓ 食材の使い切り。特売や値切り品を必要以外買わない。(買い物メモと在庫の確認) 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 母に比べたら罰当たりかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 食べ残しがない様気をつけている。 ✓ 余分に購入しない作らない必要な分だけを心掛けている。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 結構残す。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 戦後の物不足の時代に育ったこともあり食べ物だけでなくものを無駄にしない生活は身につけている。 ✓ 生ごみ処理を継続して行っている。 ✓ 食べ物衣類なども最後まで使い切るように心がけている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ なかなか日常では厳しい。

【区分】	○
【指標名】	使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる

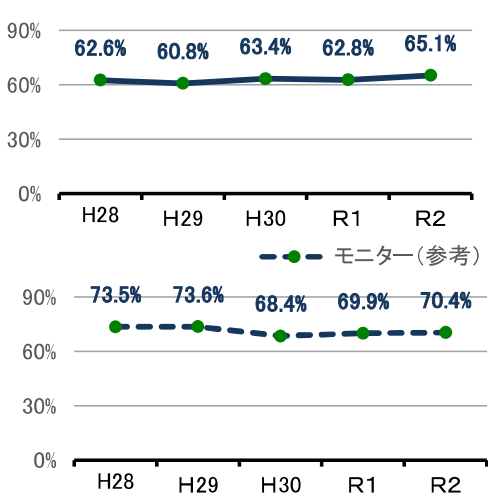
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	60.8%	63.4%	62.8%	65.1%
否定的評価割合	34.4%	33.0%	32.6%	31.7%
評価保留割合	2.8%	1.5%	1.5%	1.9%

現状値 (H28)	目標 (R3)	62.6%	
平均値 (H29~R2)		63.0%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



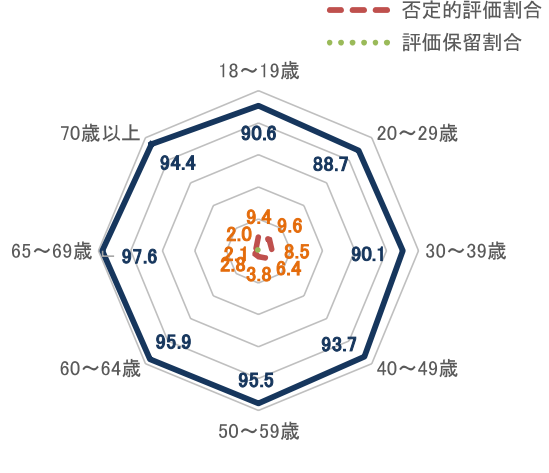
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓一つの物を長く使うことを心掛けている。 ✓フリーマーケットを利用する。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓そこまで意識できていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓フリマアプリを使用している。 ✓使わない物は人に譲ったりしている。 ✓子供のものは使い回している。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓使わないものは捨てている。 ✓使わないものはお金にしている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓子供服はお互いあげたりもらったりしてリサイクルをし、壊れても直して使えるものはすぐに捨てない。 ✓フリマやフリマアプリ利用している。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓時間の都合もあってできない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓子供の洋服などを譲ったりしている。 ✓お金ないので余程のことないと新品買わない。 ✓物を大事に長く使うことを心がけている。 ✓リサイクルショップを活用している。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓時間がかかる。 ✓面倒くさくて、捨ててしまった方が楽。 ✓修理は高上りになることが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓リサイクルショップをかなり活用している。 ✓学校関係のものなど知り合いに差し上げている。 ✓リユースしている。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓買った方が安い。 ✓取り組んでいない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓すぐ捨てず、嫁に修理等をお願いしている。 ✓物を大切にすることを子供のころから教育されてきた。 ✓再利用している。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓買った物は人にははできるだけあげないで使いたいと思っている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓衣類は譲渡する。 ✓余分なものは買わない。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓再利用等すべきという意識はあるが、新しく買い替えるほうが早いケースが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓特に衣類については、紳士物・夫人物・子供洋品を問わず不用となったものは友人に譲って喜ばれている。 ✓譲り合ったり、服は今までのものをリメイクするのを面白がってやっている。壊れたものは修理をしている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓再利用するようなものは少ないし、使わなくなったものを譲るということもあまりない。 ✓大切に使うようにしてはいるが、自分で修理し再利用という事はあまりない。

【区分】	【指標名】
○	ごみの分別を徹底している

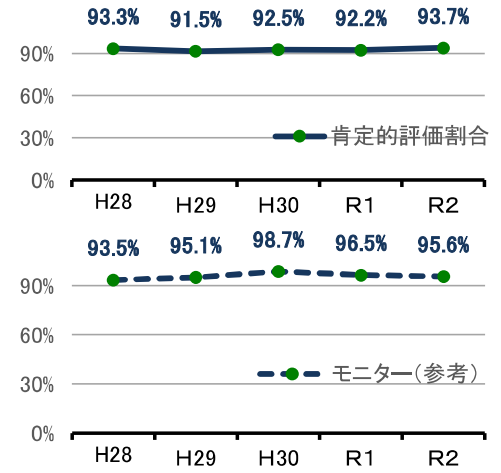
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	91.5%	92.5%	92.2%	93.7%
否定的評価割合	6.2%	5.0%	4.9%	4.5%
評価保留割合	0.7%	0.5%	0.3%	0.5%

現状値 (H28)	目標 (R3)	93.3%	➡
平均値 (H29～R2)		92.5%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



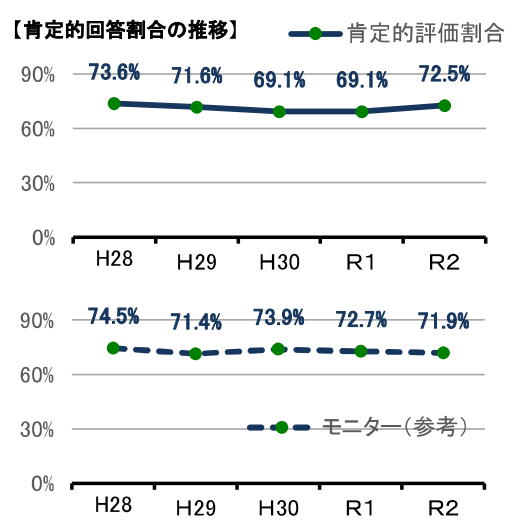
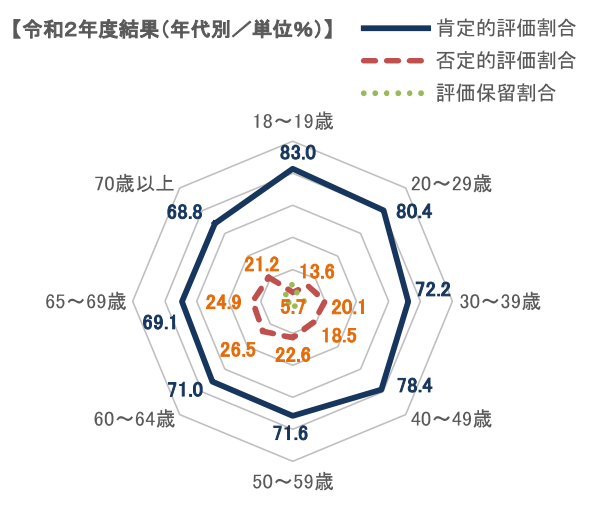
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
----------------	--------	----------------

<ul style="list-style-type: none"> ✓ 分別には気を付けている。 ✓ ゴミ箱を分けて分別に気を付けている。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 穴が開くほどごみカレンダーみている。 ✓ プラスチックは分別を意識している。 	20～29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 基本的に分別している。 ✓ ごみの分別は家庭や職場でも徹底している。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小さな不燃ごみ等、不燃の日まで待てずに燃えるゴミに混ぜてしまうことがある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 分別しているが、もう少し瓶の回収をしやすくなってほしい。 ✓ 指示のある分別は守っている。 ✓ 家庭、会社ともに分別している。 	40～49歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ごみの分別は家族全員で徹底している。 ✓ 食品パッケージやDMなど開封したらすぐ紙orプラなど分別。資源物意識している。 	50～59歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 常に分別しているが、小型家電の定期的な回収もできるようなしてほしい。 ✓ 習慣で定着している。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 徹底はしていない。もっとやるべきと思っはいる。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 意識して努めている。 ✓ 当たり前のことだと思っている。 ✓ 普通の行為。 	65～69歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ しっかり分別している。いつもゴミ出ししている集積所に違反ゴミが残されており、腹が立つ。 ✓ 地域のPRが行き届いている。 ✓ カレンダーを見たり分からないものは、市役所に問い合わせしている。 	70歳以上	

【区分】	【指標名】
●	豊かな自然環境が保たれている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	71.6%	69.1%	69.1%	72.5%
否定的評価割合	24.4%	23.3%	23.3%	20.9%
評価保留割合	2.3%	4.8%	4.1%	4.8%

現状値 (H28)	目標 (R3)	73.6%	➡
平均値 (H29～R2)		70.6%	




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓山や川などの美しい自然が豊富。 ✓住みやすい。 ✓景観が保たれている。	19歳以下	✓自然も減っている。
✓緑が多い。 ✓緑が多いだけでなく整備もされている。 ✓緑が豊富。	20～29歳	✓空き地などが住宅地が変わっている。
✓長野市内でも少しいけば自然に触れられる場所がたくさんある。 ✓家のまわりには生き物が多く、毎日の生活の中でもいろんな発見がある。	30～39歳	✓山に行かなければ自然がない。 ✓人の手が加えられてこそ守られる里山の保全が十分にされていない。 ✓廃棄物が多い。
✓自然豊かである。 ✓市街の開発は進んでいるが郊外は自然が残っている。 ✓環境は良い。	40～49歳	✓ポイ捨てゴミが絶えない。 ✓雑草地や、荒れた山などが目立つ。雑然としている。 ✓豊かな森が松くい虫によって枯れている。
✓四季折々の美しさは満足。 ✓破壊に関連する大きなニュースもなく、どちらかといえば環境を守る取り組みが話題になっている。	50～59歳	✓杉等の手入れはできていない。野放し状態。 ✓開発が進んでいる。 ✓田畑が減った。
✓自然が多い。 ✓周りの山々に癒される。 ✓近所は田園風景が広がっている。	60～64歳	✓イノシシなど山の獣が里に出てくるのは自然環境が損なわれている一面だと感じる。
✓災害が怖いけれど、山間地なので自然そのもの。 ✓山川の自然が豊富。 ✓自然だらけ。	65～69歳	✓自然は多いが放置状態である。 ✓ゴミのポイ捨てを厳しく取り締まってほしい。
✓十分すぎる。 ✓森林保全など若干不十分(松くい虫対策)。 ✓近くに自然が多いのが良い。	70歳以上	✓森林の中に住宅が多く建ち水の汚れなども少しずつ悪化している。 ✓市周辺の里山では荒れているところが多い。昨年の台風の影響も大きくこれからの対応が大変と感じている。

【施策コード／施策名】 3-2-1 豊かな自然環境の保全	【担当部局】 環境部
---------------------------------	---------------

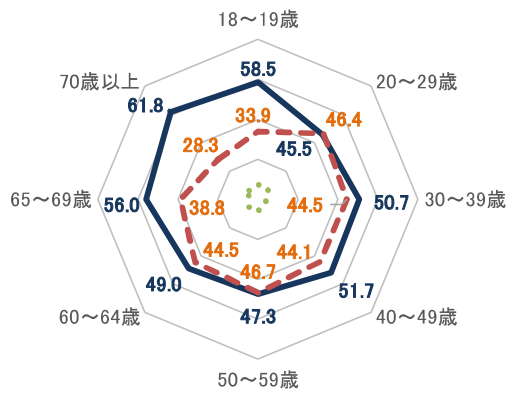
【区分】	【指標名】
○	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	46.9%	49.5%	49.6%	53.3%
否定的評価割合	45.2%	43.8%	42.4%	39.8%
評価保留割合	5.7%	4.2%	4.7%	5.5%

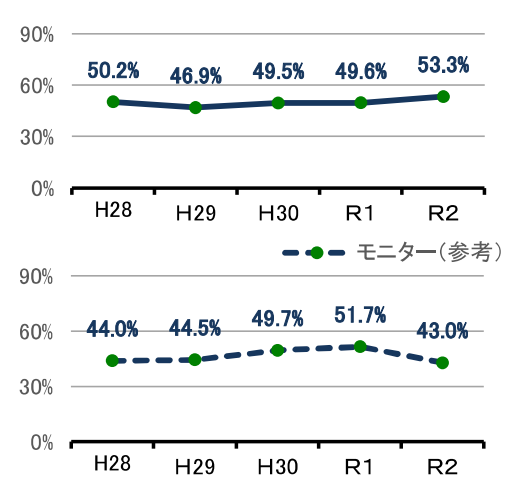
現状値 (H28)	目標 (R3)	50.2%	
平均値 (H29~R2)		49.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓自然が好きのため。	19歳以下	✓最近あまりしていない。 ✓特に考えてはいない。
	20~29歳	✓子からの余裕がない。
✓暮らしのなかで興味をもったものは子どもと調べ、日常生活で自然学習が取り入れられていると思う。 ✓自然を楽しんでいる。	30~39歳	✓日々の生活に追われている。 ✓余裕がない。 ✓普段の生活で意識していない。 ✓アウトドアは好きだが、環境保全等考えてはいない。
✓環境負荷の少ないものを購入している。	40~49歳	✓自然と触れ合う生活を実感しない。 ✓自然と触れあう機会がない。 ✓普段は大人一人に対して子供4人なので、難しい。
✓田んぼを手伝っている。 ✓ホテルや森アオガエルなど大切にしている。	50~59歳	✓特に意識していない。
✓ホテルの観賞、高原の植栽などに参加協力している。 ✓自然に触れ、庭の手入れも行っている。 ✓自然は敬うべきもの。	60~64歳	✓花の水やりがらい。
✓地域活動として取り組んでいる。 ✓善光寺地震について学んでいる。 ✓市報の募集に参加している。	65~69歳	
✓カメラ片手に近くの野山にでかけ信州の自然の素晴らしさを満喫している。 ✓我が家は道路に面しているの、道行く人にも楽しんでもらえるよう、花や緑を育てている。 ✓信州の自然を後世に残そうとするグループに参加している。	70歳以上	✓感じる事が無い。 ✓日頃は学びの機会が少ない。 ✓体力減少。 ✓外出の機会にあまり恵まれていない。

【施策コード／施策名】 3-2-2 良好な生活環境の保全	【担当部局】 環境部
---------------------------------	---------------

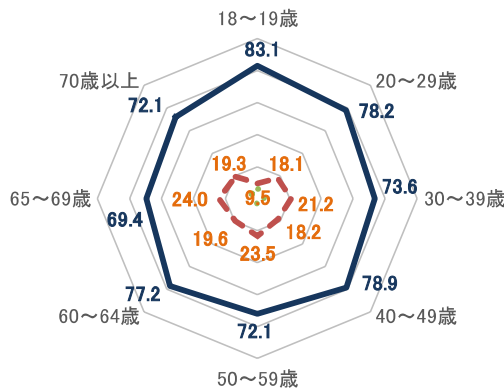
【区分】	【指標名】
●	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	71.6%	71.0%	71.0%	74.1%
否定的評価割合	24.4%	23.3%	22.3%	20.3%
評価保留割合	1.7%	3.2%	3.3%	3.6%

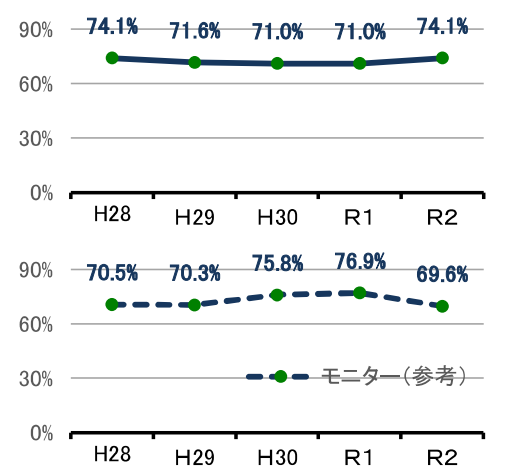
現状値 (H28)	目標 (R3)	74.1%	➡
平均値 (H29～R2)		71.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



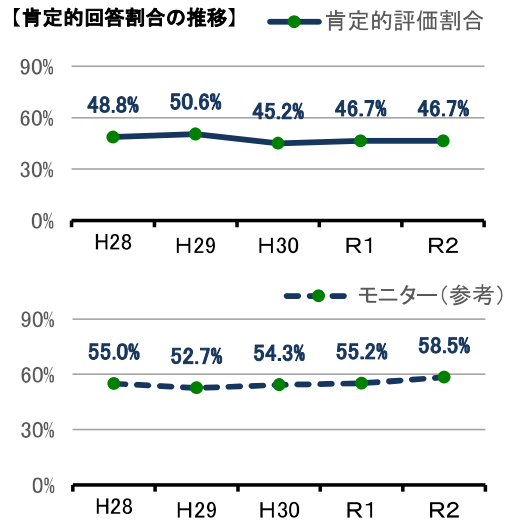
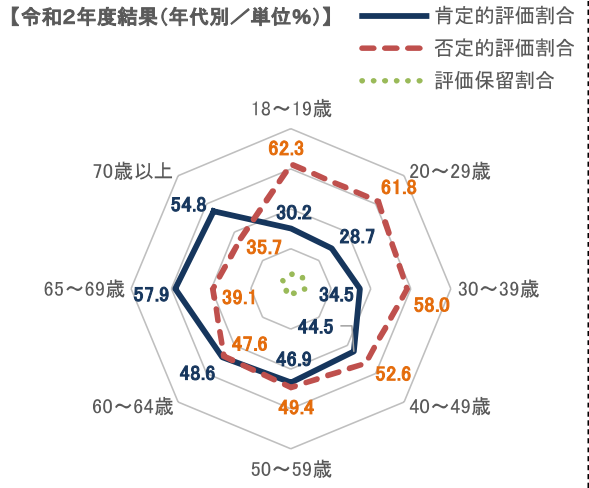
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 掃除なのが地域で行われている。 ✓ ごみのポイ捨ても少ない。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 水道水も美味しい。 ✓ ポイ捨ても見ないし、自然が多い。 ✓ 水道水がおいしいと思う。 	20～29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他県に行って帰ってきたときはそう感じる。 ✓ きれいに整備されている地域があると思う。 ✓ 公園がおい。 ✓ 景観がきれい。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 台風のゴミが至る所に置いてある。 ✓ 歩きタバコ、タバコポイ捨て、犬の糞小便多すぎて汚い。 ✓ 災害の影響がある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 水のちがいが住む場所でわかった。 ✓ 近所の川にはホタルが生息している。 ✓ 県外へ行くと長野の自然は豊かだと再認識できる。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車の依存度が高すぎる。 ✓ ごみのポイ捨てや、植樹帯の雑草が気になる。 ✓ 水道水は美味しくなく、街もみどりが少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市の方できちんと整備をされているので、空気や水街の中も美しく保たれている。 ✓ 他県へ旅行すると、改めて長野の水や空気がおいしいと感じられる。 ✓ 近所の用水でカルガモ親子をみかける。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゴミステーションのマナー違反が多くなり、困っている。 ✓ 町のポイ捨ては増えている。 ✓ 裾花川が匂う時がある。 ✓ 空気、水は良いのですが、町が美しいかと言われると良いとは言えない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 都会に比べれば美しく保たれているように感じる。 ✓ 各事業所で環境を整える取り組みがみられる。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 街路樹が整備されていない。いたずら書きもまだ見受けられ、必ずしも美しいとは言えない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 水がうまい、排気ガスもない。 ✓ 各区で側溝清掃など定期的に行われている。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 飲食街の一部はいまいち、郊外のポイ捨てが多い。 ✓ やや交通量が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 町内会一斉清掃は続けられている。 ✓ 都会から移住して20年以上たつが空気と水の美味しさはまだ保たれていると思う。街の景観については善光寺を中心にした街づくりとなっているが、新旧が上手く調和した活気のある魅力的な街歩きができる街づくりに期待している。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゴミが多い。 ✓ 人工物を少なく緑を多くしてほしい。 ✓ 河川や道路に捨てられたゴミ、ダムのごみが目立つ、荒廃農地も増加している。 ✓ まちまでは疑問である。 ✓ 空気はきれいだが中小河川の汚れはひどい。

【施策コード／施策名】 3-2-2 良好な生活環境の保全	【担当部局】 環境部
---------------------------------	---------------

【区分】 ○	【指標名】 地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
-----------	---

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	50.6%	45.2%	46.7%	46.7%
否定的評価割合	42.2%	49.5%	46.9%	47.1%
評価保留割合	4.9%	3.1%	3.1%	4.5%

現状値 (H28)	目標 (R3)	48.8%	
平均値 (H29~R2)		47.3%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地区での活動をしている。 ✓ ボイ捨てはしない。 ✓ 川掃除などしている。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そういう取り組みがどこで行われているか知らない。 ✓ そういうイベントがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 毎月地区清掃に参加している。 ✓ 清掃活動、草取りに積極的に精を出している。 ✓ できるだけしている。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 早朝清掃には子どもがいるため不参加のことが多い。 ✓ 自分の家庭だけで精一杯。 ✓ 特に取り組みをしているわけではない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不法投棄のゴミが放置されていたら、自ら片付けている。 ✓ 地域の活動として参加している。 ✓ 地区の草取り、せぎ掘りなど参加している。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゴミを拾うことはあるが美化活動に参加はしていない。 ✓ 日曜朝6時からの地域の環境美化活動など無理な時間設定をそろそろ見直してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の環境美化の取り組みには、必ず参加している。 ✓ 環境活動に参加している。 ✓ 清掃活動している。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そうした機会がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家周りの道路や水路の掃除や地区の清掃活動に参加する。植木の剪定を依頼する。 ✓ ゴミのボイ捨てや不法投棄の活動をしている。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 良い生活環境を保つ取り組みが有るのか知らない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家や畑の草刈を行っている。 ✓ 花回廊のボランティアに参加している。 ✓ 地域の役員をしている。 ✓ 地区で定期的に整備、清掃作業をしている。 	60~64歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分の家の周りや地区全体の環境美化を積極的にやっている。 ✓ 地域の清掃活動には参加している。 ✓ 今年度に入ってから、シルバー人材センターの活動を通して参加している。 ✓ 地域での環境美化はもちろんのこと、衛生環境の改善に取り組んでいる。 	65~69歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分の家の周りや地区全体の環境美化を積極的にやっている。 ✓ 地域の清掃活動には参加している。 ✓ 今年度に入ってから、シルバー人材センターの活動を通して参加している。 ✓ 地域での環境美化はもちろんのこと、衛生環境の改善に取り組んでいる。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 企画を知らない。

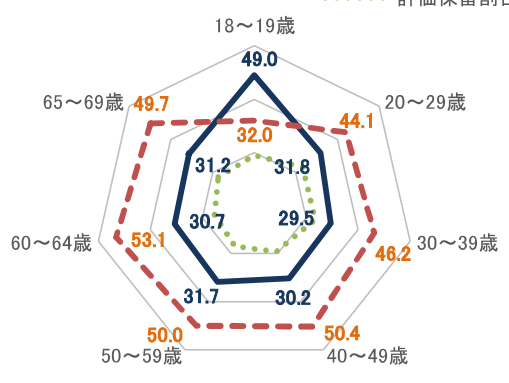
【区分】	【指標名】
●	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている

	H29	H30	R1	R1
肯定的評価割合	35.7%	34.0%	32.9%	32.3%
否定的評価割合	47.7%	42.5%	36.4%	46.7%
評価保留割合	14.7%	20.5%	27.1%	18.8%

現状値 (H28)	目標 (R3)	35.5%	↗
平均値 (H29～R2)		33.7%	

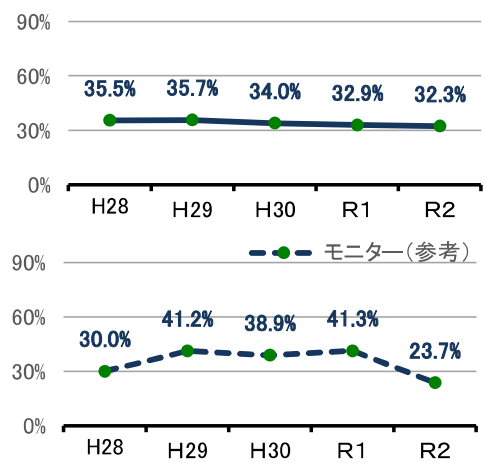
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- モニター(参考)




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ 台風19号災害の際も救助が迅速だった。	19歳以下	✓ 堤防を作った方が良いと思う。 ✓ 水害の後まだ復旧できていない。
✓ 近くに避難所がある。	20～29歳	✓ 千曲川堤防決壊のように工事されるべき場所がされていない。 ✓ あまり整っていると感じない。
✓ 公園が多い。 ✓ 台風の災害を経験してから整ってきたように感じる。 ✓ 避難所などの表示を目にする。 ✓ 駅前再開発など、徐々に設備が整いつつある。	30～39歳	✓ 台風19号災害での対応には想定外の災害に対する弱さを露呈した。 ✓ ブロック塀、路上駐車ばかりたくさんある。
✓ 備蓄倉庫など町内に設置されている。 ✓ 昨年の台風では被害が大きな所があったが、その裏で多くの方々の働きがあったと知った。	40～49歳	✓ 防災無線が全然聞こえない地域が多い。避難所が遠くて簡単に行けないし、車で避難するしかないため、駐車場に入れず立ち往生してさらに被害が大きくなりそう。 ✓ 台風19号で無力さを感じた。
✓ 台風19号の経験が活かされていると思う。 ✓ 区便りや回覧などで以前より具体的に避難場所などを広報されている。 ✓ 自主防災の体制が各区整っている。 ✓ 市役所広場や長野駅東口公園整備を通して感じる。	50～59歳	✓ 昨年の台風災害を見れば一目瞭然。地元の要望通りにもっと堤防の強化をしていればあそこまで甚大な被害にはならなかった。
✓ 災害マップが作成されている 地域放送でアナウンスされる。 ✓ 携帯や放送網での緊急情報が早くなった。災害マップや手引書等の配布がある。 ✓ 町で防災備品を助成金で購入し、万が一に備えた。	60～64歳	✓ 出来ていなかったから、去年の災害になった。 ✓ 昨年10月の水害で改めて我が事として、皆今一度考える必要がある。 ✓ 昨年の被害からみても現実的な目線がずれている。
✓ 毎年防災訓練など実施している。	65～69歳	✓ 異常気象が常態となった近年では全く不十分である。
✓ 去年の災害の経験を活かして今コロナも災害であるが精一杯努力している。	70歳以上	✓ 地域の防災体制が充実していない。 ✓ 防災管理者を各地域に設置すると良い。 ✓ 体制や準備が整っていない。

【施策コード／施策名】 4-1-1 防災・減災対策の推進	【担当部局】 総務部
---------------------------------	---------------

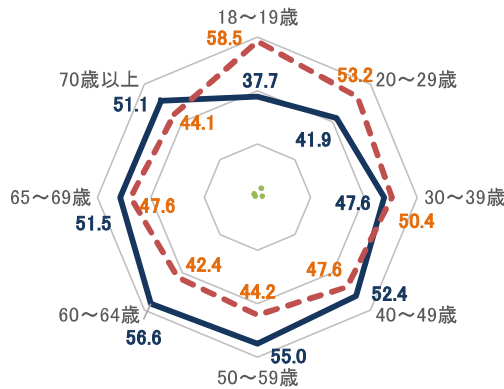
【区分】	【指標名】
○	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	37.2%	36.5%	42.3%	51.2%
否定的評価割合	58.5%	58.2%	54.0%	46.4%
評価保留割合	2.1%	2.6%	0.8%	1.2%

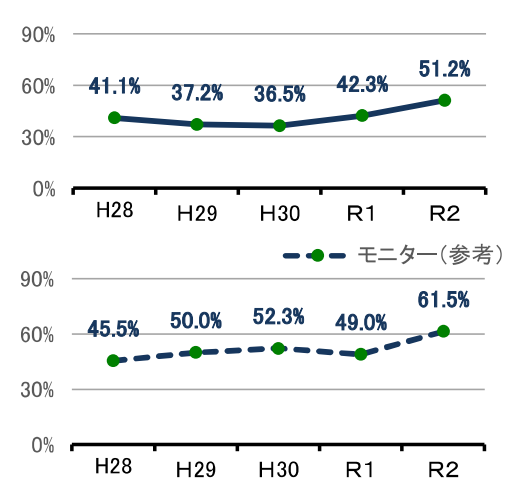
現状値 (H28)	目標 (R3)	41.1%	
平均値 (H29～R2)		41.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



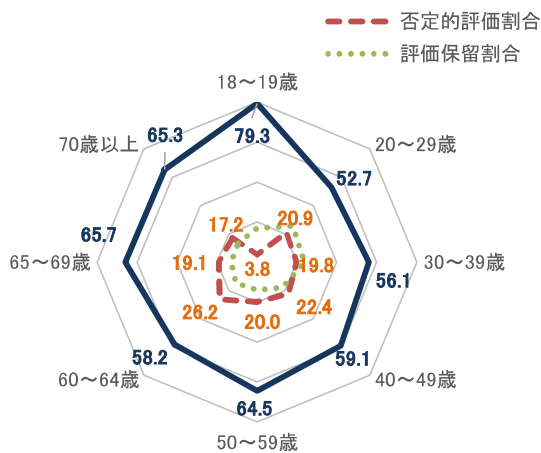
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓近年の大災害以降備蓄をしている。 ✓母がそうしている。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓地震が多かったので揃えてみた。 ✓水と栄養バーはある。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓蓄えを買う蓄えがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓備えている。 ✓もしものときのためにできることはしておきたい。 ✓少し備蓄しているが足りない。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓やろうやろうと思いつつ、忙しくてやっていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓避難所へ行くことが困難になると予想されるので備蓄してある。 ✓昨年の台風以来より意識している。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓とりあえず冷蔵庫の中の物から食べ、その間に復旧すると思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ✓家族人数分と犬の分も直ぐに持ち出せる場所に保管している。 ✓水、食料、紙おむつ、カセットコンロなど常備→普段から水や食料を使い回している。 ✓防災バッグを用意している。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓災害が多いため、これから検討しようと思う。 ✓期限がいつも切れる。 ✓食品は備蓄しない。 ✓買い込んではあるが、災害対策が目的とは言い難い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓非常持ち出しの準備。ビニール袋とゴム手袋、マスクの追加をしている。 ✓災害が増えているので、常に意識している。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓具体的な指針が欲しい。 ✓マンション管理組合で備えがある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓保存可能な食材など無理のない範囲で行っている。 ✓最低限の水や非常食は準備している。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓関心はあるが実践していない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓四五日分の最低限必要なものを準備している。 ✓若干の食料と飲料水、服用している薬、特に自分が必要とするもの。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に備蓄していない。 ✓意識が低いのかも。個人的に反省している。 ✓その必要性は十分に理解してはいるものの、取り組みはまだ行っていない。

【区分】	● 消防や救急体制が十分に整っている
------	--------------------

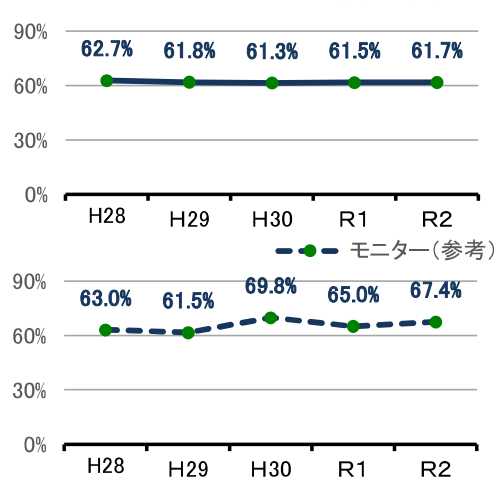
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	61.8%	61.3%	61.5%	61.7%
否定的評価割合	24.9%	23.6%	19.4%	19.9%
評価保留割合	11.6%	12.7%	15.7%	16.4%

現状値 (H28)	目標 (R3)	62.7%	↗
平均値 (H29～R2)		61.6%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓近くに消防署や病院がある。 ✓緊急事態でも迅速な対応ができていていると感じる。	19歳以下	✓地域の消防団などを見かけない。
✓救急車がよく鳴るのはいいことではないですが対応が早い証と逆に取れる。 ✓サイレンも何回も聞こえるし早い。	20～29歳	
✓病院が多く、道路もしっかり整備されているので問題ない。 ✓台風19号時、消防車が十何台もきて排水作業を行ってくれたおかげで、浸水を免れた。	30～39歳	✓都市部は良いかもしれないが郊外や中山間地域では救命体制が十分とは言えない。 ✓救急病院が少ないように見える。
✓通報後すぐに動いてくれる。 ✓市街地は整っていると思う。 ✓消防署や病院は近い範囲に存在している。	40～49歳	✓搬送先に時間がかかる。 ✓特に感じていない。 ✓台風19号で無力さを感じた。
✓消防署も移転し、各地に出動しやすくなったと思うため、その際には市民が協力して道を譲ることを心掛けている。 ✓近所にあり、とても安心してらせている。 ✓救急車がすぐ来てくれる。	50～59歳	✓消防体制が弱い。 ✓救急時、搬送先がとんでも無く遠くなる時がある。 ✓消防団員が少ない。 ✓救急隊員が冷たい態度で気持ちが萎えた。 ✓体制が十分整っているのか告知が不足している。
✓利用した際実感した。 ✓救急隊の方はとても親切。 ✓消火器がある。消防団がある。エムウェーブ近くに分署ができて、素早い対応になった。	60～64歳	✓昨年10月の水害で改めて我が事として、皆今一度考える必要がある。 ✓父が倒れたとき受け入れ先を見つけるのにかなり待たされた。
✓体制が充実している。	65～69歳	✓通常時で精一杯で緊急時は個人個人の行動が重要。 ✓緊急時の対応が不安である。
✓消防署が近くにあるのは心強い。 ✓水害の救助活動などを見てそのように思える。 ✓感謝している。	70歳以上	✓休日、夜間、地区内のAEDが使えない。 ✓あまり聞かない。情報が少ないかもしれない。

【施策コード／施策名】 4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防	【担当部局】 消防局
--------------------------------------	---------------

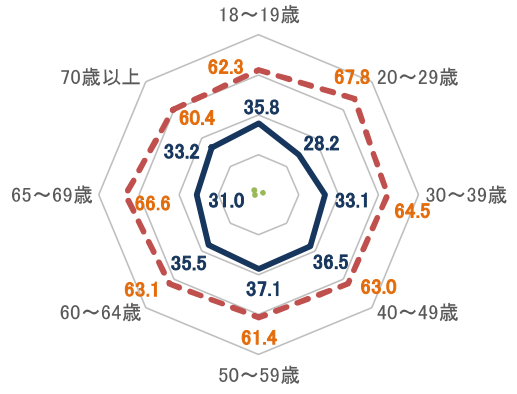
【区分】	【指標名】
○	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	34.5%	33.6%	34.8%	34.0%
否定的評価割合	59.6%	60.9%	60.9%	62.7%
評価保留割合	3.5%	2.7%	1.4%	1.9%

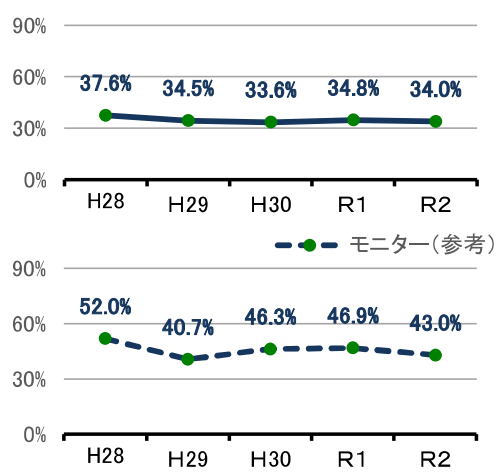
現状値 (H28)	目標 (R3)	37.6%	
平均値 (H29~R2)		34.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓一度参加したことがある。 ✓病院が近いため。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓講習会の機会がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校で勉強した。 	20~29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓会社で講習を受けた。 ✓定期的に参加している。 ✓講習会が定期的にある。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓以前AEDの使い方や人工呼吸などの講習を受けたことがあるが、近年そういう機会がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓救急救命法の講習会には参加した。 ✓必要を感じる。 ✓介護士なので定期的に講習がある。 ✓子どもの為に勉強している。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓忙しくて参加できない。 ✓講習会がそもそもない。 ✓参加する機会が無かった。 ✓職場以外では取り組みはない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓看護職なので、知識ある。 ✓年一回地域である。 ✓PTAで習った。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓勉強していない。講演会はどこで実施されているの分からない。 ✓なかなか時間が合わない。 ✓普段あまり意識していない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓何回か講習をうけている。その他の機会があれば関心をもて習得したいと思っている。 ✓地域で開催される防災訓練において勉強した。 ✓職場での講習会に参加した。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓仕事をしていることは必要だったが今は勉強の機会もない。 ✓平日に講習会が開催されるため参加できない。 ✓積極的には勉強していない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓定期的に行われる講習会に参加し、普通救命講習の受講もしている。 ✓積極的に参加し学んできている。 ✓5年前に広報を見て篠ノ井消防署にて普通救命講習を受講したが、その後実践する機会はなく今となっては余り役に立つとは思えない。継続した訓練が必要だと思う。 	65~69歳	
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓最近はその機会がない。

【施策コード／施策名】 4-2-1 交通安全対策の推進	【担当部局】 地域・市民生活部
--------------------------------	--------------------

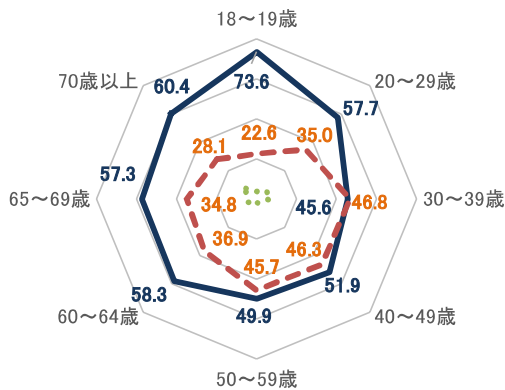
【区分】	【指標名】
●	交通マナーが良い地域である

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	46.2%	45.5%	43.7%	54.9%
否定的評価割合	48.9%	49.4%	48.7%	38.2%
評価保留割合	3.2%	3.0%	4.2%	5.0%

現状値 (H28)	目標 (R3)	44.1%	
平均値 (H29～R2)		47.6%	

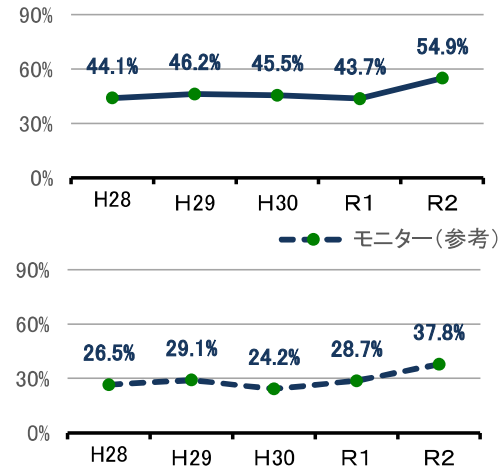
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- - -●- - - モニター(参考)



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓横断歩道での一時停止は他県よりいい。 ✓飛び出し事故をあまり聞かない。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓きちんと歩行者優先で止まってくれる。 ✓高齢者が多いからだと思う。 ✓事故を見かけない。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あおり運転の法改正やドラレコの普及があるとはいえ、百姓走りはまだ多い気がする。
<ul style="list-style-type: none"> ✓危ない運転をする人をあまり見ない。 ✓交通ルールはきちんとしている。 ✓横断歩道停止ランキング1位は誇りに思う。 ✓狭い道の譲り合いが多い。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓通勤の時間帯はマナーの悪い車が本当に多く気分が悪くなる。 ✓基本的に悪いと思う。横断歩道の歩行者優先度合だけがいい。運転は荒い。横入りが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓他県に比べ長野は交通マナーが良いとテレビ番組でも観た。 ✓マナーを守っている車が多い。 ✓悪いドライバーは少ない。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ローカルルールの存在、高齢者ドライバーの危険な運転を目にする。 ✓電話しながら運転している人が多い。 ✓我先に突っ込んでくる車がいる。
<ul style="list-style-type: none"> ✓横断歩道では横断者が立っていると車が止まっている。 ✓他県に比べ車が歩道橋でちゃんと停止してくれる。 ✓高齢者のドライバーが、たまに、自己中心的な運転をみかける。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓50代から上の年齢はマナーが悪い。標識も守れず呆れる。 ✓マナー教育がされていない。 ✓軽トラの傍若無人が際立つ。
<ul style="list-style-type: none"> ✓歩行者が、横断歩道に、居たら必ず、一時停止している。 ✓横断する歩行者が運転者にお礼する長野のよい習慣がテレビでとりあげられていて誇らしかった。 ✓譲り合いがある。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓信号無視、譲り合いなどなく、自分勝手な方が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓住民の意識は高いが、主要幹線道路では交通量が増え、事故も頻発している。 	65～69歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓無謀な運転やマナーの悪い運転手はあまり見かけない。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓運転中のスマホ利用やウインカーの合図が遅い。 ✓歩いたり、自転車、車を運転していて、ヒヤッとすることある。

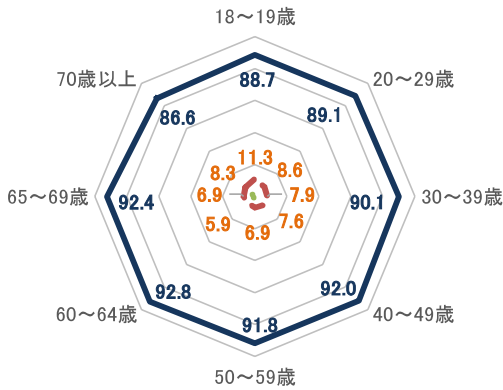
【区分】	○
【指標名】	自動車や自転車の交通マナーを意識して生活している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	86.7%	87.8%	88.1%	90.0%
否定的評価割合	10.1%	8.7%	8.4%	7.6%
評価保留割合	1.2%	1.3%	0.8%	1.1%

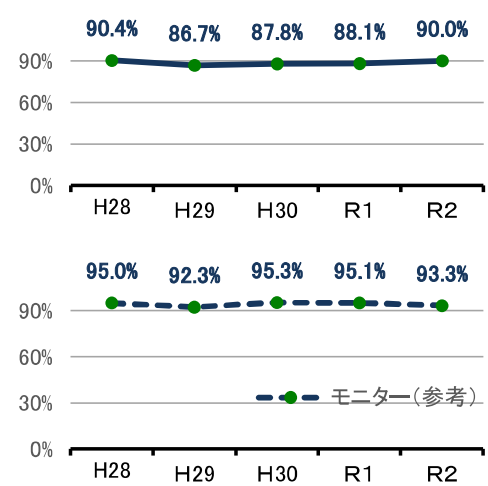
現状値 (H28)	目標 (R3)	90.4%	➔
平均値 (H29～R2)		88.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



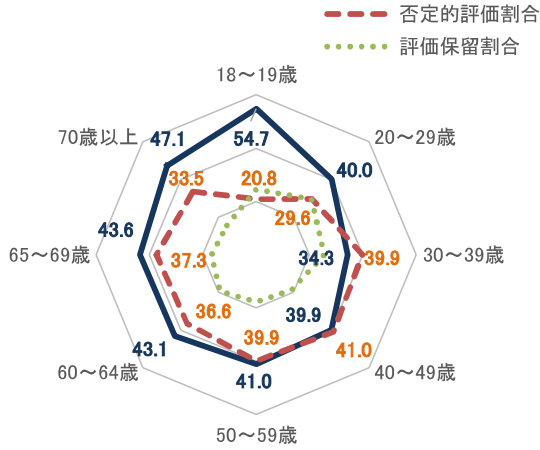
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓道交法違反に注意して自転車に乗っている。	19歳以下	✓自動車、自転車を使っていない。
✓免許を取ってからは特に気を付けている。 ✓自分の身を守るために気を付けている。	20～29歳	✓あまり関わりがない。
✓自分が運転するときはマナーに気を付けている。 ✓報道で痛々しい事故が多発しているのを見て、気を引き締めて運転している。 ✓事故は怖いので気を付けている。	30～39歳	✓自分勝手が多い。
✓一時停止や、子供にはヘルメットを被らせ自転車に乗せている。 ✓安全運転を心がけている。 ✓自動車運転をするので気を付けている。 ✓特に狭い町内は気を付けている。	40～49歳	
✓自らも前後カメラ付きのドライブレコーダーを付けた り雨の日の歩行者に注意している。 ✓自転車の逆走者を必ず注意している。 ✓自動車・自転車両方の立場でマナーを意識している。	50～59歳	✓自転車に関してはちょっといい加減である。 ✓乗らない。
✓マナーは守り、講習も受けている。 ✓加害者にならないように、安全に努めている。	60～64歳	
✓身を守るために予防行動を意識している。 ✓自転車なので気を付けている。 ✓加齢に伴う注意力の衰えを実感している。	65～69歳	
✓高齢者意識を持ち、ハンドルを握ったら心を穏やかにして安全運転に心がけている。 ✓特に意識している。自分が事故を起こしてもまた、起こされても困る。 ✓各種講習会に参加、年齢に応じた運転に心がけている。	70歳以上	

【区分】	【指標名】
●	地域で防犯に向けた取組が行われている

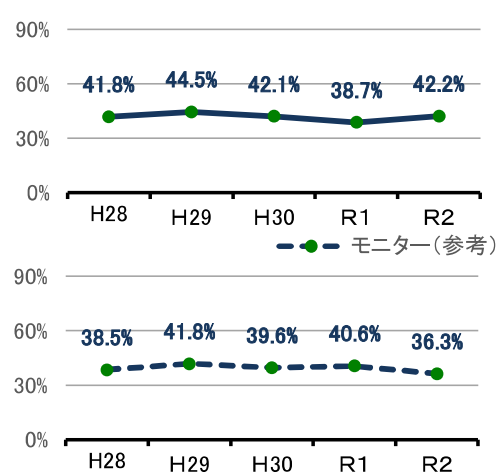
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	44.5%	42.1%	38.7%	42.2%
否定的評価割合	41.3%	41.9%	39.0%	36.7%
評価保留割合	12.3%	13.5%	19.0%	19.1%

現状値 (H28)	目標 (R3)	41.8%	↗
平均値 (H29～R2)		41.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓小学生の朝の見守り運動が活発。	19歳以下	✓地区であまり取り組みがない。 ✓あまりそういった活動が見受けられない。
✓入口に身長が分かるものが多いところ増えた。 ✓見守り隊が多い。 ✓パトロールしている親御さんや警察の方をよく見る。	20～29歳	✓最近ヤフーの速報で事案発生、声かけ発生など情報発信が早い、その数は多いため防犯の部分では低いと思う。
✓防災無線で注意喚起している。 ✓先日暴力団対策セミナーを受け、基本知識を得ることはとても有益だと思うのでもっと広めてほしい。	30～39歳	✓空き家ばかりで、警察官の見回りなどもない。 ✓なにをしているのか知らない。 ✓具体的な取組を見聞きしたことがない。
✓挨拶がなく、外灯が少ない。不法投棄対策はされたが、バリケードを置いただけでなくなった。 ✓防犯に向けたチラシや放送を目にする。 ✓地区の育成会でパトロールを実施している。	40～49歳	✓特殊詐欺被害が後を絶たない。 ✓防犯活動や防犯カメラなど見かけない。 ✓近所の神社前は電灯がなく、夜道が怖い。 ✓街灯がLED化されてから真っ暗な道が多くなった。 ✓空き巣狙いの被害を時々耳にする。
✓子どもを守る安心の家とかある。 ✓注意喚起ののぼり旗や交番からの防犯情報などがあり気にとめるようにはしている。 ✓防犯の寸劇などイベントにとり入れている。	50～59歳	✓特になにをしているか情報がない。 ✓相変わらず空き巣の犯罪がある。 ✓身近で取り組みが少ない。 ✓数年前からの連続放火犯が全然捕まらない。
✓防犯パトロールなどで地域における自主的防犯活動をしている。 ✓安全パトロールや見守り隊の活動、緊急避難の掲示店が増えた。	60～64歳	
✓安全パトロールを行っている。	65～69歳	✓ボランティアによる見守りなどをやっているが、空き巣、不審者情報が度々ある。
✓自治会活動を通じて行っている。 ✓地域での安全パトロールなどの取組みがある。 ✓登下校でのサポートなどしている。	70歳以上	✓地域コミュニティが整っていないので、相互補完が出来ていない。 ✓地域の中での組織が明確でなく、活動も明確でない。 ✓地域の防犯当番制など形骸化している。

【施策コード／施策名】
4-2-2 防犯対策の推進

【担当部局】
地域・市民生活部

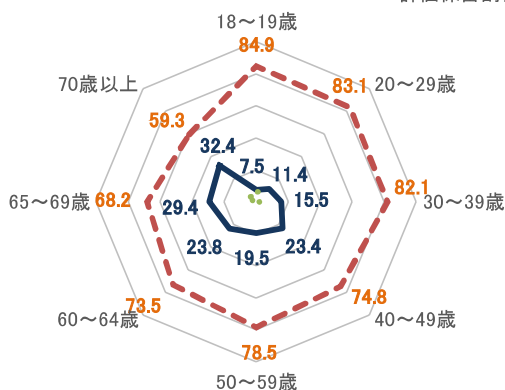
【区分】 ○ 【指標名】 犯罪防止のため、声かけや見守り活動に参加している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	25.9%	24.5%	23.8%	23.7%
否定的評価割合	66.8%	70.1%	70.7%	71.9%
評価保留割合	4.8%	2.8%	2.4%	2.8%

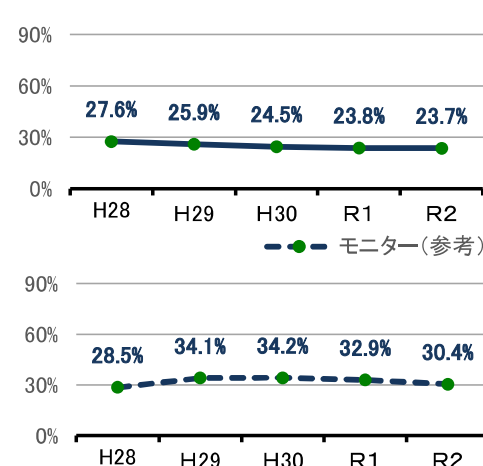
現状値 (H28)	目標 (R3)	27.6%	↑
平均値 (H29～R2)		24.5%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓自分の家族、親友には特にしている。
✓小学生を見守っている。

19歳以下

✓声かけはできていない。

✓子供を通じてしている。
✓歩行者や子供へのあいさつはできるかぎりしている。
✓無理のない範囲で見守り活動に参加している。
✓育成会などで参加している。

20～29歳

✓そういう集まりの存在を知らない。

✓近所で見かけない人がいたら又は、お年寄りが一人で歩いていたら声をかけるようにしている。
✓近所での声掛けや子供の登下校時の見守り当番などに参加している。

30～39歳

✓迂闊に声をかけたら不審者扱いされるため、できない。
✓参加していない。そのような活動自体を知らない。

✓地域で指導する立場なので参加している。
✓防犯に関する意識の高揚。

40～49歳

✓機会がない。
✓気持ちはあるが、行動が伴っていない。
✓これから機会があれば参加したい。

✓あいさつ運動等に参加している。
✓子供から大人までこちらから声掛けしている。
✓危険のない範囲で協力している。
✓年に数回交差点で声掛けしている。

50～59歳

✓活動に参加していない。(要請もされない)
✓コロナ影響で見守り行事が中止している。
✓活動が周囲にあるのか知らない。
✓人とかかわるのは面倒。
✓挨拶するぐらいで、他の具体的な活動を知らない。

✓子供や孫の行動の見守りはやっている。犯罪や災害は何時遭遇するか予測できないため行動している。又、シルバー人材センターのボランティア活動の一環で地域小学校の下校時の見守り活動に参加している。
✓町の防災組織に参加している。
✓児童に対する見守りや地域での防犯活動に取り組んでいる。
✓地域の行事には参加している。

60～64歳

✓機会が無い。
✓怖くてできない。
✓そういう活動を知らない。

65～69歳

70歳以上

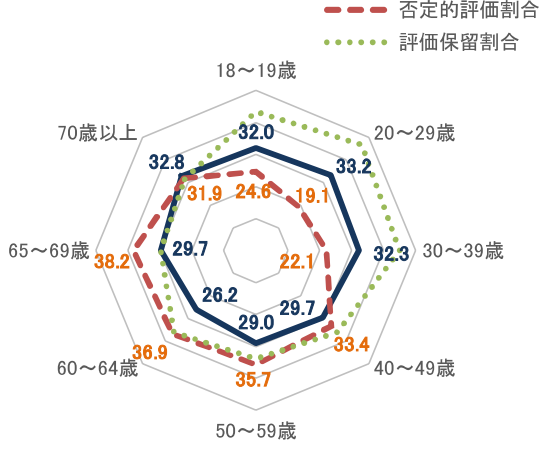
✓特に意識した活動はしていない。
✓声かけや見回り活動などしていない。
✓声掛けは少ししている。

【区分】	【指標名】
●	特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている

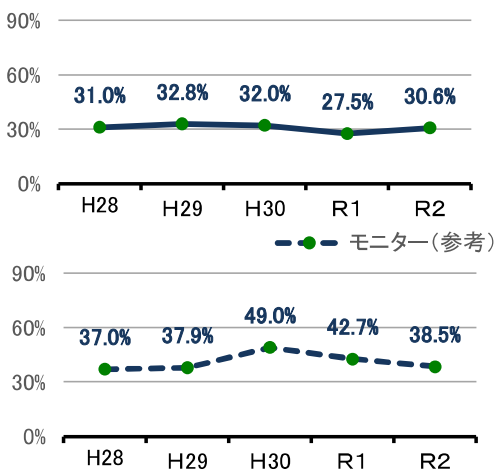
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	32.8%	32.0%	27.5%	30.6%
否定的評価割合	41.2%	38.2%	35.0%	31.8%
評価保留割合	24.0%	27.0%	34.0%	35.6%

現状値 (H28)	目標 (R3)	31.0%	↗
平均値 (H29～R2)		30.7%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



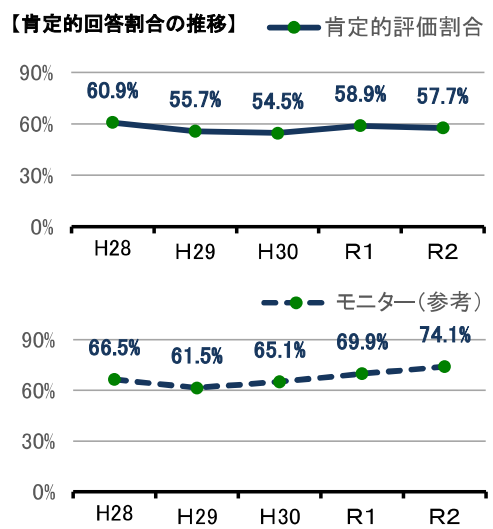
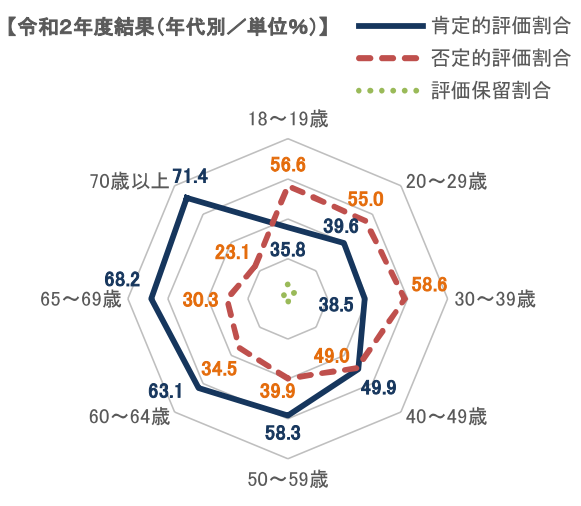
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
----------------	--------	----------------

✓ラジオ等でも詐欺への注意喚起ができています。 ✓放送が流れていたりする。 ✓CMでも呼びかけていて良いと思う。 ✓詐欺を防げた話をよく聞く。	19歳以下	
✓窓口や注意喚起など、しっかりしている。 ✓防災放送が充実している。 ✓銀行や郵便局などに詐欺への注意喚起がされている。	20～29歳	✓あまり関わりがない。
✓CMを見かけるようになった。 ✓相談体制の情報が多い。 ✓市報に載っている。高齢者が電話を留守電にすれば良いと思う	30～39歳	✓最近見ない。 ✓具体的な相談窓口を聞いたことがない。
✓CMを見かけるようになった。 ✓相談体制の情報が多い。 ✓市報に載っている。高齢者が電話を留守電にすれば良いと思う	40～49歳	✓特殊詐欺被害が後を絶たない。 ✓被害が減っているように感じない。 ✓警察に相談したとき相手にしてもらえなかった。
✓住自協で詐欺の情報があれば聞き取り調査をしている。 ✓広報ながのや週刊長野に相談窓口が掲載されているので、いざという時は相談したいと思う。 ✓消費者センターの活動を見て感じる。	50～59歳	✓まだまだ新聞やニュースで被害を見る。 ✓相談先が分からない。 ✓警察、消費生活センターに相談する程度。 ✓いまだに連日のように新聞に事件が載っている。
✓市報等で呼びかけている。 ✓相談体制が充実している。 ✓福祉活動等で声掛けをしている。	60～64歳	✓注意喚起はテレビやポスター声掛けもしているのにも関わらず、金融機関の担当者が気づいてくれない限り、未然に防げないのは疑問である。
✓注意喚起のチラシなどを回覧している。	65～69歳	✓最も被害にあいやすい高齢者には伝わっていない。
✓行政のPRが積極的である。 ✓交番の指導で、高齢者に対する講習は行っている。 ✓特殊詐欺など学ぶ機会は大変多く、事が起きたときの相談体制は整っていると聞いている。 ✓消費生活センターの活用のための広報が出来てきているように感じられる。	70歳以上	✓消費生活の相談はどこにしたらいいのか不明。長野市内の機関は遠い気がする。 ✓他人ごとだと思っているところがある。 ✓相談体制がないことや区としての取り組みが弱い。 ✓どこで相談することができるのかのPRが足りない。

【区分】	○
【指標名】	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	55.7%	54.5%	58.9%	57.7%
否定的評価割合	66.8%	70.1%	36.9%	39.0%
評価保留割合	4.8%	2.8%	1.5%	2.2%

現状値 (H28)	目標 (R3)	60.9%	
平均値 (H29～R2)		56.7%	




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓合言葉決めている。 ✓祖母によく伝えている。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓親には話すようにしている。 ✓定期的に話すようにしている。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういったことについて話す機会がない。 ✓詐欺のニュースについて話すことはある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓電話では、名前をなのらないなど、対策がある。 ✓いろんなパターンの詐欺事件があることを知り、情報共有することで未然に防げることもある。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり話題にならない。 ✓話し合ったことがない。 ✓たまに話題に上がることはあるが、自分や家族は大丈夫だろうと思っている節がある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓家族では話し合っている。 ✓新しい技がどんどん出てくるため、情報共有している。 ✓高齢の父母には、マメに話している。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓気持ちはあるが、行動が伴っていない。 ✓電話等兆候があれば聞いておく程度。
<ul style="list-style-type: none"> ✓家族LINEで、おかしいメールや、ハガキを共有している。 ✓実家の親には登録してある番号しか出ないようにし基本留守番電話にしている。 ✓新聞を読み、騙された人の具体例を学んでいる。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓親とは話すことがある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓鍵かけをする。対応はまずインターン越し。折り返し連絡は自分で調べてからする。 ✓福祉活動等で事例の情報交換をしている。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓年寄りがないので特に気を使っていない。 ✓話し合う相手はいない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓日頃から気を付けている。 ✓番号を見てから受話器をとるようにしている。 	65～69歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓合言葉を確認したり、詐欺事件に対する情報を活用している。 ✓研修会などで聞いたこと、学んだことをお年寄りの集う場などで話題にしている。 ✓老人会などの集まりで講習することもある。 ✓経験があり、気を付けている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓気をつけてはいるが、余り話し合っていない。

【施策コード／施策名】 5-1-1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実	【担当部局】 教育委員会、こども未来部
---	------------------------

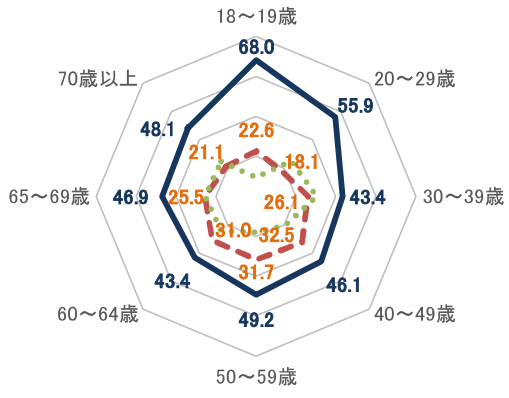
【区分】	【指標名】
●	子どもがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	40.1%	38.8%	46.3%	47.6%
否定的評価割合	29.7%	32.0%	28.6%	26.6%
評価保留割合	28.3%	26.6%	22.8%	23.2%

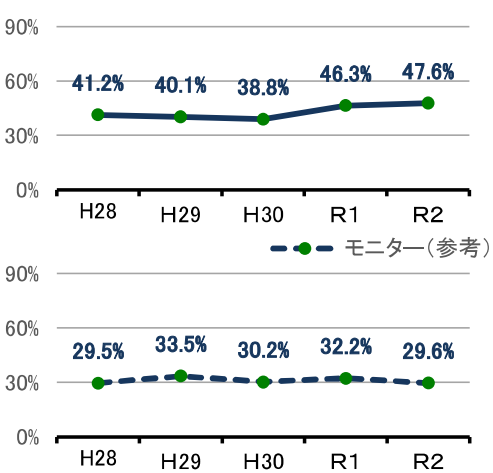
現状値 (H28)	目標 (R3)	41.2%	
平均値 (H29～R2)		43.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】 【年齢区分】 【モニターの主な否定的意見】

<ul style="list-style-type: none"> ✓学校教育に力を入れている。 ✓体力中心が目立つので体力より学力を上げた方が良い。 ✓学校再開して大切さがわかった。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓中学2、3年の担任はそうではなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ✓もう少し体を使う活動や地域と係わる活動が増えたらいいと思う。 ✓求められる答えを出すのではなく、自分自身で問題を見つけ解決方法を考え、自主的に取り組むなど、アクティブラーニングを進めていると感じる。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓学力に関しては学校によって差がある。課題が多すぎて自分のしたい勉強ができない場合がある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓もう少し体を使う活動や地域と係わる活動が増えたらいいと思う。 ✓求められる答えを出すのではなく、自分自身で問題を見つけ解決方法を考え、自主的に取り組むなど、アクティブラーニングを進めていると感じる。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓学力試験で長野県はいつも下位にいるので、そういった教育がなされていないのかと思う。 ✓希望する施設に入れない。 ✓校舎や教員の人数不足は感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ✓学習塾が近所に多い。 ✓子供の成長をみていて感じる。 ✓コロナ禍で休校が続いたがオンライン授業も増えているようだった。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓もっと没頭できるスペースを開放すべきである。 ✓モニターペアレンツのせいで、先生が委縮している。
<ul style="list-style-type: none"> ✓少子化でクラスに少ない児童生徒だが先生が親身に教えてくれる。 ✓コロナの件で学校の先生方も生徒の事をとても心配されていることを新聞で読み、大変苦労されていると感じる。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ禍で、運動もできないし、登山も修学旅行もない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓それぞれの家庭で取り組んでいる。 ✓学校や地域で育成会などで活動している。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓資質や能力やバランスよく伸ばしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓市教委が頑張ってくれているように思うが、教員の数が増えて良いと思う。 ✓教職員の先生方の努力で取り組まれているように感じる。 ✓学校内の教育の実態は知らないが放課後子どもプラザでは地域住民のボランティア協力もあり、よく取り組んでいる。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓受験目的の知識に偏っている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓市教委が頑張ってくれているように思うが、教員の数が増えて良いと思う。 ✓教職員の先生方の努力で取り組まれているように感じる。 ✓学校内の教育の実態は知らないが放課後子どもプラザでは地域住民のボランティア協力もあり、よく取り組んでいる。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域に根ざした社会教育の充実がまず必要である。

【施策コード／施策名】 5-1-2 子どもに応じた支援の充実	【担当部局】 教育委員会、こども未来部
-----------------------------------	------------------------

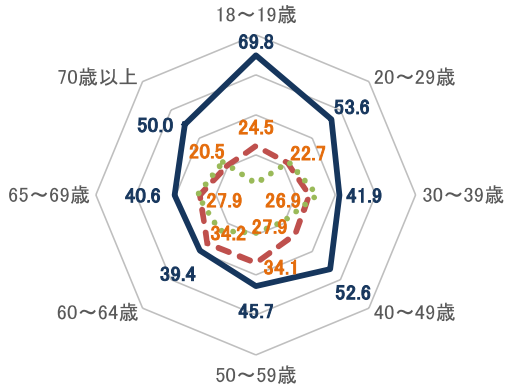
【区分】	【指標名】
●	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	40.9%	40.2%	42.5%	47.4%
否定的評価割合	28.4%	29.6%	31.0%	27.0%
評価保留割合	29.0%	27.6%	24.4%	23.2%

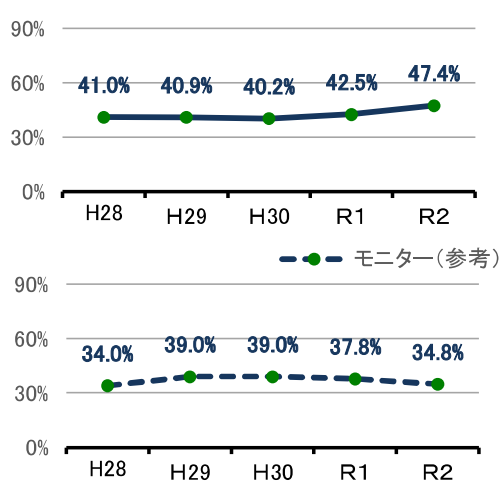
現状値 (H28)	目標 (R3)	41.0%	
平均値 (H29～R2)		42.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓塾なども充実している。	19歳以下	
✓カウンセラーが身近にいる。 ✓大切にはされているが、教師が縛られ踏み込める範囲が狭くなった気がする。 ✓小学校の教育体制が良い。	20～29歳	✓できない子は置いていかれる、切り捨てられている気がする。
✓休校中、課題を出してもらった。 ✓子供の通っている保育園の保育士が熱心で親切である。 ✓休校中の学校の対応は良かった。	30～39歳	✓親が大切にされていない時点で子供は大切にされていない。 ✓教員の人数不足を感じる。
✓地域としては分かりにくいかもしれないが、子供がいるので実感する。 ✓地域の学校では熱心に取り組んでいる。 ✓コロナの件で休校中も先生方は生徒の体調を確認していらしたと聞いている。	40～49歳	✓1クラスの人数が多すぎる。 ✓オンラインの整備を早急にしたほうが良い。 ✓個人よりも全体を考えた体制となっている。
✓相談・支援システムが構築されている。 ✓かなり手厚い子育てや教育支援があると思う。今どきはホットラインやスマホの活用で情報収集や選択の幅が広がった。	50～59歳	✓コロナ影響で学校組織がパニックになっている。 ✓コロナで休校になり、教育を受ける機会が減っている。 ✓個別性は重視されているのか疑問である。
✓少人数対応に力を入れているように感じる。 ✓子供プラザなど地域で育てていこうという考えが定着している。 ✓地域の自治役員が良く協力している。	60～64歳	✓不登校やいじめの未然防止がされている。 ✓格差がある。 ✓例えば、いじめなどに対する相談・支援体制が不十分。
	65～69歳	✓地区で差がある。 ✓親に余裕がない。他人任せが多い。
	70歳以上	✓支援体制の組織等があるのかが判らない。

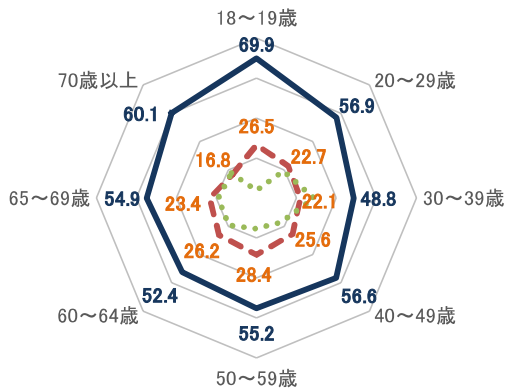
【区分】	● 家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている
------	---------------------------------

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	51.4%	49.4%	53.4%	55.9%
否定的評価割合	24.7%	26.4%	26.2%	22.9%
評価保留割合	21.8%	21.8%	18.3%	18.6%

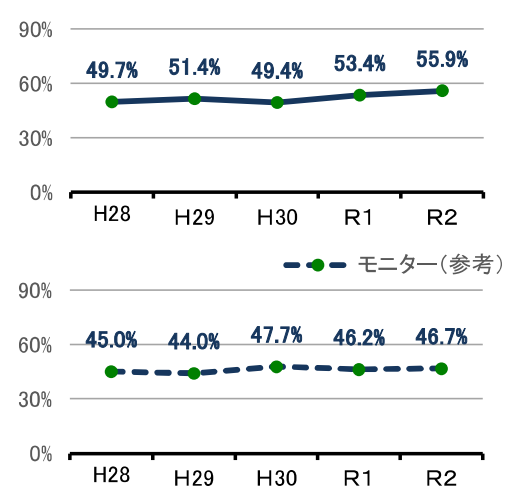
現状値 (H28)	目標 (R3)	49.7%	↗
平均値 (H29～R2)		52.5%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓こどもに寄り添った体制になっている。 ✓学習ボランティアなど地域の人とつながりがある。 ✓学校の先生たちは頑張っていると思う。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓できていないから県外へ若者が流出しているのではないかとと思う。 ✓もう少し地域も学校と連携してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓習い事の場所も多い。 ✓塾なども充実している。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓希望する保育園にすら入れない。 ✓それぞれがうまく連携しているように見えない。 ✓地域で支えているという実感はない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の見守りがある。 ✓育成会など連携している。 ✓小学校の教育体制が良い。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓学校、先生は、子供や家庭、時代に合わせ変わって欲しい。先生の適性検査望んでいる。 ✓家庭では努力をしているが、未就学児へのサポートは全く不足している。
<ul style="list-style-type: none"> ✓小学校と地域が連携して取り組んでいる。 ✓近所の児童館では先生方を一生懸命にやられている印象を受ける。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域は仲が良いが学校は特に関わり無い。 ✓休校中の家庭の負担が高すぎ。 ✓地域と学校との連携はあまり感じられない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓小学校、中学校での学びでそう感じる。 ✓信更型コミュニティスクールで支えている。 ✓りんごの栽培等の地域との繋がりを感じた。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓少子高齢社会では、高齢者の方が支援されたいと思っている。立脚点を知りたい。 ✓地域の連携が不十分である。 ✓学校がやや閉鎖的であるように思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓学生が地域連携で地域住民との交流がある。 ✓公民館行事も子供中心のものが多い。学校や地域・家庭が参加する行事もある。住民による安全が保たれている。バザーや敬老会参加や発表会などある。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓努力している部分もあるが、子供のいない家庭は関わっていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓育成会の活動が継続している。 ✓学校の地域サポートがある。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域との連携は弱い。 ✓地域連携という点ではなかなか難しさを感じる。学校からの発信が不足している。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域で子供を育てる風土がある。 ✓PTAや育成会は熱心である。 ✓各団体を始め個人へも連携して支えていっていると思う。 ✓放課後子どもプラザ、PTA活動、公民館活動など盛んであり地域の皆で支援している。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域との連携は弱い。 ✓地域連携という点ではなかなか難しさを感じる。学校からの発信が不足している。

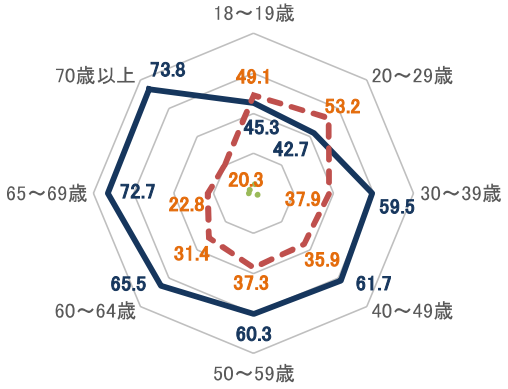
【区分】 ○	【指標名】 地域の子どもにあいさつや声かけをしている
-----------	-------------------------------

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	66.2%	64.7%	64.0%	64.1%
否定的評価割合	29.5%	31.2%	31.1%	31.8%
評価保留割合	2.5%	2.0%	2.0%	2.3%

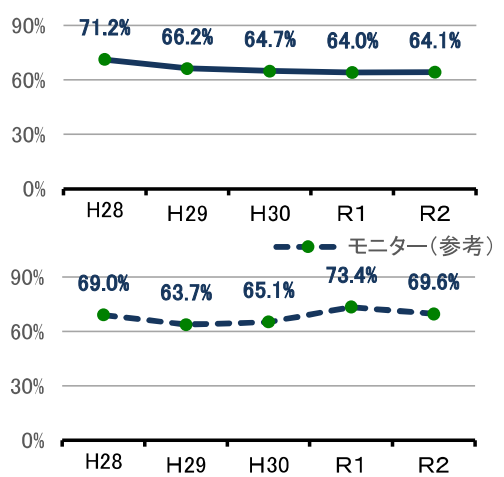
現状値 (H28)	目標 (R3)	71.2%	↗
平均値 (H29～R2)		64.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓「おはよう」は言うようにしている。	19歳以下	✓不審者だと思われる。
✓挨拶されれば返す。	20～29歳	✓事案と言われる危険がある。
✓安全・安心のためにしている。	30～39歳	✓機会がない。
✓挨拶は必ずしている。	30～39歳	✓子供に出会わない。
✓地区で、あいさつ運動が盛んに行われている。	40～49歳	✓事案になってしまう。
✓散歩ですれ違う子供達へ挨拶の声かけはしている。	40～49歳	✓ほとんど行き会わない。
✓あいさつはできるかぎりしている。	40～49歳	✓出来ていない。
✓毎朝夕、犬の散歩中に声かけしている。	50～59歳	✓そうした機会がない。
✓会ったらあいさつをしている。	50～59歳	✓地域に子供がいないし、今のご時世やたら声掛けは不審者になる。
✓なるべく登下校の折に花の手入れ水くれをして、声かけをしている。	60～64歳	✓子供の登校時間と職場出勤時間が違う。
✓一部の子供は挨拶するが、挨拶が出来ない子供が多い。	60～64歳	✓知っている子には声をかけるが、知らない子には声をかけづらい。
✓あいさつ運動に参加している。自分でも声掛けをしている。	65～69歳	✓親同伴や当番 担当時は相手も安心するが、それ以外だと敬遠される。
✓躊躇なく声かけしている。	65～69歳	
✓地域内ですれ違ったりしたら、必ず声は(あいさつ)かける。	65～69歳	
✓通学路に近いため挨拶は意識している。	70歳以上	✓コロナでできるだけ外出しないようにしている。
✓あいさつ運動に参加している。	70歳以上	✓近所の子どもだけにしている。
✓注意も含め挨拶する。	70歳以上	✓心がけてはいるが、なかなか思うようにはならない。
✓防犯・交通安全パトロールや趣味のスポーツの行き帰りに、公園などで遊んでいる子ども達に声を掛け、にこにこして「おじちゃん」と駆け寄ってくるので嬉しい。	70歳以上	

【施策コード／施策名】 5-2-1 生涯学習環境の充実	【担当部局】 教育委員会
--------------------------------	-----------------

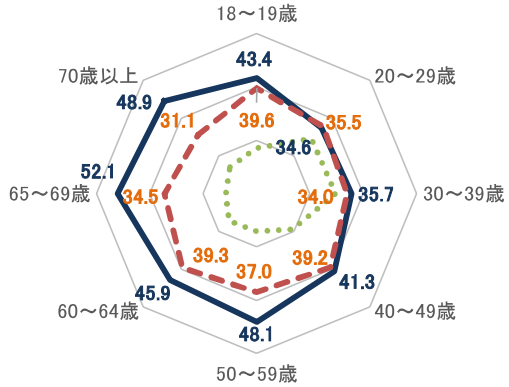
【区分】	【指標名】
●	公民館などで、学びの機会が提供されている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	51.3%	52.4%	48.7%	44.9%
否定的評価割合	28.0%	28.0%	32.7%	35.3%
評価保留割合	18.7%	17.2%	16.5%	17.5%

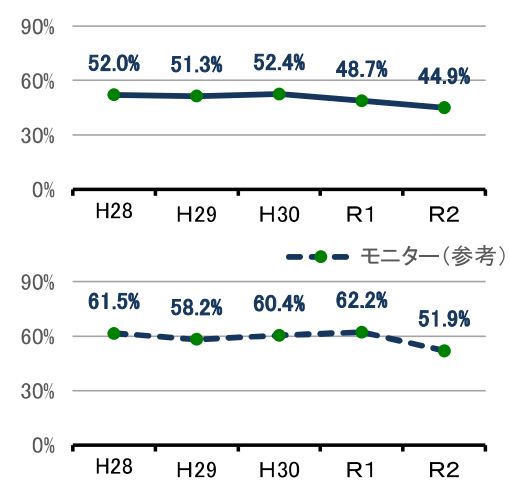
現状値 (H28)	目標 (R3)	52.0%	↗
平均値 (H29～R2)		49.3%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近くの公民館でよくみかける。 ✓ 回覧板でお知らせを見ることがある。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地区の取り組みがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ そろばん塾など開かれている。 ✓ 公民館の数は多いと感じる。 	20～29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 参加したことはないが、いろいろな講座等開催されているのを回覧で見える。 ✓ 育成会、保存会など使われている。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そういう情報がない。 ✓ 高校生などは公民館などでは勉強理由で利用ができず、自宅以外で勉強する場所に困っている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所の公民館で色々行われている。 ✓ 環境は多いと感じる。 ✓ 開催はされているが参加はしていない。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者対象の受講しかない。労働者は参加できる時間帯に設定されていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の回覧などに公民館の講座の案内が提供されている。 ✓ 同好会活動が盛んである。 ✓ 他県に比べ活動が活発である。 ✓ 人権や地域の課題の講座集会等行っている。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そのような機会は無い。 ✓ コロナ影響で自粛気味。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子供中心の行事、支出が多い。興味ある講座が少ない。希望があっても自分で講師を探さなくてはならない。コーディネーターがいれば良いと思う。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 須坂の公民館はとても充実していた。 ✓ 回覧板を見る限り少ないと思う。 ✓ もう少し活発になれば良いと思う。一部だけの活動にとどまっている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現に参加している。 ✓ 地域の役員は最大限の努力をしている。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子供への対応について、公民館は不十分である。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 広報などで多くの情報が発信されているのは知っている。 ✓ 若い人を対象とした講座は少ないが中高年を対象とした学びの機会が多い。 ✓ 公民館では各種講座を企画されており楽しく参加させてもらっている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実情に合わない。 ✓ 公民館活動は学びの場というより楽しみメニューによる活動がほとんどであり、人としてどのように生きるべきか等、地域福祉などとの関係を踏まえてこれからの公民館活動の展望を行政としても住民に分かりやすく示すべきと思う。 ✓ 指導者がいない。

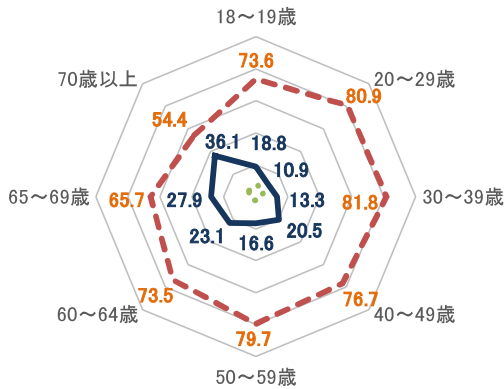
【区分】 ○ 【指標名】 公民館などで提供されている学びの場に参加している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	25.7%	25.2%	23.6%	23.4%
否定的評価割合	67.2%	69.9%	70.1%	70.6%
評価保留割合	4.7%	2.5%	3.3%	4.1%

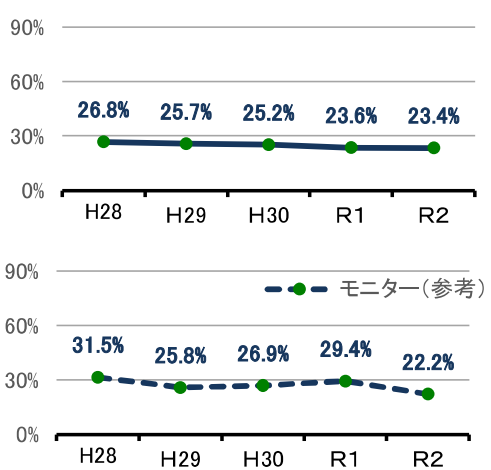
現状値 (H28)	目標 (R3)	26.8%	↑
平均値 (H29～R2)		24.5%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】


【モニターの主な否定的意見】

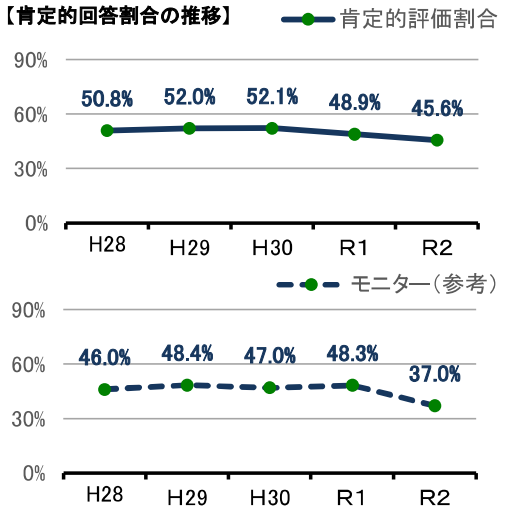
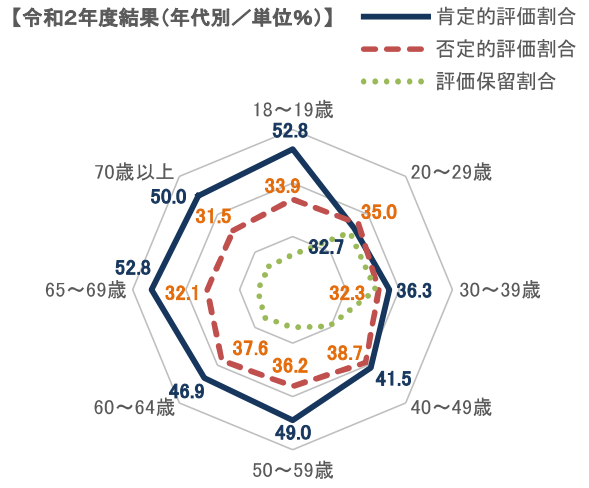
	19歳以下	✓そういう場があるか知らない。
	20～29歳	✓場違いと感じる。
	30～39歳	✓どのような学びがあるのか知らない ✓自分の時間がなかなか持てない。
	40～49歳	✓全く参加していない。
✓都合がつく限り参加している。 ✓積極的にスケジュールが合えば参加するが、今年は新型コロナウイルスのおかげでイベントが無い。 ✓交流センターの講座を利用している。	50～59歳	✓仕事がありなかなか参加できない。 ✓参加したことない。年寄むけの企画しかない。 ✓時間が合わない。
✓興味があればなるべく参加している。 ✓参加できるときはなるべく顔を出している。 ✓研修会に参加している。	60～64歳	✓公民館の学びの場は特に必要なものではないと思う。
✓成人学校に参加している。 ✓各種事業に参加している。 ✓企画もしている。(福祉社会役員として)	65～69歳	
✓積極的に参加し学ぶとともに、皆さんとの交流を心掛けている。 ✓サロンなどに参加している。 ✓可能な限りそのような機会があれば参加している。 ✓現役の時は地域とのかかわりを持つことが殆どなかったため、現役を退いた今は、積極的に地域のことを勉強すべく、公民館で企画された諸講座に積極的に参加している。 ✓市民講座などに積極的に参加し、講座のリーダーなどやっている。	70歳以上	✓現在夫の介護で参加できない。 ✓関わりが薄い。 ✓あまり興味がない。

【施策コード／施策名】 5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進	【担当部局】 教育委員会
---	-----------------

【区分】	【指標名】
●	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	52.0%	52.1%	48.9%	45.6%
否定的評価割合	27.9%	27.9%	32.9%	34.5%
評価保留割合	17.9%	17.5%	15.9%	17.6%

現状値 (H28)	目標 (R3)	50.8%	
平均値 (H29～R2)		49.7%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓地域のことは公民館で行われる。	19歳以下	✓地区での活動がほぼない。
✓参加したことはないが、いろいろな講座等開催されているのを回覧で見える。 ✓育成会、保存会など使われている。 ✓企画運営がしっかりできている。	20～29歳	✓行きづらい。 ✓提供されていない。
✓近所の公民館で色々行われている。 ✓環境は多い。 ✓広報や回覧板等を見てそのように感じる。	30～39歳	✓参加したいがさうゆう情報がない。 ✓たまにイベントが行われていると思うが、あまり地域の学びの場として活用されているというイメージを持っていない。
✓その地域の歴史などを学ぶ講座が提供されている。 ✓他県に比べ活動が活発である。 ✓防災関連の講座等がある。	40～49歳	✓形骸化している。 ✓子どもに対しての学びの場は少ない。 ✓高齢者対象の受講しかない。労働者は参加できる時間帯に設定されていない。
✓地域づくりの研修が行われている。 ✓歴史の講座や寸劇発表会がある。 ✓カルチャー教室が行われている。	50～59歳	✓そのような機会が無い。 ✓コロナ影響で自粛気味。 ✓目新しさがない。
✓地域の役員は最大限の努力をしている。 ✓市報で募集がある。 ✓地域公民館にて様々な行事を行っている。	60～64歳	✓魅力的な活動をもっと取り入れていく必要がある。 ✓回覧板を見る限り少ない。 ✓参加する人が少なく不十分。 ✓もっと長野市のことを学びたい。
✓広報などで多くの情報が発信されているのは知っている。 ✓各種市民講座のメニューが多く機会は提供されているが今年はコロナ影響で半減している。 ✓住自協の活動を行っている。	65～69歳	✓地域づくりの主体は住民自治協議会が担っている。 ✓ある程度はあるが、一般のカルチャーセンターなども活用できる方が良い。
	70歳以上	✓講座は多くなってきているが、最近は地域づくりの重点が薄くなっている。 ✓地域づくりは人づくりと思うので地域福祉推進組織などの連携をはかり活動するなど、公民館活動内容の見直しが必要と思う。

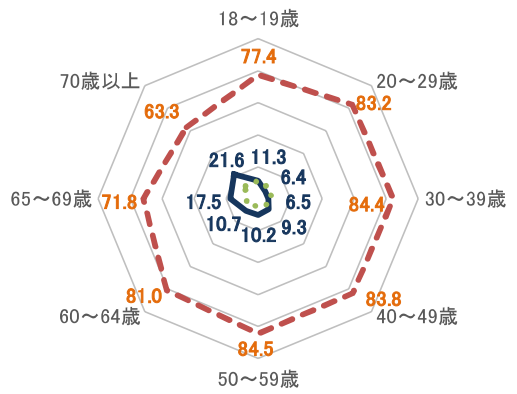
【区分】	○
【指標名】	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	18.1%	15.6%	14.6%	13.1%
否定的評価割合	71.8%	76.7%	76.3%	76.8%
評価保留割合	7.4%	5.1%	6.2%	8.0%

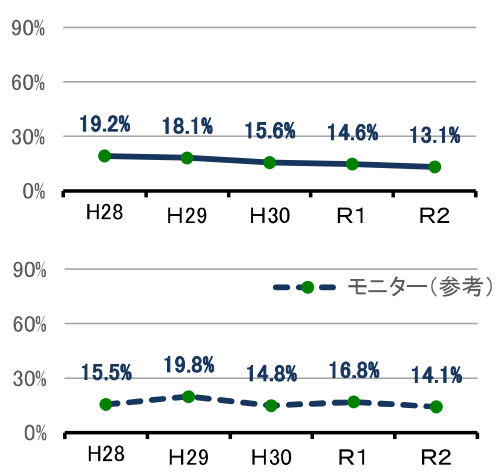
現状値 (H28)	目標 (R3)	19.2%	↗
平均値 (H29～R2)		15.4%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
	19歳以下	✓ 地区での活動がほぼない。 ✓ そもそも学んだことがない。
	20～29歳	✓ 公民館にいかない。
	30～39歳	✓ 学ぶ機会がなかった。 ✓ 参加したいが情報が無い。
	40～49歳	✓ 参加できる時間帯に設定されていないため活かす以前の問題。 ✓ 地域作りの学びを受けたことがない。
✓ 出来ることはしているが、今年は新型コロナウイルスのおかげでイベントが無い。 ✓ とり入れられる事は実践している。	50～59歳	✓ 公民館で学んだことがない。 ✓ 公民館に行くことがない。 ✓ 学ぶ機会が無い。
✓ 活かす努力はしている。 ✓ ボランティアをするときに生かしている。 ✓ その場だけで終わらないように周りの方にも意識を呼びかけている。	60～64歳	✓ そもそも公民館で学んでいない。 ✓ 機会が無い。
✓ 活動の中で培った人間関係は貴重である。 ✓ 福祉会役員として活動している。	65～69歳	✓ どうしたらよいか分からない。
✓ 前に学んだ事を活かしている。「豊岡・栃原・祖山地区の活性化を考える会」の設立など。 ✓ 学んだことは必ず文書化して役員に配布したり、いろんな集会に内容を披露し、お年寄りに喜んでいただいている。 ✓ 現在は、地域の文化・歴史等、勉強中なのでこれからの地域活性化の為、何が出来るか考えていきたい。 ✓ 友人や地域の人に参加するよう呼び掛けている。	70歳以上	✓ 地域づくりに生かせる学びではなかった。 ✓ 特に関連性を意識していない。 ✓ 公民館で学んでいない。 ✓ 公民館にいかない。

【施策コード／施策名】 5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援	【担当部局】 文化スポーツ振興部
--------------------------------------	---------------------

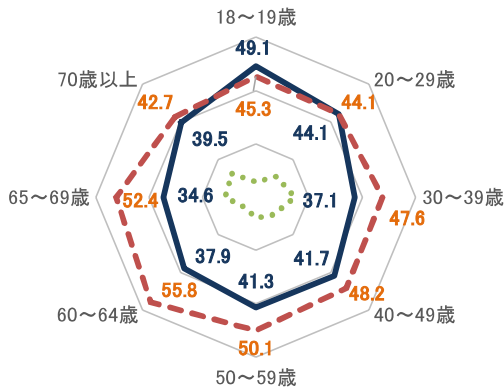
【区分】	【指標名】
●	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	39.6%	40.6%	40.7%	39.6%
否定的評価割合	47.2%	46.1%	47.7%	47.7%
評価保留割合	10.9%	11.1%	9.5%	10.4%

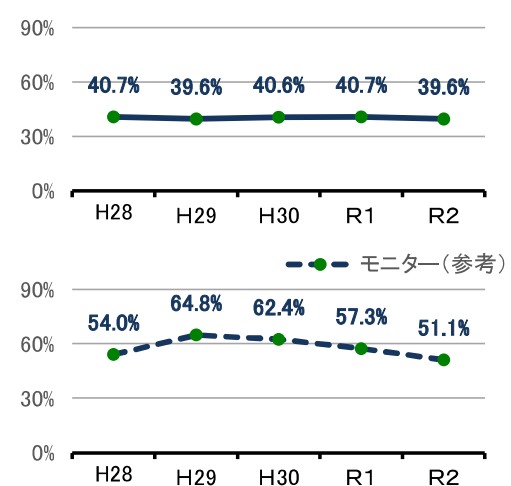
現状値 (H28)	目標 (R3)	40.7%	
平均値 (H29～R2)		40.1%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓美術館が近くにある。 ✓美術館は多いが演劇は少ない気がする。 ✓コンサート等の開催が多い。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓開催の機会が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓市民芸術館がある。 ✓芸術鑑賞の前を通るとたくさんのが観れるのだと分かった。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり身近にない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓市民ホールとホクト文化会館がある。 ✓長野市芸術館などがある。 ✓イベントなど、充実している。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加したいが情報が無い。 ✓行ったことがないし子連れは行けない。 ✓サポートが少ない、公共施設の使用料が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓文化会館や芸術館など、大きなホールがある。 ✓小学校の金管バンドに子供が入っているので聞かに行くことが多い。 ✓市民芸術館含めハード・ソフト両面で整っていると感じる。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓価格が高い。 ✓気軽とは言えない。 ✓和式トイレがない会館があり、気軽に安心して楽しめる環境にない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓芸術館におけるワンコインコンサートは気軽に参加できそう。 ✓公民館でお届け芸術館が開催された。 ✓市民芸術館ができたことで高水準の音楽に触れる機会が増えた。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ禍で行けない。 ✓芸術館が活かされていない。 ✓市民割引とかあれば行きやすい。 ✓南部にも環境を整えて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓文化ホール・芸術館が整備されている。 ✓芸術館ができた。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓気軽にはできない。
	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓支援体制が不十分。
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野芸術館・美術館も長野市には多くあり、恵まれている。 ✓芸術館をはじめ大きな文化施設で一流の芸術に触れ、地域の公民館などで身近な文化に触れることができている。 ✓市民芸術館のPRや活動が有効である。 ✓県民文化会館や芸術館が充実している。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓近くには余り機会がない。 ✓気軽では無い。 ✓市民芸術館を中心に行われているが、利用しにくく料金も高い。 ✓各種イベントの紹介は少ない。 ✓市街地は良いだろうが、中山間地は芸術等の施設に行きにくい。

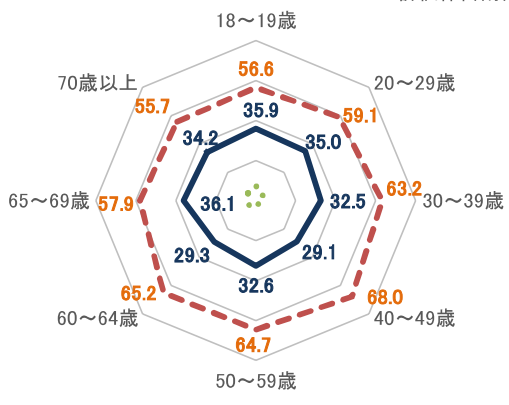
【区分】	○
【指標名】	音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	37.1%	35.1%	33.0%	32.6%
否定的評価割合	56.1%	60.1%	61.3%	61.4%
評価保留割合	4.4%	2.4%	2.6%	3.8%

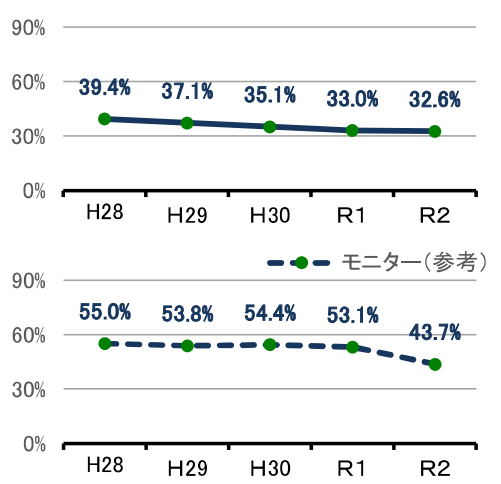
現状値 (H28)	目標 (R3)	39.4%	
平均値 (H29~R2)		34.5%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

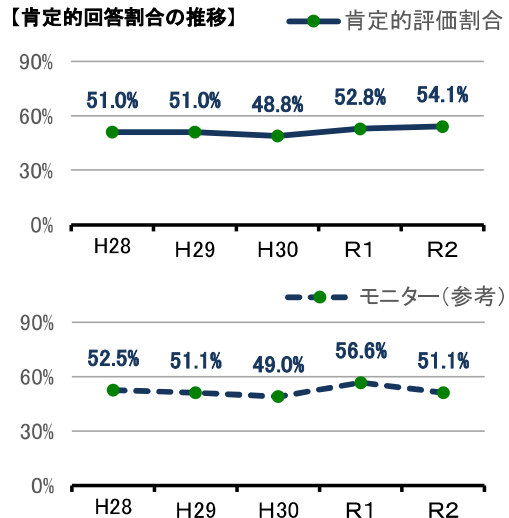
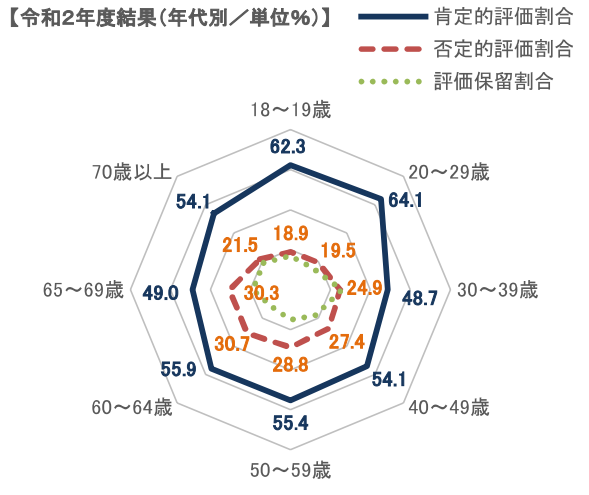
【モニターの主な否定的意見】

<ul style="list-style-type: none"> ✓吹奏楽班に所属していた。 ✓趣味である。 ✓音楽は好き。 ✓ギターをやっている。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓好きなイベントがあれば参加する。 ✓多くの企画展やコンサート等が開催されており、興味のあるものには参加している。 ✓信濃美術館のオープンが楽しみ。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓公的な場所での楽しみはない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓好きなイベントがあれば参加する。 ✓多くの企画展やコンサート等が開催されており、興味のあるものには参加している。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓余裕がない。 ✓独身時代は好きだったが、子育てが始まってからは時間がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓信濃美術館のオープンが楽しみ。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓文化芸術にあまり興味がない。 ✓する暇がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓音楽に親しむ機会があれば参加している。 ✓コンサート等に積極的に足を運んでいる。 ✓劇団員として活動している。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓忙しい。 ✓そんな時間がない。生きていくのに精一杯。
<ul style="list-style-type: none"> ✓芸術鑑賞は行っている。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓興味は有るが、親しんでいない。 ✓今は生活が忙しくてできない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ピアノを習っている。 ✓限られた時間の中でできる限り音楽、美術に接するよう心掛けている。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓興味がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓大いに興味がありますので機会が増えるといい。 ✓音楽や演劇・芸能など好きなジャンルで機会を見て楽しんでいる。 ✓永年の写真撮影や写真展開催をライフワークにしている。 ✓クラシック音楽会や絵画展、自らも写真展を開催している。 ✓演奏、文学関係に関わっているものが家族にいる。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に希望がなく、機会がない。 ✓ちょっと縁遠い。 ✓日々のことに追われている。 ✓関心がない。 ✓機会が無い。 ✓必要性は感じている。

【区分】	●
【指標名】	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	51.0%	48.8%	52.8%	54.1%
否定的評価割合	28.3%	26.4%	27.4%	25.6%
評価保留割合	18.7%	22.4%	17.5%	18.0%

現状値 (H28)	目標 (R3)	51.0%	
平均値 (H29～R2)		51.7%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓遺産が綺麗に保たれているのが見て分かる。 ✓古くからの文化財を丁寧に保存できているように感じる。	19歳以下	
✓ご開帳も更に翌年にして、大事をとっていいと思う。 ✓きちんと保存はされている。	20～29歳	
✓善光寺など保存されているところが多い。 ✓地区の神楽など若い人も参加し継承されていると感じる。	30～39歳	✓とても素敵な文化財があるので効率よく回れるツアーなど、もっとアピールしてほしい。 ✓中山間地域で徐々に失われているように感じる。
✓環境は多い。 ✓御神楽などの団体が盛んである。 ✓松代や古戦場でも一般に公開されている。	40～49歳	✓かなり前に作成された説明看板などはかすれて読みにくくなっているものが多い。 ✓地域の歴史を自分も含めて知らない。
✓GWの様々なイベント、各地区の祭りは毎年楽しみにしており、継承されていくと感じている。 ✓古墳等、保存会が活動されている。 ✓神輿が保存されているし、他に比べ祭りも頑張っている。	50～59歳	✓後継者がいない。
✓獅子舞フェスライバル等の催し物が開催されている。 ✓保管庫や記録がある。数年に一度公開されることも(虫干しかねて)ある。	60～64歳	✓予算を取らないと無理だと思う。 ✓資金不足や人材不足が課題である。
✓古文書管理センターがある。 ✓地域の主要な文化財の保全、周辺環境整備に積極的に取り組んでいる。	65～69歳	✓一部ではされているが、身近なものではできていない。
✓当地域としては基句まつりや菊花展が行われている。 ✓公民館の各種講座などで色々の地域の文化財に触れることができるが、そういう機会がないと文化財そのものの存在にも気づかずにいた。	70歳以上	✓存在が本当に必要なものなのか検討の上で保存等の活動をしていないことへの危惧。 ✓いくつかの取組みは市広報で承知しているが、体系的にながどこにあるか、どのように活用されているかは知らない。

【施策コード／施策名】
5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

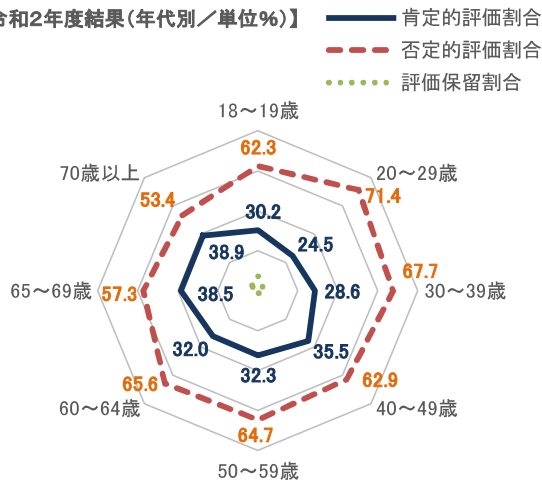
【担当部局】
教育委員会、文化スポーツ振興部

【区分】 ○ 【指標名】 地域の伝統的な行事に参加している

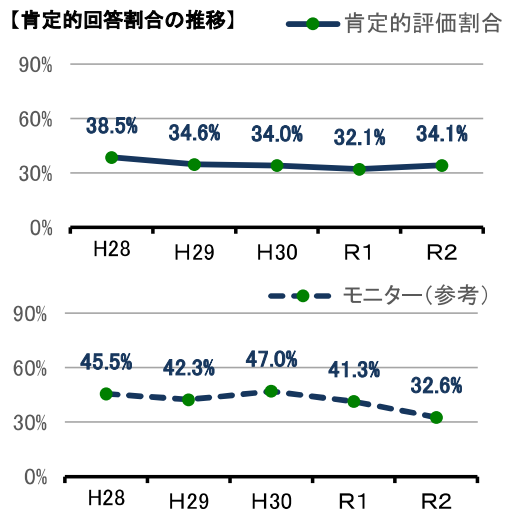
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	34.6%	34.0%	32.1%	34.1%
否定的評価割合	58.9%	61.5%	62.3%	61.3%
評価保留割合	3.9%	2.0%	2.4%	2.6%

現状値 (H28)	目標 (R3)	38.5%	↑
平均値 (H29～R2)		33.7%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

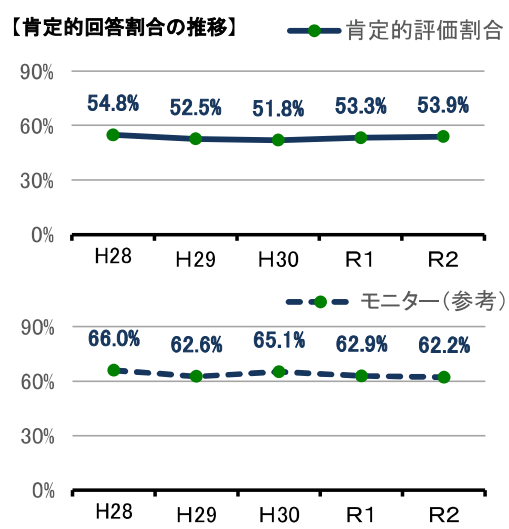
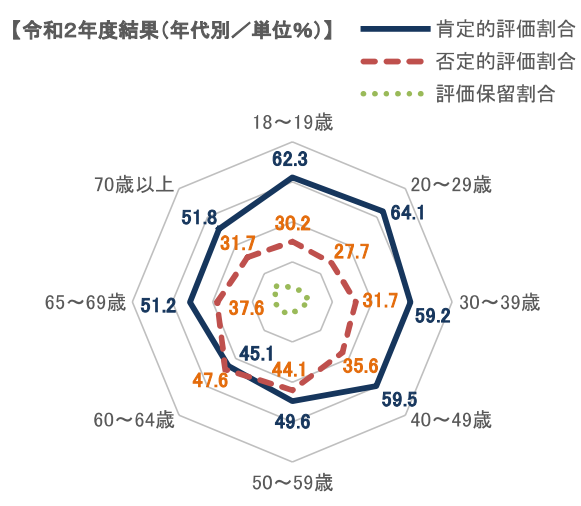
【モニターの主な否定的意見】

	19歳以下	
	20～29歳	✓あまり関わりがない。
✓保存会に参加している。 ✓お祭りなどには参加している。	30～39歳	✓大好きなお祭りがかなり中止になった。 ✓機会がない。 ✓役員等でない限りは参加していない。
✓夫が祭り当番になり参加したり(昨年)、行事の手伝いをしてしている。 ✓お祭りなど参加している。 ✓参加できるものは、極力参加している。 ✓地区のどんど焼きなどに参加している。 ✓小学生の子供がいるので自動的に参加できる。 ✓夏祭りのみ参加している。	40～49歳	✓伝統行事が無い。 ✓子供が小さい時には参加していたが、ここ数年はない。 ✓参加環境がない。 ✓地域の伝統的な行事は昔から暮らしている住民だけで、引っ越してきた人達は参加できない。
✓春のお祭り等参加している。 ✓子供が関係する行事であれば参加している。 ✓地域の神楽保存会などに顔を出している。	50～59歳	✓子供が小さいうちはどんど焼きや2年参りに行ったが、近年は全く行かなくなった。 ✓平日に催されるものが多く、あまり参加できない。 ✓土着の人間でないので、そもそもお誘いが薄弱。
✓役員として参加している。 ✓小さい子供がいれば参加の機会も多いと思うが、今は役割分担が有るときくらい。	60～64歳	✓地区の役員でなければ参加しない。 ✓参加したいとは思っている。 ✓機会が無い。
✓地元の交流に活用している。 ✓秋祭りに参加している。 ✓お祭り、盆踊りは参加している。	65～69歳	✓伝統的な行事がない。
✓地域の獅子舞いに参加している。 ✓神社仏閣・フェスティバル等のイベントには積極的に参加している。 ✓神楽などの保存会に加入している。 ✓特に神事については積極的に参加している。	70歳以上	✓観る程度で、参加とは言えない。 ✓特に希望がない。機会がない。 ✓体力的に無理。 ✓機会がない。

【区分】 ●	【指標名】 スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
------------------	--

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	52.5%	51.8%	53.3%	53.9%
否定的評価割合	37.1%	37.6%	38.0%	36.1%
評価保留割合	8.3%	8.2%	6.8%	7.9%

現状値 (H28)	目標 (R3)	54.8%	↗
平均値 (H29～R2)		52.9%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ハイキングなど楽しんでいる人が多い。 ✓公園があって野外で活動できる。 ✓公園での施設が整っている。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓施設がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓道もしっかりして歩きやすい。 ✓ジムが多い。 ✓走っている人が多い。 	20～29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓運動公園が近くにあり、アクアウィングの事務やプールも安価に利用できる。 ✓スポーツ施設が充実している。 ✓公園が多い。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓スポーツ会場のアクセスが悪い、この車社会で駐車場が使えないなら移動が不便。 ✓サポートに積極的でない、既得権を守ろうとしている。 ✓参加したいが情報が無い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓スポーツジムや教室が多くある。 ✓スタジアムごとに整っている。 ✓環境は多い。 ✓運動公園が整備されている。 ✓小学校の体育館を貸して頂けるため、ありがたい。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓スケートボード場など苦情の先読みをしすぎて規則で縛りすぎている。 ✓運動施設が近くにない。 ✓場所が少ない。休日などは大会関係が多く、駐車場に入れない。公共交通機関もない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓テニスコートも安く利用でき、河川のウォーキングコースも整備されて、利用している。 ✓地域内に社会体育館やマレットゴルフ場がある。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓郊外なので気軽にはいけない。 ✓松代町には、そういう施設がほとんどない。 ✓社会体育館が抽選でなかなか当たらない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓スポーツや体を動かせる環境は整っている。 ✓環境は整いつつあると思うが、気軽にという部分については意識改革が必要である。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓体育館の利用思い通りの利用日が取れない。 ✓気軽にはできていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓テニスコート、体育館等の使用は盛んである。 ✓運動公園がある。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓施設が足りない。 ✓施設が少なく気軽にはいけない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓グラウンドや体育館等施設としてはそろっている。 ✓長野市全体を見れば環境は十分とまでは言えないが、それなりの環境はある。 ✓体育館やグラウンドの施設が多くある。 ✓各種運動場の整備が進んでいる。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓サッカー場が無駄である。 ✓大きな施設は十分そろっているが、高齢者が近場で季節や天候に左右されず利用できる施設となると疑問である。

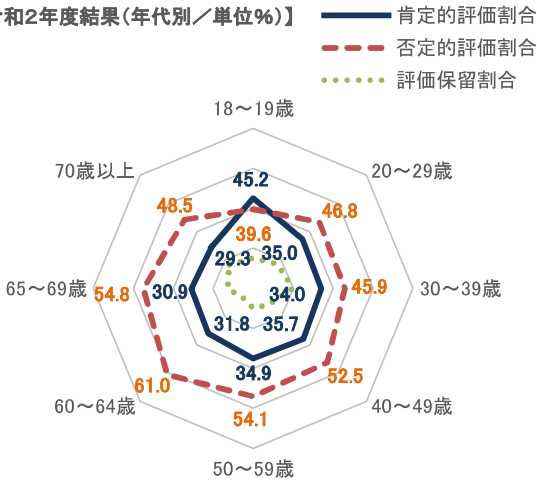
【施策コード／施策名】 5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進	【担当部局】 文化スポーツ振興部
--------------------------------------	---------------------

【区分】	【指標名】
●	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている

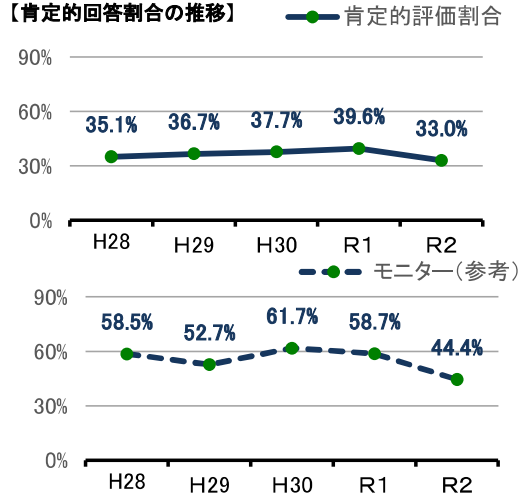
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	36.7%	37.7%	39.6%	33.0%
否定的評価割合	47.1%	45.7%	46.7%	51.2%
評価保留割合	14.5%	14.2%	11.8%	13.7%

現状値 (H28)	目標 (R3)	35.1%	
平均値 (H29～R2)		36.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓スケートなど強い。	19歳以下	✓観戦する機会はほとんどない。
✓以前より行われている。	20～29歳	✓今年は中止が多い。
✓野球サッカーバスケの地域チームが盛り上がっている。	30～39歳	✓参加したいが情報がない。
✓スポーツ施設が充実している。	30～39歳	✓ほとんど行われていない。都会に比べるとプロスポーツと触れ合う機会が少なすぎる。
✓野球などプロチームがある。	30～39歳	✓消極的、松本などと比べて遅れている。
✓バスケやサッカーが盛り上がっている。	40～49歳	✓サッカー以外のプロスポーツを行っているか情報が少ない。
✓野球やサッカー、バスケなど、地域で盛んである。	40～49歳	✓市内(市街地)からはちょっと遠い。
✓サッカー、バスケの話題は日常的に情報が入る印象	40～49歳	✓今年は新型コロナウイルスにより、すべての行事が中止されている為難しい。
✓盛んである。	40～49歳	✓長野市は盛んではないと感じる。
✓信州ブレイブウォリアーズはとてもいい成績を残し今後も応援していきたいと思っている。長野市と千曲市で盛り上げていきたい。	50～59歳	✓ウィンタースポーツは少ない。
✓観戦を楽しむ人も増えて盛んになっている。	50～59歳	✓行ってみると楽しいものなので興味を持ってもらうために上手な宣伝、広報が必要である。
✓ウィンタースポーツ以外の競技大会も盛んである。	50～59歳	✓もっと色々な競技の大会があれば良い。
✓各競技施設は時期になるとにぎわっている。公共交通の不便や交通渋滞がある。松本市のように住民一体となれば盛り上がるのと思う。	60～64歳	✓関心がない。
✓地域密着型のスポーツ活動の支援。	60～64歳	✓プロの大会など機会は多くなってきている、サッカーは中途半端な状態と思われる。
✓サッカーとバスケが盛んである。	65～69歳	✓野球、サッカーくらいである。
✓市民を積極的に勧誘する活動をしている。	70歳以上	✓プロスポーツは物足りない。
✓長野スタジアムをはじめ、体育館、冬季オリンピックの遺産を引き継いでいることが大きい。	70歳以上	
✓地元のプロスポーツが誕生しそれを応援する組織が構築されだしており、着実に実力もつけながら更にメジャーに育っていくことに期待している。そんな中で国際競技などの誘致が未だできていないのが残念であるため、今後の企画に期待したい。	70歳以上	

【施策コード／施策名】 5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進	【担当部局】 文化スポーツ振興部
--------------------------------------	---------------------

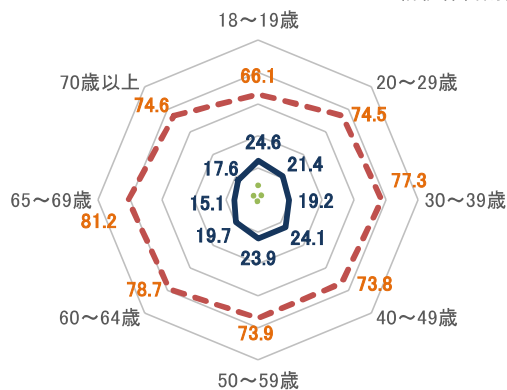
【区分】	【指標名】
○	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	19.7%	20.8%	19.5%	20.4%
否定的評価割合	73.9%	74.4%	75.5%	75.3%
評価保留割合	3.7%	1.9%	2.0%	2.4%

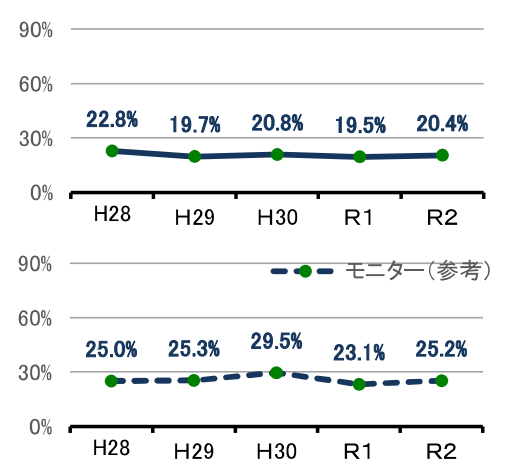
現状値 (H28)	目標 (R3)	22.8%	
平均値 (H29～R2)		20.1%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



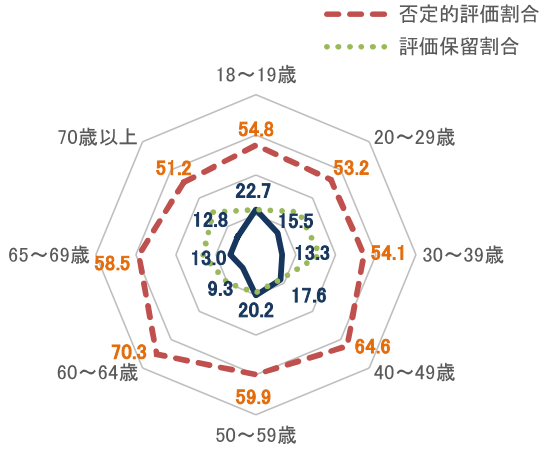
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓近くで開催されればバスケの大会は観に行く。	19歳以下	✓そこまでスポーツが好きではない。
✓バスケやサッカーが充実している。	20~29歳	✓機会がない。
✓好きなイベントがあれば参加している。	30~39歳	✓参加していない。子供の興味のあるスポーツを観戦したいと思っている。
✓プロスポーツが開催されれば観戦したいと考えている。	30~39歳	✓スポーツするのは好きだが見に行くことはない。
✓会社でスポンサーをしていることもあり、時々観戦に行く。	30~39歳	✓スポーツが嫌い。
✓アイスホッケーの試合があるときだけ観戦に行く。	40~49歳	✓余裕もお金もない。
✓ファンではないので入場無料のときに参加している。	40~49歳	✓あまり興味を持ってない。
✓コロナで今年はまだだが、子どもの大会が来月からあるので観戦する。	40~49歳	✓スポーツ観戦が好きじゃない。
✓信州ブレイブウォーリアーズの試合には、何回か参戦している。選手との距離が近いのが魅力である。	50~59歳	✓忙しくてできない。
✓スポーツを通じた交流拡大したい。	50~59歳	✓観戦したい競技が無い。
✓観るのは好きだが出かける事が少なくなった。最近では出かけるまでも観たいと思うものがない。	50~59歳	✓陸上をやっていた娘が進学して家を出ると自分一人では行っていない。
	60~64歳	✓ラグビーワールドカップに調布までは出かけるが、市内ではあまりない。
	60~64歳	✓興味は有るが観戦していないが、今後は観戦したい。
	65~69歳	✓予定が立てられず遠のいている。
	65~69歳	✓機会が合えば考える。
	65~69歳	✓関心がない。
	65~69歳	✓興味がない。
✓野球、サッカーを観戦している。	70歳以上	✓体力的に無理である。
✓長野Uスタジアム等でのサッカー観戦が主である。	70歳以上	✓関心がない。
✓エムウェーブや南長野運動公園を主に機会を見て参加するようにしている。	70歳以上	✓特に希望がなく、機会がない。
	70歳以上	✓プロスポーツには興味がない。

【区分】	【指標名】
●	国際交流が盛んに行われている

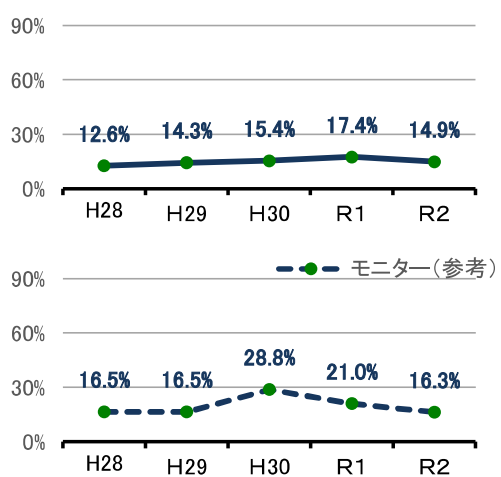
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	14.3%	15.4%	17.4%	14.9%
否定的評価割合	58.0%	56.1%	57.4%	57.9%
評価保留割合	25.9%	26.4%	23.0%	24.8%

現状値 (H28)	目標 (R3)	12.6%	↗
平均値 (H29～R2)		15.5%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓学校などで国際交流など行った。	19歳以下	✓気づいてないだけかと思うが、目立った国際交流が見受けられない。 ✓交流事業を見た事がない。
	20～29歳	✓分からない。 ✓国際的な場に行かないと無いと思う。
✓外国人との交流会がある。 ✓ウィンターシーズンを中心に白馬や志賀等へのハブとしての機能を発揮している。	30～39歳	✓情報を見ない。 ✓具体的な活動を見聞きしない。 ✓国際交流に携わる機会はあまりない。
✓インバウンド需要がすごい。 ✓海外に姉妹都市があり、子どもたちも交流できる。 ✓環境は多いと思う。	40～49歳	✓今は国際交流を止めたほうが良い。 ✓コロナだから今はだめである。 ✓身近に感じない。 ✓新型コロナウイルスの影響がある。 ✓特に国際的な何かの催しはない。
✓外国人の方を見かけることが以前より多くなったと感じるので、長野市の魅力を発信できるように心掛けたい。 ✓インバウンドも含め熱心に取り組んでいる人たちがいる。 ✓有志でワークキャンプ等が行われている。	50～59歳	✓旅行者以外の外国人は多く見ない。 ✓観光客に頼りすぎ。 ✓難しいと思う。 ✓そのような機会が無い。 ✓昔は行われていたように思うが、今は感じない。 ✓長野オリンピックの頃は盛んだった。
✓職場では、盛んに行われている。 ✓盛んに行われているのだろうと想像するが、自分が関わっていないので良くわからない。 ✓姉妹都市・友好都市の交流がある。	60～64歳	✓外国人をあまり見かけない。外国人と接するイベントを開催したらどうか。 ✓盛り上がり欠けるのは県民性か？ ✓交流イベント案内をあまり見なくなった。
	65～69歳	✓外人は増えたが、交流までは至っていない。
✓盛んに行われていると思う。 ✓外国の人との交流が多い。 ✓ウィンタースポーツなどで交流がある。	70歳以上	✓余りないように思う。 ✓数年に一度ではなく、少なくとも1年に1回程度(1か月間ぐらい)のキャンペーンは必要だと思う。

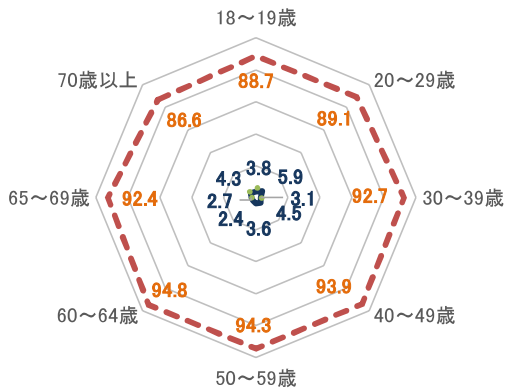
【区分】	○
【指標名】	国際交流イベントに参加している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	4.8%	3.9%	3.7%	3.9%
否定的評価割合	86.4%	90.4%	90.1%	91.3%
評価保留割合	6.2%	3.2%	3.3%	3.1%

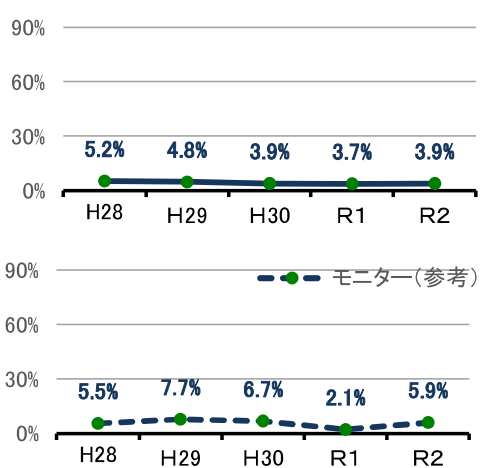
現状値 (H28)	目標 (R3)	5.2%	↗
平均値 (H29～R2)		4.1%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓交流会がある。	19歳以下	✓機会がない。 ✓市内でそのようなイベントがあるとは知らなかった。 ✓興味がない。
✓機会があれば交流したい。	20～29歳	✓参加していない。 ✓イベントがあるのを知らなかった。 ✓あまり関わりがない。
✓ゲートボール大会にワークキャンプ(外国人)が参加して一緒に楽しんだ。	30～39歳	✓特に興味はない。 ✓興味はあるが参加していない。 ✓具体的な国際交流イベントを知らない。 ✓余裕がない。
✓興味がある。 ✓定期的に交流している。 ✓職場で行っている。	40～49歳	✓興味があまりなく実状も知らない。 ✓出来ていない。 ✓興味はあるが、その機会がない。
✓努力している。	50～59歳	✓参加していない。 ✓今年は新型コロナウイルスのおかげでイベントが無い。 ✓情報が無い。 ✓人とかかわるのは面倒である。
	60～64歳	✓接点がない。 ✓どんなイベントがあるのか知らない。積極的に情報を得ようとせず反省している。 ✓語学力が得意でない。 ✓外国の人が怖い。
	65～69歳	✓機会がない。 ✓知らない。
	70歳以上	✓参加していない。 ✓現在まで経験なし。機会があれば参加してみたい。 ✓関わりが薄い。

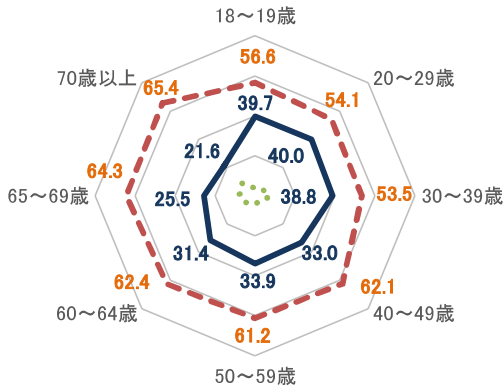
【区分】	○
【指標名】	外国の文化や習慣を理解しようと努めている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	32.5%	29.3%	27.7%	30.5%
否定的評価割合	58.6%	63.6%	64.4%	61.3%
評価保留割合	6.4%	4.6%	4.8%	6.3%

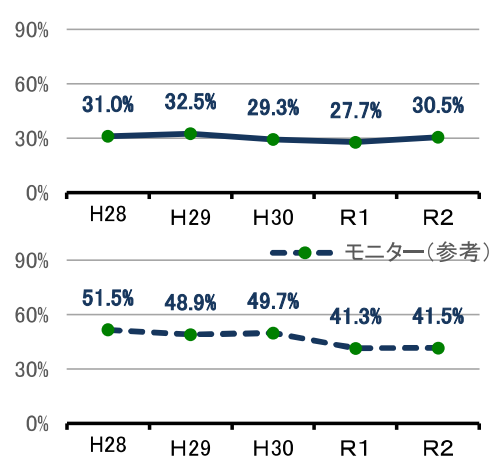
現状値 (H28)	目標 (R3)	31.0%	↗
平均値 (H29～R2)		20.0%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓大学の授業を通して学んでいる。 ✓理解しようと努めている。 ✓海外の面白い習慣には興味がある。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓考えてはいない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓文化を知るのは楽しい。 ✓本を読んだりネットで調べたりしている。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓文化について知ることがない。 ✓関心がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓海外に行った時に交流している。 ✓外国人社員(同僚)の世話をしている。 ✓できるだけ、他国の文化など学びたい。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓身近に外国人はいなく、興味がない。 ✓知りたいが情報が無い。 ✓なるべく日本で済ませたい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓外国人の友人が多い。 ✓単純に興味があるし、尊重したい気持ちが大きい。 ✓外国人との触れ合いが多い。 ✓仕事上も必要である。 ✓海外ニュースは毎日見ている。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓出来ていない。 ✓意識していない。 ✓あまり機会がない。 ✓そのような意識がない。 ✓興味がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓英語指導の上で理解が必要である。 ✓興味がある。 ✓旅行で外国に行っていたが、今は行けない。 ✓職業柄努めている。 ✓イスラム文化研究会に参加している。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓人とかかわるのは面倒である。 ✓機会がない。 ✓特に何もしていない。 ✓意識して取り組んだことはない。 ✓そこまでは努めていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ボランティアで海外の方に接することが多い。 ✓尊重している。 ✓興味がある。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に必要が無いので、理解しようと努力していない。 ✓機会がない。 ✓していない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓英国人の英会話レッスンを受けている。 ✓関心はあり、努めている。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓していない。 ✓TV、本などは興味がある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓テレビ、本などで理解しようと努めている。 ✓人権問題とも絡めて外国の習慣、文化を理解することの大切さは理解している。 ✓教養の一環として努めている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に希望がなく、機会がない。 ✓とくにはしていない。 ✓海外との交流が近年ない。

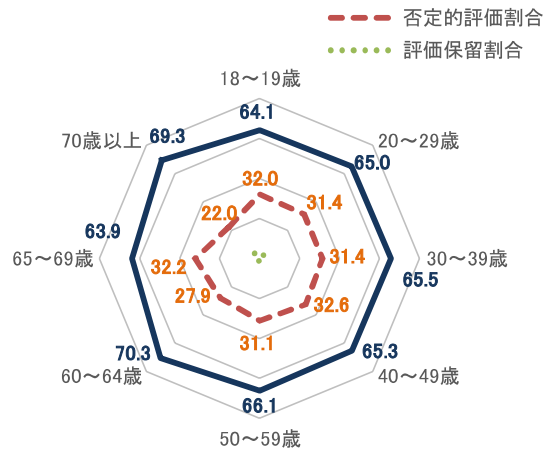
【施策コード／施策名】 6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進 6-1-2 インバウンドの推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

【区分】	【指標名】
●	長野市は、魅力的な観光都市である

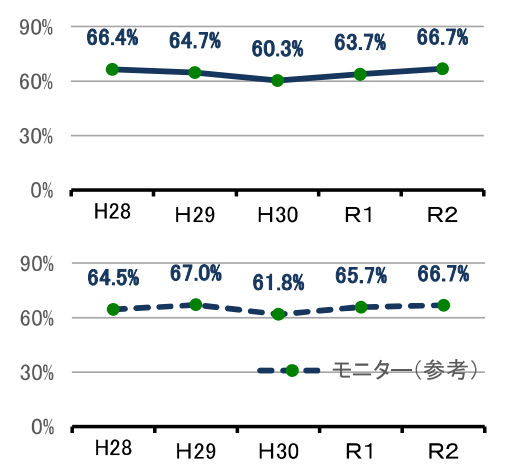
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	64.7%	60.3%	63.7%	66.7%
否定的評価割合	31.5%	34.6%	31.6%	28.8%
評価保留割合	2.2%	2.0%	2.7%	2.5%

現状値 (H28)	目標 (R3)	66.4%	
平均値 (H29~R1)		63.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓とてもいいところだと思う。 ✓観光客は多いと思う。 ✓善光寺がある。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓魅力ある観光スポットがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然、文化がたくさんある。 ✓観光するところが多い。 ✓善光寺や山や川などいろいろとある。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓一部だけである。
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺や戸隠など観光資源が多い。 ✓善光寺や戸隠神社は、年配の方も若い方も楽しめるスポットだと思う。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺と戸隠だけである。 ✓どこを観光して良いのかわからない。 ✓自然、善光寺以外思いつかない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓文化・芸術・観光面での資源・財産がある。 ✓観光地がある。 ✓観光資源が豊富で新幹線が通っている。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺はとても良い観光場所だが、門前町・駐車場・長野駅からの交通が不便なので魅力的ではない。 ✓善光寺以外何を紹介すれば良いかわからない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓他県の人から見ても長野市は観光、食べ物など知名度が高い。 ✓善光寺や戸隠などの「ブランド」がある。 ✓名所・旧跡が多い。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓観光都市という言葉が合っているかわからない。 ✓善行寺や戸隠・松代などあるものの積極的にアピールできていない。 ✓観光客を迎えるという意識が低い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓誇れる歴史と自然がある。人情と安心で安全な食もプラスされる。 ✓自然が多い。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓単なる中継地。 ✓魅力となるものが思い当たらない。 ✓善光寺以外の観光スポットが少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓四季を通して魅力があると思う。 ✓通年で客が多い。 ✓善光寺等の名所旧跡がある。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺観光からの広がりが無い。豊かな自然環境の活用がいま一步である。 ✓観光資源を活かしきれていない。連携を強化すべき。
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然を始め善光寺、美術館など魅力十分。 ✓全国から観光客がたくさん訪れている。 ✓善光寺、美術館、松代、戸隠等々良い所が沢山ある。 ✓善光寺中心の観光から、自然環境を活かした観光に切り替わってきている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分自身が長野市の中にどっぷりと浸かっているためにわからないのか、観光都市としての魅力はないように思える。 ✓観光都市としては、市民目線でみると魅力的な目玉が少ないように思う。

【施策コード／施策名】 6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進	【担当部局】 商工観光部
--	-----------------

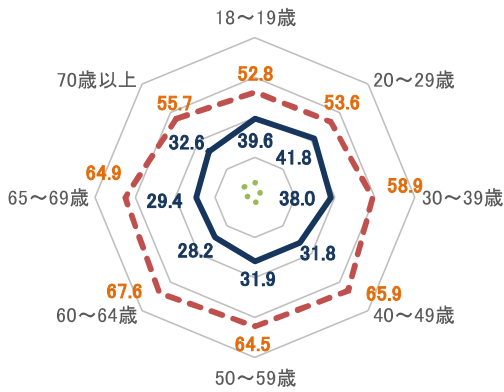
【区分】	【指標名】
○	知人や友人などに地域の魅力を伝えている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	35.8%	32.3%	30.9%	32.9%
否定的評価割合	56.7%	61.7%	62.1%	61.0%
評価保留割合	4.9%	3.4%	3.8%	4.0%

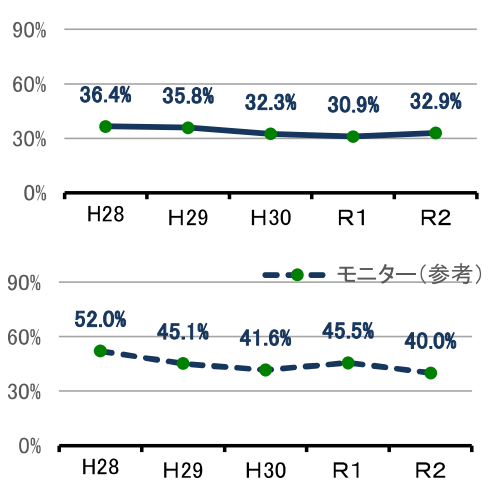
現状値 (H28)	目標 (R3)	36.4%	
平均値 (H29~R2)		33.0%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ 伝えている。	19歳以下	✓ 機会がない。
✓ 長野は住みやすいとは伝える。	20~29歳	✓ 友人知人がいない。
✓ 招くようにしている。 ✓ SNSなどで発信している。 ✓ 市外の人には積極的に伝えるようにしている。	30~39歳	✓ 魅力がわからない。 ✓ あまり機会がない。 ✓ あまり話題にするほど魅力は感じない。
✓ 県外の友人達に長野のお土産や特産物を送るようにしている。 ✓ 長野に住んでいるからこそ分かる、観光の穴場などを教えている。 ✓ 首都圏の人に伝えている。 ✓ 県外に友人が多く、魅力を伝えている。	40~49歳	✓ 出ていない。 ✓ 意識したことがない。 ✓ 県外や市外の人と頻繁に会うことがない。 ✓ 魅力的ではない。 ✓ 地元出身者ばかりで必要ない。
✓ 他県で働いているので、そこで伝えている。 ✓ 観光のおすすめや伝統の食べ物など積極的に勧めたりしている。 ✓ SNSなどで発信している。 ✓ 自然や農産物について伝えている。	50~59歳	✓ そこまで考えていない。 ✓ 伝えられるような魅力を思いつかない。 ✓ 学生時代の友人などに紹介する程度である。 ✓ そういう話題を取り上げない。
✓ 伝える機会があるので、その度に伝えている。 ✓ 学会で紹介している。 ✓ ボランティアガイドをしている。	60~64歳	✓ 自分から積極的に伝える事はしない。 ✓ 機会が無い。
✓ おやき、菓子など土産にしている。 ✓ 広報誌の発行、イベント等を積極的に行っている。	65~69歳	✓ あまり人付き合いをしていないので、機会がない。 ✓ 面倒でしていない。
✓ 地元の歴史を学んで、話すことが出来る。 ✓ 出身郷土の友人・知人との友好関係の中で、季節毎のイベントや特産品(桃・リンゴ・栗他)等、折に触れ信州の良さを紹介し時には、遠方より旅行を兼ねた企画をし、招待したりしている。 ✓ 自分でも地域のことを学びたいと思うようになった。 ✓ 信州の魅力について、写真を通して紹介している。	70歳以上	✓ 地域行政の動きとか話題になっていることは仲間や役員の人たちに伝えるようにしているが、地域の良いところ、魅力的なところという視点で話題にはしていない。 ✓ 機会がない。 ✓ 努力している。

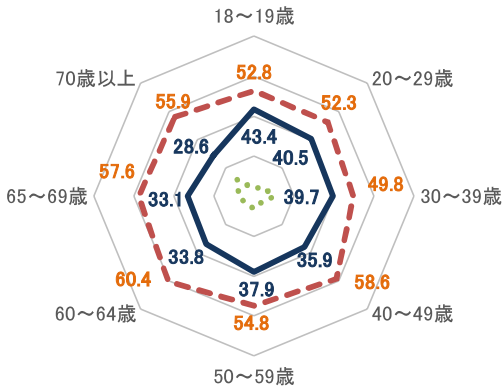
【区分】	○
【指標名】	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	39.1%	33.9%	32.8%	34.7%
否定的評価割合	48.9%	57.0%	57.1%	55.6%
評価保留割合	9.5%	6.6%	7.0%	7.9%

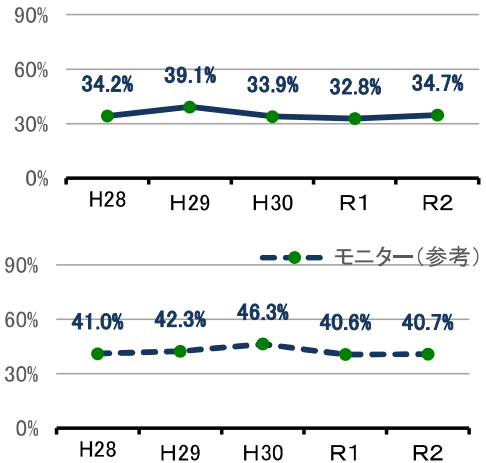
現状値 (H28)	目標 (R3)	34.2%	↗
平均値 (H29～R2)		35.1%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 善光寺で手助けしたことがある。 ✓ している。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 言葉が分からない。 ✓ 機会がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 言葉が通じた時に嬉しい。 ✓ 心がけはしている。 ✓ ゲストハウスという仕事柄、外国人の方と触れ合うため、困ったことにはかなり対応している。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 英語が話せない。 ✓ 何もしていない。 ✓ あまり関わりがない。 ✓ 特に声をかけたことがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分が外国で困っている時に助けられたことがあり、自分もそうしたいと思う。 ✓ 機会があればする。 ✓ たまに駅周辺で助けている。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実際に外国人観光客と出会ったことがない。 ✓ 見かけない。 ✓ 英語に自信がなく積極的になれない。 ✓ 日本語しか分からない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 心がけてはいる。 ✓ 外国人との触れ合いが多いから。 ✓ 英語に自信はないが、助けてあげたい。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そういう場面に出くわした事がない。 ✓ 関わらないようにして、犯罪に巻き込まれたくない。 ✓ 豊野には外国人観光客は来ません。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 声かけをしている。 ✓ 職業柄、行っている。 ✓ 道を聞かれる機会が多い。 ✓ 駅で片言の英語で道案内をした。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外国語ができないので、何もできない自分がいる。 ✓ そういう場面に出くわさない。 ✓ あまり見かけない。 ✓ 電車の中で尋ねられたら答える程度である。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ボランティアガイドである。 ✓ 自分も困ったらたすけてほしい。 ✓ そのために英会話を習い始めた。 ✓ ふれあいが楽しい。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 手助けしたいがコミュニケーションが取れない。 ✓ 言葉が、わからない。 ✓ 市内で見かける機会が少ない。 ✓ 外国語ができないのでなるべくなら遠ざかってしまおう。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 居たら助ける。 ✓ 気持ちは十分にあるが、現実的な場面で行動できるかが不安。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 積極的には行動しない(言葉がわからない)。 ✓ どっちかと言うと避ける。 ✓ 気持ちはあるが機会がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 努めている。 ✓ つたない英語で話しかけたことがあるが、できるだけ心がけたい。 ✓ 度胸でやっている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そのような機会がほとんど無い。 ✓ 外国語が話せないのてつい消極的になる。 ✓ 気持ちはあるが言葉の問題もあり尻込みしている。

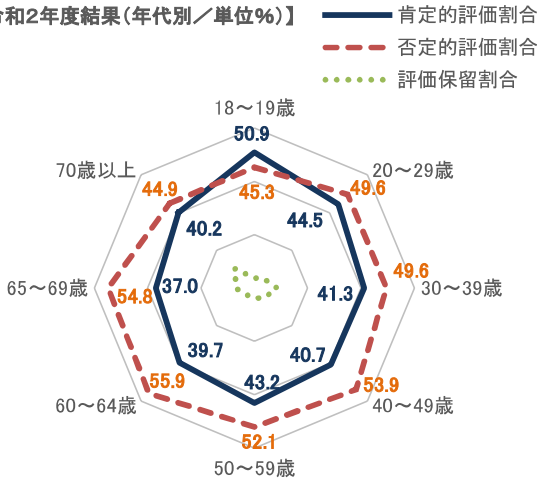
【施策コード／施策名】 6-1-3 コンベンションの誘致促進	【担当部局】 商工観光部
-----------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
●	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている

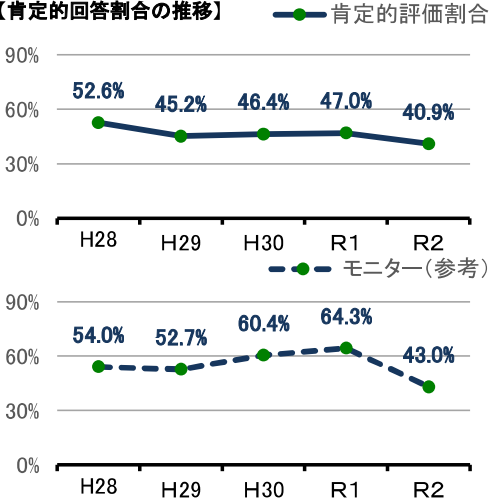
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	45.2%	46.4%	47.0%	40.9%
否定的評価割合	46.0%	45.1%	44.7%	50.5%
評価保留割合	7.1%	5.5%	6.2%	6.7%

現状値 (H28)	目標 (R3)	52.6%	↗
平均値 (H29~R2)		44.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓スポーツイベントは盛り上がっている。
- ✓オリンピック施設が活かされている。
- ✓スケートは絶大だと思う。
- ✓県外からのイベントは人が多かった。
- ✓イベントの時はみんな集まってくる。
- ✓長野マラソンなど。
- ✓活気があると思う。
- ✓野球、サッカー、バスケの地域チームが盛り上がっていると思う。
- ✓Mウェブなどで催し物があると県外車が多くみられる。
- ✓広報や回覧板等を見てそのように感じる。
- ✓開催頻度が増えた。
- ✓GWは駅前を中心にイベントがあり毎日出かけている。冬の中央通りのイルミネーションも楽しみにしている。長野市の職員の方の意気込みを感じる。
- ✓高い知名度の活用。
- ✓新幹線効果で首都圏からも集客している。
- ✓会場近くの店や宿泊による経済効果はある。
- ✓芸術館が出来た。
- ✓国内の大きなイベントや国際大会等が徐々に増えているように見えるが、更に増やすには宿泊施設や交通機関などの更なる整備が必要。
- ✓大きなスポーツ大会の開催により、以前より活性化してきている
- ✓コンサート、スポーツ、いろいろなイベントが行われておりまあまあと思う。

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~64歳
- 65~69歳
- 70歳以上


【モニターの主な否定的意見】

- ✓そこまでにぎわっているように感じない。
- ✓コンサート会場に長野が指定されることが少ない。
- ✓参加したいものがない。
- ✓人気のあるものは長野で開催されない。
- ✓車社会で公共交通が不便なので、県外からの車が無い人にとっては色々立ち寄りづらいと思う。
- ✓イベントは多くなってきたが賑わいにつながっていない。
- ✓長野などの地方都市にはほとんど来ない。
- ✓コンサートができる会場がもっと必要。
- ✓コロナ影響で自粛気味。
- ✓アイドルのコンサートも、通り過ぎるだけで滞在性に欠ける。
- ✓一部のにぎわいだと思う。
- ✓去年はコンサートが多かったが、今年は閑散としている。
- ✓芸術館の活動等、松本に比べると遅れている。
- ✓少ない。
- ✓賑わいを生むほどではない。
- ✓まだ少ない。開催を知らしめる努力が不足している。
- ✓賑わいが生まれるほどのイベントが来ない。オリンピックの時の賑わいが懐かしい。
- ✓プロスポーツはもう一頑張りが必要。

【施策コード／施策名】 6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	【担当部局】 農林部
---	---------------

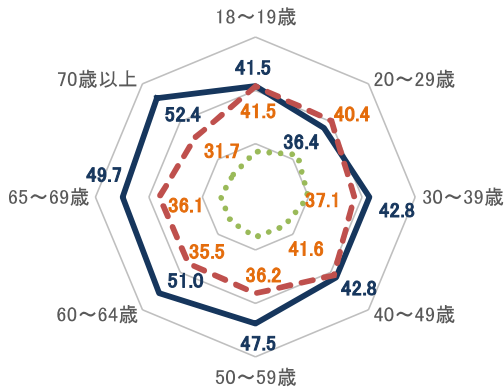
【区分】	【指標名】
●	野菜や果物づくりをしている人が増えている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	45.0%	40.4%	41.8%	47.0%
否定的評価割合	39.1%	41.8%	42.1%	36.3%
評価保留割合	14.2%	14.9%	14.6%	15.0%

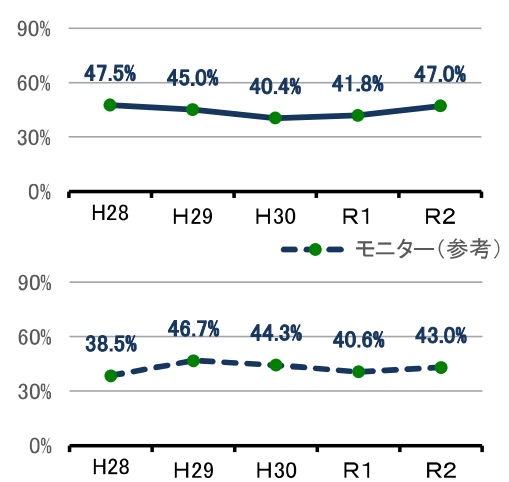
現状値 (H28)	目標 (R3)	47.5%	
平均値 (H29～R2)		43.6%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓農作業をしている人が多い。	19歳以下	✓減っている。 ✓減少傾向かなと思う。
	20~29歳	✓あまり感じない。 ✓減っていると思う。 ✓人手不足の話をよく耳にする。
✓そう思う。 ✓田畑をよく見る。 ✓苗売り場が混んでいた。	30~39歳	✓近所の田畑がほとんど住宅になった。 ✓家庭菜園は増えている気がするが、やめてしまう農家さんが増えていると思う。
✓庭を持っている人が多い。畑も多い。 ✓家庭菜園をしている。 ✓ベランダ菜園などしている方も多い。 ✓畑を借りて農業を行う人が増えている。	40~49歳	✓農家の高齢ぶりは一目瞭然。 ✓畑が減っている。 ✓宅地開発されているので、田畑が減ったと思う。 ✓休耕地など目につく。 ✓荒れた農地が多くなっている。
✓母を見ていてそう思う。 ✓新鮮でおいしい農産物が手頃な価格で手に入り嬉しい。 ✓野菜づくりには、収穫の楽しみとストレス解消の効果がある。	50~59歳	✓以前は近所にあった市民農園も宅地になった。 ✓以前から家庭菜園などしている人を見かけるので、増加した印象はない。 ✓田畑が減った。 ✓高齢者だけである。
✓市民農園の増加。 ✓農家のことはわからないが、市民の野菜づくりは増えていると思う。 ✓庭先やプランターに野菜作りをする家が多くなった。	60~64歳	✓家庭菜園をやる人もいるが、年々減少しているように思う。 ✓農業離れが続いていると思う。 ✓台風19号被害で長沼地区等でやめる人が多かった。
✓自分もやっている。	65~69歳	✓専業の方は減少、家庭菜園は増えている。
✓自分も含めて身近で野菜作りに取り組んでいる人は多い。 ✓家庭菜園の普及が目立つ。 ✓休耕地の利用により家庭菜園は増えてきているが専用農家の後継者が不足している。	70歳以上	✓田畑が住宅になっている。 ✓周囲にはいない。

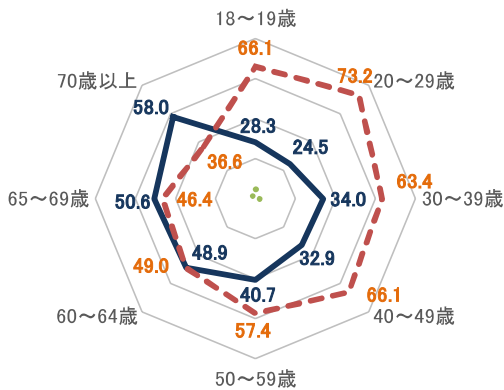
【区分】	○
【指標名】	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	47.0%	41.7%	40.8%	43.5%
否定的評価割合	48.5%	54.1%	54.9%	53.4%
評価保留割合	2.5%	1.8%	1.3%	1.5%

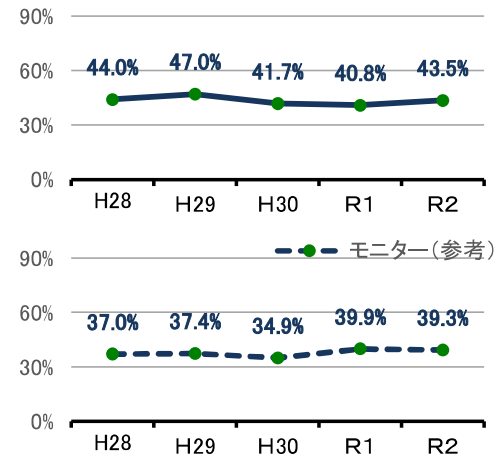
現状値 (H28)	目標 (R3)	44.0%	
平均値 (H29~R2)		43.3%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



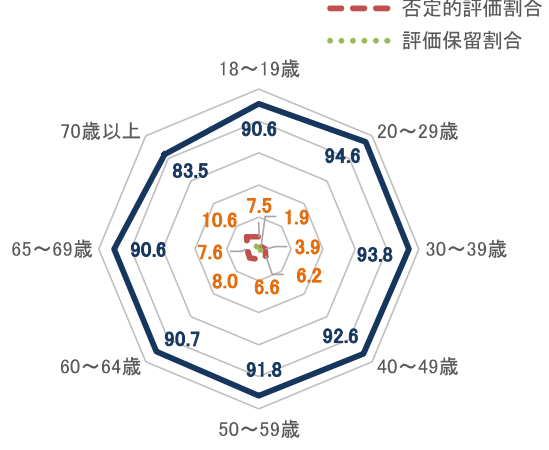
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓楽しんでいる。	19歳以下	✓やっていない。
	20~29歳	✓土地がない。 ✓何もしていない。
✓自宅で作っているため。 ✓楽しんでいる。 ✓地元の企業で体験型のものには参加している。	30~39歳	✓最近、仕事と農業の両立が困難で農業をやめた。 ✓やっていない。 ✓庭を持っていない。
✓畑があるので家庭菜園と花づくりを夫と一緒にやっている。 ✓家庭菜園をしている。 ✓庭先で育てている。	40~49歳	✓家族に任せている状況。 ✓場所がない。 ✓庭がない。 ✓やっていない。
✓庭で家庭菜園を始めた。 ✓夏場には野菜を栽培している。 ✓りんごの木のオーナーになっている。	50~59歳	✓美味しい農産物はプロにお任せする。 ✓機会があればやりたいと思う。 ✓買った方が良い。
✓庭に野菜をつくっている。トマト、なす、ピーマン等々1本ずつだがお世話もいいし、収穫もなお嬉しい。 ✓地続きの畑で家庭菜園をしている。 ✓土いじりは好きです。	60~64歳	✓野菜や果物を作っていない。 ✓農地が無い。 ✓楽しんでない。 ✓虫が嫌い。
✓りんご栽培している。 ✓家庭菜園。収穫物を直売イベントに出している。 ✓できる範囲でやっている。	65~69歳	✓作っていない。 ✓興味がない。 ✓畑が無い。
✓空き畑を利用している。 ✓水田、畑の両方を必死でやっている。 ✓家庭菜園にいそんでいる。 ✓1人で25アールを栽培。楽しむ余裕はあまりないが。 ✓庭の一角にぶどう・柿・梅を栽培している。 ✓庭の一部に野菜を植えて楽しんでいる。 ✓プランタンでのトマトやキュウリ栽培、庭での茗荷・紫蘇程度の素人園芸を楽しんでいる。	70歳以上	✓場所が無い。 ✓残念だが全くしていない。 ✓心得がない。 ✓していない。 ✓楽しむ場がない。 ✓我が家の畑で作っているが、楽しんでいるというより、土地を遊ばしておくのはもったいないと思っているからであり、体力的に負担になることもある。

【区分】	【指標名】
●	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である

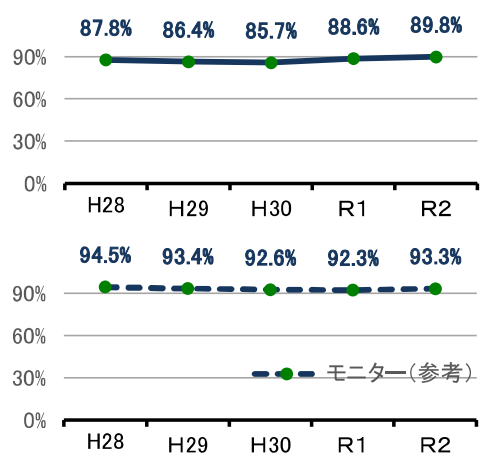
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	86.4%	85.7%	88.6%	89.8%
否定的評価割合	9.5%	9.5%	8.2%	7.1%
評価保留割合	2.6%	2.1%	1.6%	1.6%

現状値 (H28)	目標 (R3)	87.8%	➡
平均値 (H29～R2)		87.6%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



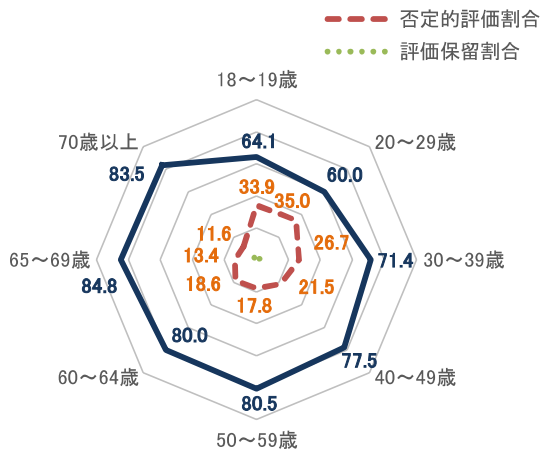
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓いつもおいしくいただいている。 ✓りんごや桃の生産が豊かだと思う。 ✓強く思う。	19歳以下	
✓桃は耳にするし、売っているのを見る。 ✓産直のものが美味しい。 ✓品質の高い農産物が安く買える。	20～29歳	
✓果樹園が多い。 ✓周知の事実である。 ✓直売所もたくさんあり、味もおいしい。	30～39歳	✓全国的なブランド品が少ない。
✓長野は果物王国である。 ✓おいしい地元のものが見える。 ✓我が家も県内産の農作物を好んでいる。	40～49歳	
✓信更のりんごはとてもおいしい。 ✓地元の農家さんは頑張っていると思う。 ✓県外出身の同僚が、直売所等の種類の多さに驚いている。	50～59歳	✓田畑が減った。
✓おいしい果物がたくさんあってうれしい。 ✓生産量が多い。 ✓安全でおいしい農産物、直売所がある。生産者の記載がある。	60～64歳	
✓直売所にぎやか。 ✓長野県は全国屈指の果樹生産県。長野市行政からの営農支援の強化を望む。	65～69歳	✓生産者が減少している。
✓おいしい農産物生産地として自慢できるが、昨年の台風被害の影響が心配である。 ✓自然環境が果樹栽培に適しているが、農業経営の規模が小さい。 ✓積極的な地域産のPRをしてほしい。	70歳以上	

【区分】	○
【指標名】	地元産の農産物を意識的に買うように心がけている

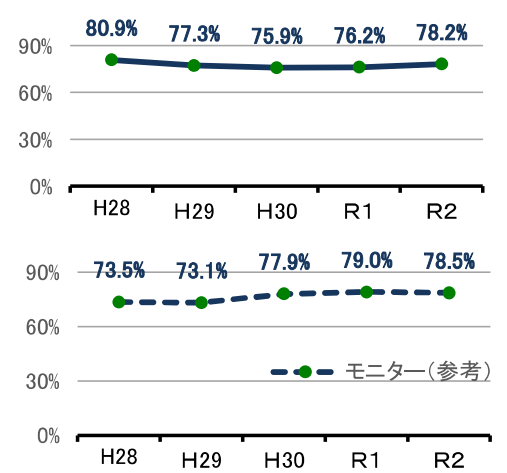
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	77.3%	75.9%	76.2%	78.2%
否定的評価割合	19.5%	20.8%	20.0%	18.8%
評価保留割合	1.5%	1.3%	1.1%	1.2%

現状値 (H28)	目標 (R3)	80.9%	
平均値 (H29～R2)		76.9%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓美味しいから。 ✓地産地消を心掛けている。	19歳以下	✓自分では農産物を買わない。
✓赤ちゃんには現地のものを食べさせたい。 ✓意識はしている。	20～29歳	✓あまり心がけていない。 ✓とにかく安いもので飢えをしのいでいる。
✓小さな子供が同居しているので地元産にしている。 ✓地産地消を心掛けている。 ✓新鮮そうだから。 ✓自宅で作っている。	30～39歳	✓コンビニでの買い物が多い。 ✓地元のは高く買えない。 ✓安いものを買ってしまう。
✓地元産は新鮮で安くて美味しいので積極的に買っている。 ✓スーパーの地場コーナーで、野菜を買っている。 ✓長野の農産物は安心感がある。	40～49歳	✓スーパーより高い時がある。 ✓特に意識していない。 ✓買いたい気持ちはあるのだが、しかし、国産にはこだわっている。 ✓地物のほうが割高である。
✓スーパーで野菜を買うときはまず地元産をチェックしている。 ✓直売所や直売コーナーを利用するようにしている。 ✓地域の農家を支援たいと思う。	50～59歳	✓地元産でなくてもOK。 ✓値段により買っている。
✓生産地や生産者の表示があるから、同じものなら地元に戻元したい。 ✓安心感がある。 ✓新鮮な地元の野菜を食べている。 ✓スーパーで地元産のコーナーを最初にのぞく。	60～64歳	✓価格・鮮度・産地の順番で買っている。
✓直売所を利用している。 ✓JA、直売所を利用している。 ✓応援の気持ちをもって、新鮮でおいしい。	65～69歳	
✓スーパーや道の駅で地元野菜や花など中心に購入。 ✓季節毎の旬の農作物を、採りたてにこだわって買っている。 ✓野菜は産地直売所を利用している。	70歳以上	✓特に地元産にこだわってはいない。 ✓コスパ次第である。 ✓近くに地元産があれば利用したい。 ✓地元産にあまりこだわらず買い物している。

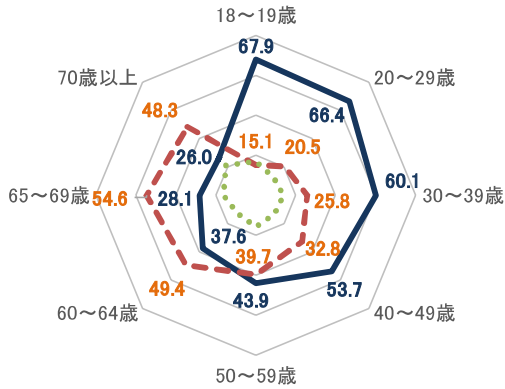
【区分】	●
【指標名】	森林が整備されている地域である

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	36.6%	34.8%	38.8%	42.4%
否定的評価割合	41.4%	43.8%	42.8%	39.8%
評価保留割合	20.2%	18.5%	16.5%	16.1%

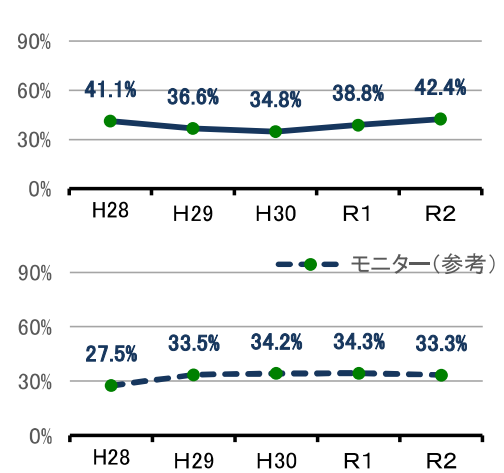
現状値 (H28)	目標 (R3)	41.1%	➡
平均値 (H29～R2)		38.2%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓自然破壊にならないように整備されていると思う。	19歳以下	✓無造作なところが多いと思う。 ✓放置されている。
✓山道にはしっかり工事がされている。 ✓山の中も車が通れるほど綺麗である。 ✓これからも大事にしてほしい。	20～29歳	✓管理が行き届いていないところも多い。
✓整備されていると感じている。 ✓森林の奥まで入ることはないが、道路から見える森はきれいだと感じる。	30～39歳	✓手の入っていない森林が増えている。 ✓整備されていない場所がまだある。 ✓風で木がよく倒れる。 ✓剥げてしまっている山が気になる。雨が多くなっているため土砂崩れが心配である。
✓長野県産の木材は良いと思う。 ✓長野の大きな資源である。 ✓綺麗にしてもらい、ありがたいと思う。	40～49歳	✓松くい虫による松の立ち枯れ放置がとて多くなってきている。 ✓山は荒れている。松くい虫の影響が大きい。 ✓荒れている山林が多いと思う。
✓整備されていると思う。 ✓整備についてニュースで見たことがある。 ✓緑が多く綺麗である。	50～59歳	✓整備されているとは思えない。 ✓森林はあるが整備されていない。 ✓杉枯れが目立ち、山を手入れしている様子がない。
✓整備されているかはわからないが、植樹に参加したことはある。	60～64歳	✓計画された整備がされていないと思う。 ✓害虫の発生による枯れが目立つ。
✓飯綱高原がある。 ✓荒れた山林が少ない。 ✓荒れ放題で動物が増えた。	65～69歳	✓放置状態で荒れている。 ✓荒廃森林が増えていて、松くい虫被害も顕著である。 ✓整備が追いついていないように思う。
✓荒れ放題の山林を良く見かけるが、森林の整備計画の実施状況がよく見えない。 ✓林業のなり手がなく中頑張っていると思う。 ✓間伐が進んで森林が甦りつつある。	70歳以上	✓手が入っていない所や松くい虫で枯れた木が目立つ。 ✓金(収益)につながらない。 ✓森林が特に整備されているとは感じられない。むしろ放棄されている地域が多いのではないかと。

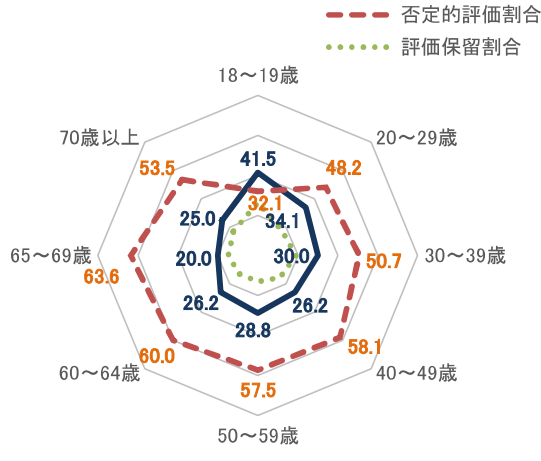
【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

【区分】	【指標名】
●	活力のある企業が多い地域である

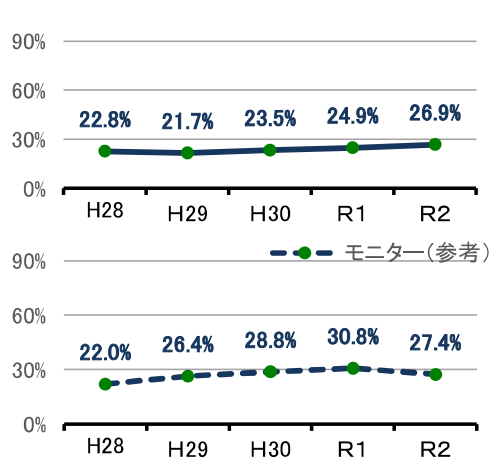
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	21.7%	23.5%	24.9%	26.9%
否定的評価割合	59.4%	57.6%	57.9%	55.5%
評価保留割合	17.0%	16.3%	15.0%	16.0%

現状値 (H28)	目標 (R3)	22.8%	
平均値 (H29～R2)		24.3%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓規模の大きな会社がある。 ✓生き生きしているように感じる。 ✓頑張っている中小企業も多い。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナで何とも言えないが、みんな頑張ろうとしている。 ✓工業、生産関係は強いと思う。 ✓真面目な人が多いと思う。 	20～29歳	✓あまりないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓特に機械系は世界的にも活躍している企業が多いと思う。 ✓上場企業も多い。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に目立った企業がない。 ✓地域を代表するような活気のある企業が多くない。 ✓全国的に有力な企業が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ホクト、マルコメの活躍を目にするので、そう思う。 ✓ものづくりや、物流、小売業などで、色々な工夫をしている。 ✓名が通った会社が多いと思う。 ✓素晴らしい企業はあると思う。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓経営者は皆、元気がない。 ✓新規参入などは難しいと感じる。 ✓諏訪や安曇野と比較すると少し元気がないと思う。 ✓公的資金や公共事業に頼っている企業が多い。 ✓あまり知らない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓活力のある企業は決まってきた。 ✓結構ある事に気づいた。 ✓精密関連は元気である。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓活力が低いのではないかと感じる。 ✓知っている企業が少ない。 ✓若者が都会に就職してしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ✓世界に親しまれている物づくり企業がある。 ✓多様な職種がある。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓上場企業が少ないと思う。 ✓状況を知らない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓昔からの企業が再発見されている。 	65～69歳	✓目立った企業が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓企業が生き生きとして事業に取り組んでいる。 ✓製造業を中心に、頑張っている企業は多いと思う。 ✓小さいなりに特殊技術で生き延びている元気な企業もある。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓製造面では弱いと思う。 ✓旧態依然としている。 ✓下請けばかりである。 ✓中小の企業のみである。

【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

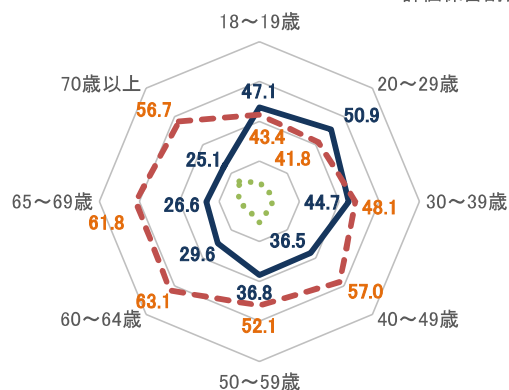
【区分】	【指標名】
●	市内に個性的で魅力的なお店が増えている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	30.7%	31.7%	34.1%	33.9%
否定的評価割合	57.1%	55.6%	54.4%	54.7%
評価保留割合	10.7%	10.0%	9.7%	9.7%

現状値 (H28)	目標 (R3)	30.7%	
平均値 (H29~R2)		32.6%	

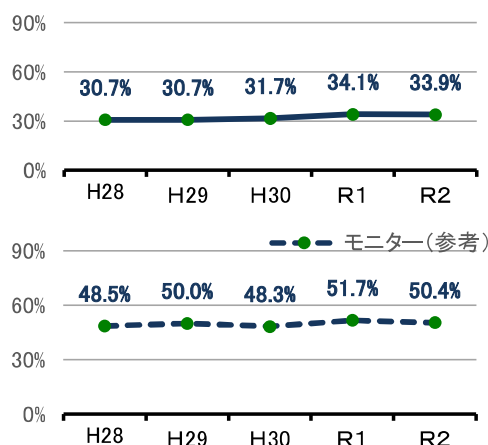
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- - -●- - - モニター(参考)



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓最近増えている。 ✓古民家を活かしたカフェなどができている。 ✓地方のほうにも気になる店が増えている。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓廃業が多いと思う。 ✓そういう店を見かけない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓カフェなどが多い。 ✓リノベーションのお店や雑貨屋が多い。 ✓まだ行ってない店もあるが、フクロウカフェに行ってみたい。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そう思わない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓居酒屋しかわからないが、行きたい店が多くある。 ✓カフェなどの店は多いと思う。 ✓今回コロナウィルスで自粛が多い中、いろいろな店のテイクアウトなどの情報を目にするが多かった。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういう店を見ない。 ✓新しい店舗はできていると思うが、個性的とは思わない。どこも似たりよったりである。 ✓新規出店もなく、老舗も閉店している。 ✓ショッピングモールを誘致してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野駅前、善光寺界限はそういったお店が増えたと思う。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野県内と比べても見劣りする。 ✓同じような店ばかりである。
<ul style="list-style-type: none"> ✓個性的な店舗が増加している。 ✓アイデアがいっぱいの店が増えている。 ✓新しい店が増えている。 ✓特に善光寺界限のカフェや和菓子店などとても個性的で美味しく気に入っている。 ✓古民家をリノベーションしたお店が増えていると感じている。県外の方が長野の魅力を教えてくれて、うれしく感じている。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓減っているのではないかと。 ✓個性を出していた店舗が今年は新型コロナウイルスのおかげで閉店した。 ✓魅力がいまいち伝わらない。 ✓他市の方が多いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓魅力的な店舗があるが、情報提供が十分とは言えない。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓多少あるがもっと欲しい。中央通りを信州牛焼き、おやき等食べ歩きできるお店も欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓手作りや地産地消、健康重視の飲食店が増えた。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓減少しているのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺周辺も含め、ひと昔前から見ればそのように感じることができる。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓あっても、育たない。 ✓系列店が増えている。

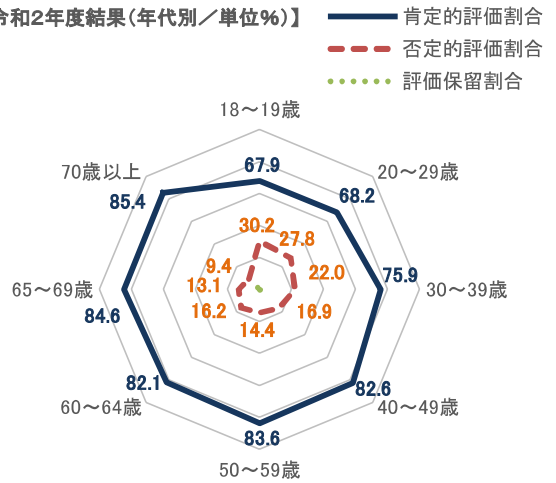
【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

【区分】	【指標名】
○	地元のお店で買い物をするように心がけている

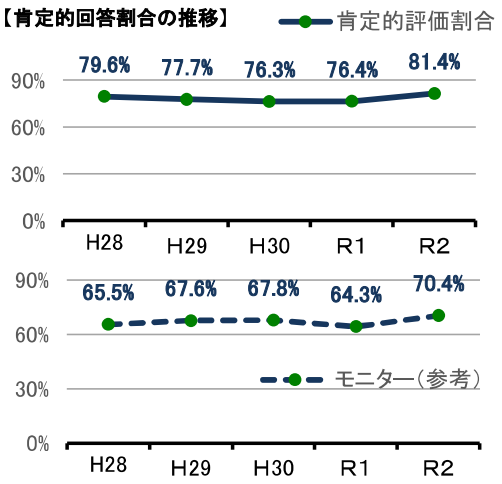
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	77.7%	76.3%	76.4%	81.4%
否定的評価割合	19.1%	20.7%	19.8%	15.6%
評価保留割合	1.3%	1.0%	1.0%	1.1%

現状値 (H28)	目標 (R3)	79.6%	➡
平均値 (H29～R2)		78.0%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓安いから。 ✓近くにがある。 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓道の駅も利用していた。 ✓地元スーパーを利用している。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓心がけていない。 ✓高いから。 ✓スーパーで買い物をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地産地消を心がけている。 ✓買えるものは地元で買うようにしている。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓買い物の大半はインターネットを利用し購入している。 ✓店がない。 ✓地元の店の定義がわからない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地元産は新鮮で安くて美味しいので、積極的に地元で買っている。 ✓地域で経済を回す方が良いと思う。 ✓地域経済の活性化に資するため。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市からほとんど出ないので必然的にそうなる。 ✓品揃え、価格面でメリットを感じない。オンライン中心になってきている。 ✓利便性でネットで買い物をすることが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓積極的に利用している。 ✓近い所が便利である。 ✓買い物は近所のスーパーがほとんどである。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓仕事帰りなどに買い物するので一箇所ですべて買ってしまうようなスーパーでまとめて買ってしまふ。 ✓近場のスーパーで済ませる。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地元でしか購入していない。 ✓ただ、ネット通販でないと買えないものも出ている。 ✓生活用品は地元で、嗜好品や贅沢品は遠征して購入している。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓規格品なら価格が安い店舗(ネット店舗含む)で購入、生鮮品なら地元店舗で購入。 ✓すぐに地元の店がなくなっている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地産地消のため。 ✓応援の気持ち。新鮮でおいしいため。 ✓車で15分以内のところまで買い物をしている。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に心がけてはいない。 ✓品物が良ければ買う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓農作物は必須で買っているが、その他の物は趣味嗜好を重点に購入している。 ✓地元の店がなくならないように利用している。 ✓通信販売などの利用は皆無に等しく、すべてを地元の店で購入している。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に拘っていない。 ✓スーパーの利用が多い。 ✓大型店や市街地の店に行くことが多い。 ✓地元にあるスーパーで買っているが、商店での買い物は皆無に近い。

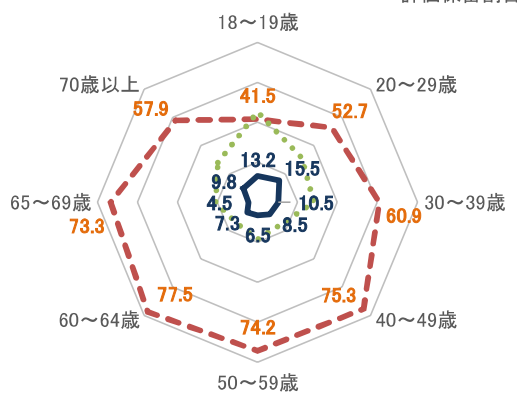
【区分】	【指標名】
●	新たな雇用が生まれている

	H29	H30	R1	R1
肯定的評価割合	10.8%	11.6%	10.6%	8.7%
否定的評価割合	62.3%	60.6%	64.4%	66.6%
評価保留割合	25.1%	24.9%	23.2%	22.9%

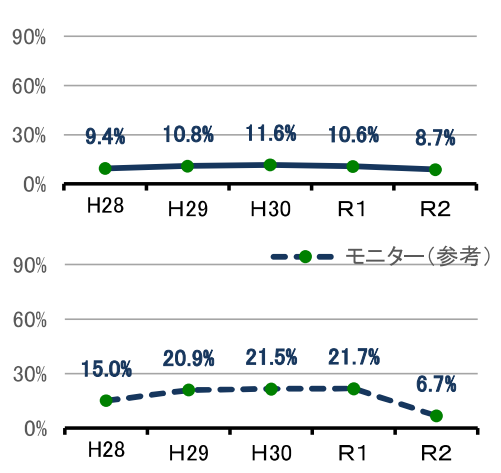
現状値 (H28)	目標 (R3)	9.4%	↗
平均値 (H29~R2)		10.4%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
	19歳以下	✓コロナの影響があって、雇用が少なくなっていると思う。
	20~29歳	✓求人が少ない。 ✓あまり感じない。
✓新しい店での雇用。 ✓そのように感じる。	30~39歳	✓従来型の産業が固定化されていると思う。 ✓失業者が増え、雇用はかなり減った。 ✓絶賛雇用縮小中かと思う。 ✓市街地を見ると減っていると思う。 ✓働き口がない。
✓コロナ禍によって新しく生まれる雇用はあると思う。 ✓県外からの企業誘致や移住が増えていると思う。	40~49歳	✓逆に少なくなっていると思う。 ✓失業率が今後上がってくると思う。 ✓求職中ですが求人が全くない。 ✓コロナのせいで求人が減っており、雇用が生まれていると感じない。 ✓事例があったら知りたいと思う。
✓介護業界は常に人材募集中である。	50~59歳	✓雇用は難しい状況にあると思う。イトーヨーカドーも閉店になり、雇用は厳しいとニュースからの情報である。 ✓閉店ばかりで雇用は生まれていないと思う。 ✓コロナの影響が大きい。 ✓雇用は増えていない。
✓新人だけでなく、社会人経験者も採用している。	60~64歳	✓店舗がないのに雇用も生まれないと思う。 ✓年齢で切られる事が多い。 ✓むしろ雇用が減っているのではないか。
	65~69歳	✓雇用が発生するような企業が地域にはない。 ✓若者が地元で働けるだけの十分な雇用がない。
✓企業統計や求人倍率からそう思う。	70歳以上	✓そのようなことは聞こえてこない。 ✓新型コロナの関係がある。

【施策コード／施策名】 6-4-1 就労の促進と多様な働き方の支援	【担当部局】 商工観光部
--------------------------------------	-----------------

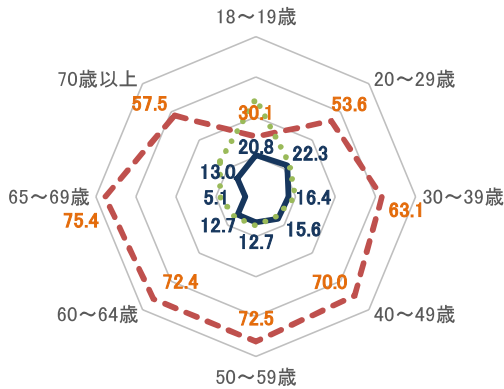
【区分】	【指標名】
●	仕事を見つけやすい環境が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	12.9%	15.5%	15.1%	13.7%
否定的評価割合	63.2%	61.0%	64.3%	65.3%
評価保留割合	22.2%	20.7%	18.8%	19.4%

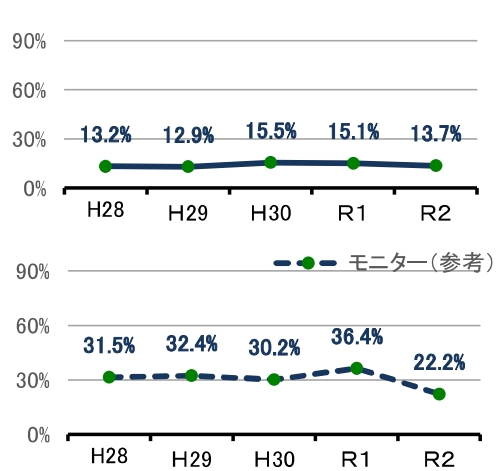
現状値 (H28)	目標 (R3)	13.2%	
平均値 (H29～R2)		14.3%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ハローワーク等がある。 ✓ハローワークの他にもある。 ✓新聞と共に求職情報が手に入られる。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓魅力的な企業が少ない。 ✓仕事がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓新聞と共に求職情報が手に入られる。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓仕事がない。 ✓ハローワークはうーんという感じ。インターネットの方が主力となっている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓しっかりした体制が整っている。 ✓相談体制が充実している。 ✓インターネットなどもある。 ✓ハローワークだけでなくマザーズハローワークは足を運びやすい。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓市としてはあまり感じない。 ✓子育て中にできる仕事は少ない。 ✓製造業に偏っている。 ✓都会に比べたら職種が限定されている。 ✓民間サービスに頼らないと良い情報が手に入らない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓選ばなければ仕事はあると思う。 ✓製造業は見つけやすい。 ✓インターネットで探せるようになった。 ✓ハローワークのサポートがある。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓その人が求める分野に求人があるのかと言えば、無いかもしれない。 ✓整っていない。仕事がない。 ✓求人自体が減っている。 ✓ハローワーク以外ない。 ✓製造系は他地域より弱く感じる。 ✓ハローワークも少ない、産後の主婦が働きたい時、情報へアクセスしにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓フリーペーパーなども十分活用できると思う。 ✓近隣地域と比較すれば仕事は見つけやすい印象。 ✓何らかの形で就職情報を入手しやすい。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ハローワークの求人情報を確認しますが、なかなか条件に合う仕事は難しいと感じる。 ✓コロナで自粛している。
<ul style="list-style-type: none"> ✓本校の学生をよく採用してくれている。 ✓ハローワーク、人材紹介会社、インターネット求人サイト等求人情報は得やすい。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓年齢制限が気になる。 ✓コロナの影響で求人がない。職安や求人アプリの活用で情報量は多いはずだが。
<ul style="list-style-type: none"> ✓若い世代は雇用があるのでは。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に定年退職後の雇用があまりないように思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ITの普及や情報誌などによる仕事探しが多くなっていると感じる。 ✓企業の求人PRが多くなってきている。 ✓情報はたくさんあるのでその気になれば見つけやすい状況だと思う。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓仕事の間が必要。 ✓新型コロナの関係がある。 ✓環境は整っていない。仕事がない。 ✓シニアの働く場が少ない。高齢化社会で、色々なスキルをもったシニアを登用する環境整備が望まれる。

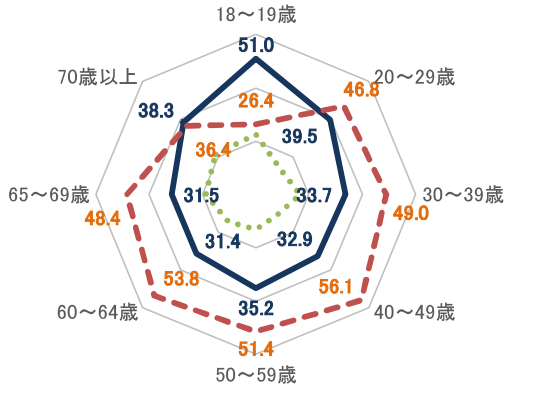
【区分】 ●	【指標名】 市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
------------------	--

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	32.6%	30.7%	30.9%	35.2%
否定的評価割合	47.3%	47.9%	50.8%	47.2%
評価保留割合	18.5%	18.6%	16.7%	16.2%

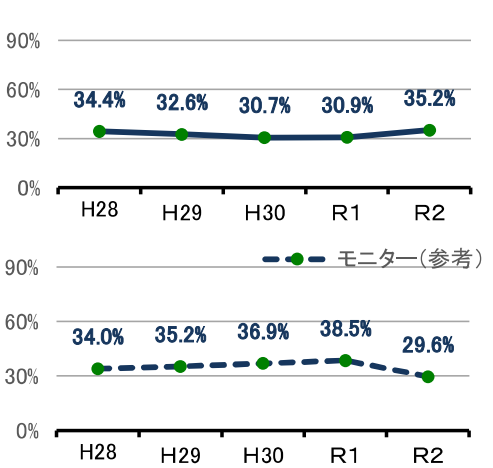
現状値 (H28)	目標 (R3)	34.4%	↗
平均値 (H29～R2)		32.4%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓最近仕事がない。 ✓市内で働く身内が生き生きしている。 ✓数人は生き生きと働いている。 	19歳以下	
	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓生き生きと働いている感じはない。 ✓稼ぐために必至に働いている人が多い。 ✓普通に労働をこなしているだけだと感じる。 ✓不満が多いところもある。
<ul style="list-style-type: none"> ✓余暇を楽しめる環境にはあると思うので、仕事とプライベートのバランスは良いように思う。 ✓働くところがたくさんあり、いきいきと働いていると思う。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓低賃金・長時間労働でみんな過労死しそうで貧困している。 ✓生きるのはつらい。 ✓仕事を中心の生活になっている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓少なくとも自分の職場では言えると思う。 ✓首都圏よりも働きやすいと思う。 ✓会話等を通じてそのように感じる。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓皆、有能な人が損をしている。特に女性ももっと活躍できる！そして男が高収入なのはなぜか！と思う。 ✓どこも不景気みたいで大変そうである。 ✓給料が安いと不満の声が多い。 ✓疲れている人が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓就労している友人は、自由になるお金がある。 ✓楽しみながら働いている。 ✓周りはそうだと思う。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓誰もが家庭と仕事の両立には苦労している。 ✓定年後、給料が減るからと頑張っていた方も、休むようにと言われたようである。
<ul style="list-style-type: none"> ✓人間関係が良い方だと思う。 ✓自分を含めて周りの者が活気あり元気である。 ✓仕事に就いている人の多くはいきいきと働いている。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓労働環境が厳しい。 ✓長野に限らずコロナでダメージを受けている。 ✓仕事がないよりはましだが、苦労して働いている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓家に閉じ籠らずに社会に出ていると、そうだと思う。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓極少数存在する。大半は生活のために働いている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域との繋がりが大切になっている。 ✓早朝から夜遅くまで勤めている人が目立つ。 ✓周りにいる人々を見るといきいきと働いていると感じる。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓そうは感じられない。 ✓自ら取り組み意欲を持ってやっているのかどうか、仕方なしという感じがある。 ✓生活に追われている。

【施策コード／施策名】 7-1-1 地域の特性に応じた都市機能の維持	【担当部局】 都市整備部
---------------------------------------	-----------------

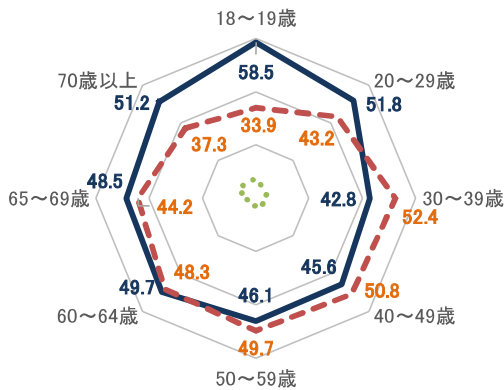
【区分】	【指標名】
●	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	49.2%	48.3%	47.7%	48.1%
否定的評価割合	43.7%	43.8%	45.1%	45.4%
評価保留割合	5.5%	4.9%	3.8%	4.7%

現状値 (H28)	目標 (R3)	49.4%	
平均値 (H29~R2)		48.3%	

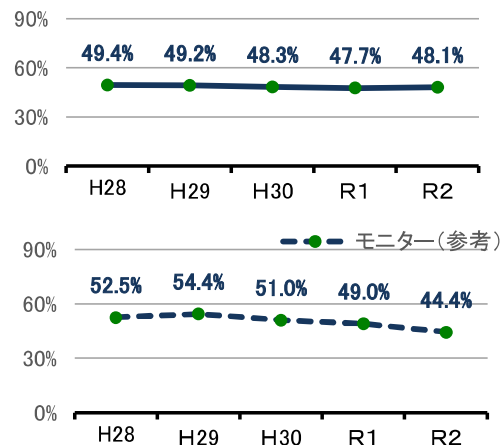
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合



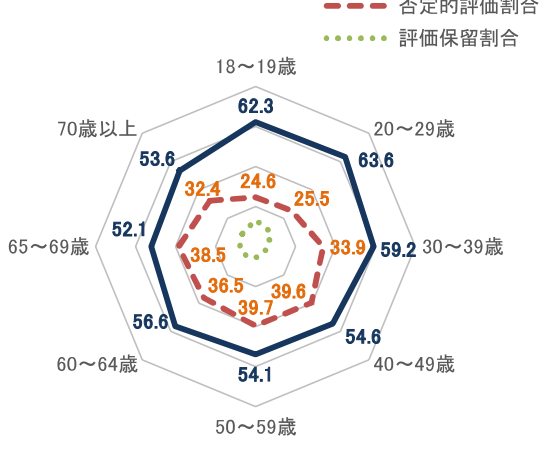
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中心市街地に関してはとても利便性が高いと思う。 ✓ 充実している。 ✓ 行くまでが大変だが、まとまっているので良い。 ✓ 長野駅前には利便性に富んでいる。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不便は多い。 ✓ 電車とバスをもっと増やして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 施設はあるが、アクセスが少し悪い。 ✓ 駅周辺より郊外のほうが充実していると思う。 ✓ 長野駅周辺のみそう思う。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スーパーが少ない。 ✓ 川合新田の辺りは何も無い。車も自転車もない高齢者は買い物などに行くのが一苦労。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 施設はあるが、アクセスが少し悪い。 ✓ 駅周辺より郊外のほうが充実していると思う。 ✓ 長野駅周辺のみそう思う。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年々寂れていくのを感じる。 ✓ イトーヨーカドーが撤退し、中心市街地の買い物難民をフォローする方が重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中心市街地は利便性が高いと感じる。 ✓ 駅を中心として発展している。 ✓ 新しくできた道などもある。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長野駅以外は高くはないと思う。 ✓ 利便性が高いとは思わない。どちらかといえば中心市街地が空洞化していると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 駅東口側に住んでいるが、車のない高齢者もバスで移動しやすく便利である。 ✓ 利便性は高い。 ✓ 駅からは徒歩で用事が済む。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長野駅以外の鉄道駅の周辺が寂れすぎである。 ✓ 利便性がよいとは言えない。 ✓ イトーヨーカドー閉店。 ✓ 長野駅のみ栄えたり、交通の便が良い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ そう思って中心市街地に移った。 ✓ 中心市街地は整っている。 ✓ 長野駅、北長野駅、篠ノ井駅は利便性が高い。他駅はそうとは言えない。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 道路・交通網をもっと整備できないのか。 ✓ 中央市街地に集中しているとは思わない。 ✓ 自家用車で動けない高齢者などは公共交通機関の便が余りよいとは言えない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ついでの利用ができる。 ✓ 長野駅はにぎやかだが権堂は不安。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不便。 ✓ 長野駅周辺に偏重している。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ありがたい。 ✓ 日常的に感じている。 ✓ 集中している。 ✓ そのとおりである。 ✓ いろいろな機関が集まっているが、駐車場が少ない。福祉施設が少ないのではないかな。 ✓ 中心市街地はそれなりに良いと思う。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長野市内の JR 及び私鉄沿線の各駅周辺の街づくりは都市計画のもと整備されたとは思えない(何処の駅前通りも閑散として活気がない)。各施設が効率的に配備されていない。特に、高齢者には交通手段(移動)が不便と思う。もっと郊外を活用した街づくりにすべき。 ✓ 自家用車がなくても動けるようにしてほしい。

【区分】	【指標名】
●	日常生活に必要なインフラが整備されている

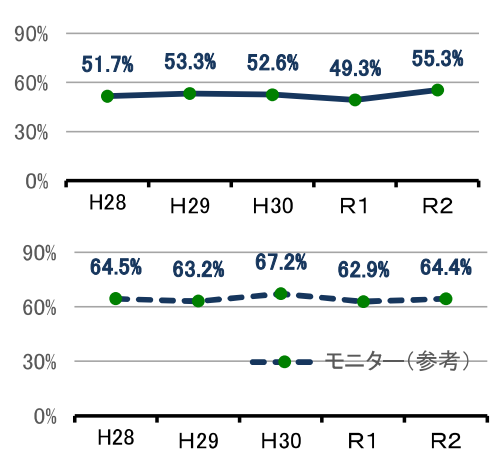
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	53.3%	52.6%	49.3%	55.3%
否定的評価割合	34.4%	35.4%	40.0%	35.4%
評価保留割合	9.8%	8.6%	6.9%	7.3%

現状値 (H28)	目標 (R3)	51.7%	↗
平均値 (H29～R2)		52.6%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



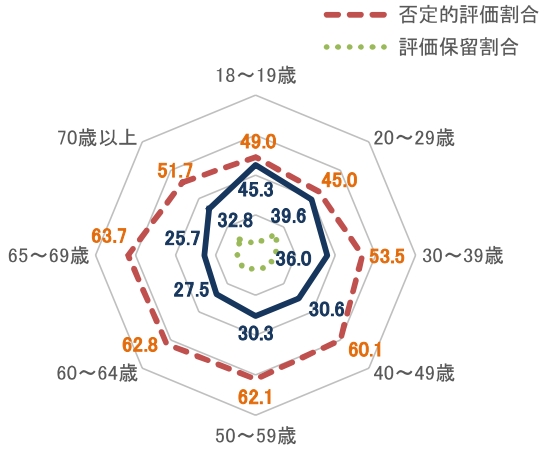
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ 地方でもっと交通の便をよくしてもらいたい。	19歳以下	✓ 公共交通機関が少ない。
✓ 整備されている。	20～29歳	✓ もう少し整備してほしい。
✓ 物流が、一時はどうなるかと心配したが止まることがなかった。		
✓ 一つ一つの工事が少し長いのかなあとと思う。長野駅東口から桜ヶ丘中学に向かう七瀬の道路の補修とか、アンダーパスの工事など。	30～39歳	✓ 公共機関は年々減っているし料金も上がっていて使いにくい。
✓ 郊外の大型店で保たれていると思う。	40～49歳	✓ バスと鉄道の連携があまり取れていないように感じる。
✓ 必要なものは一通り揃っている。		
✓ 道路が素晴らしい。川が浅くなってしまったので早く対処してほしい。	50～59歳	✓ まだまだ不便。渋滞箇所を減らして欲しい。
✓ 不便は感じない。	60～64歳	✓ 長野野鉄は駅数が多いが、しなの鉄道は駅と駅の距離が遠すぎる。
✓ 住居周辺は整っている。		
✓ 私の住んでいる地域は整備されていると思う。	65～69歳	✓ バスの本数が少ない。
✓ 整備されている。	70歳以上	✓ 朝の丹波島橋の渋滞は、全く改善されていない。憤りを感じる。
✓ 生活で不便はない。		
✓ 特に不満は感じていない。		✓ 多くが車を運転していると思う。
✓ 特に問題は無い。		✓ 普通だと思う。
✓ どんな場所でも 安全な水などインフラが整っている。		✓ 不便である。
✓ 下水道が普及している。		✓ 特に中山間地域への対策が不十分。
✓ 不便を感じることはない。		✓ 長野市内は基本、車で移動できないと不便であり、高齢者には辛い状況だと思われる。特に、最近高齢者による悲しい交通事故が日常化しており、高齢者の運転の規制を考える必要があると思うが、同時に免許を失効した後の移動手段も真剣に考えていく必要がある。
✓ 近隣に病院・警察・消防署・学校などあるが日常の買い物は不便である。		
✓ そう感じる。		
✓ 新しい道路の開通などにより利便性は良くなっているが、市内の慢性的な交通渋滞はそのままである。		
✓ JR、高速などアクセスが良い。		

【区分】	● 市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
------	--------------------------

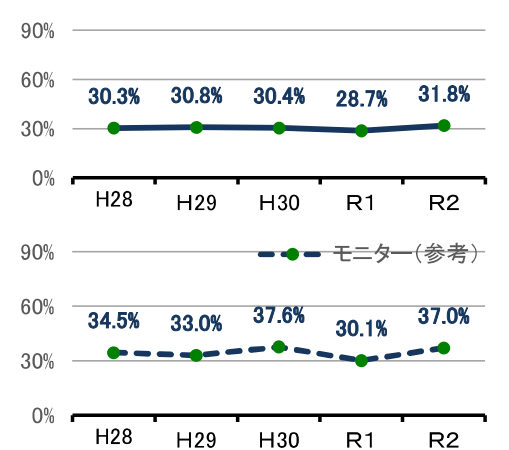
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	30.8%	30.4%	28.7%	31.8%
否定的評価割合	56.5%	55.8%	58.4%	56.7%
評価保留割合	10.9%	10.6%	9.2%	9.6%

現状値 (H28)	目標 (R3)	30.3%	
平均値 (H29～R2)		30.4%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 増えてきていると感じる。 ✓ 高齢者等も暮らしやすい道路、建物になっていると思う。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 段差は多い。 ✓ 歩道がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新しいものはそれが当たり前になってきて安心である。 ✓ スロープや車椅子専用信号待ちボタンも増えた。 ✓ 少しずつ増えてきている気がする。 ✓ 道路が整備されきれていない。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コロナの影響で工事の遅延があるのではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ バスなどバリアフリー化が進んでいる。 ✓ 工事はやっているが、遅い。 ✓ 長野駅前にはバリアフリー化が進んでいる。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 段差が多く、道は狭くベビーカーでは行けない。 ✓ 駅前には進んでいるが、近所では進んでいない。 ✓ ベビーカーだと不便を感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 店頭の駐車場やトイレの整備が進んできている。 ✓ 長野駅東口の歩道に自転車レーンがあって、低い段差ではなく、くぼみになっていて、段差が少ないと感じる。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車イスの方が車道を通っているのを見ていると、全くバリアフリーは進んでいないと思う。 ✓ まだまだ遅い。少し古い施設の洋式トイレ化など。 ✓ 歩道と車道がガタガタである。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特に不満は感じていない。 ✓ 新しい建物や道路においては進んでいると思いますが、古い施設についてはまだ手が回っていないと感じる。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 歩道の整備が進んでいない。 ✓ バリアフリー化されているところを思いつかない。市役所の一部くらいか。 ✓ 点字ブロックの老朽化等、ほったらかしの所が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ バリアフリーに配慮されたものが増えている。 ✓ 利用しやすい施設が多くなっている。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車椅子トイレも介助者とするには狭い所が多い。外食はほぼ無理である。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公共施設の改良が進んでいる。 ✓ 世相に沿っている。 ✓ 善光寺参道はとても綺麗になった。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一部でしかない。 ✓ 中央通り以外は進んでいない。 ✓ 不十分。市民の意識も低い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大変良くなってきている。 ✓ 道路事情は危険箇所もあるがマアア安全だと言える。 ✓ 道路ではまだまだ段差が解消されていない。古い建物は仕方がないのかもと思う。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ まだ必要。 ✓ 主要道路は歩道はあるが交通量が多く、通学路は危険箇所が多い。 ✓ まだまだ不足している。 ✓ 歩道を見ても、整備されていない。

【施策コード／施策名】 7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成	【担当部局】 都市整備部
--------------------------------------	-----------------

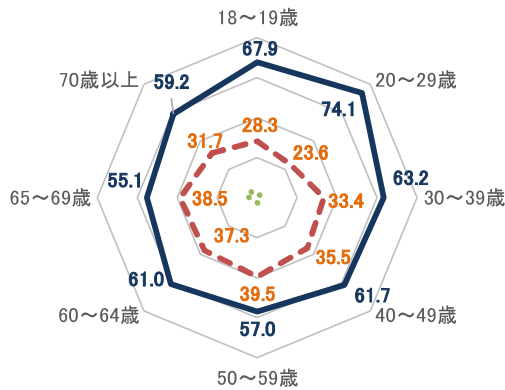
【区分】	【指標名】
●	景観やまちなみが美しい地域である

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	55.4%	54.8%	56.6%	60.5%
否定的評価割合	39.5%	39.5%	37.5%	34.4%
評価保留割合	3.3%	2.8%	2.4%	3.0%

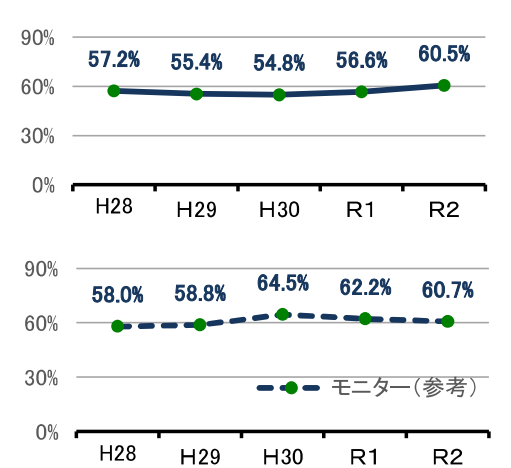
現状値 (H28)	目標 (R3)	57.2%	
平均値 (H29～R2)		56.8%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



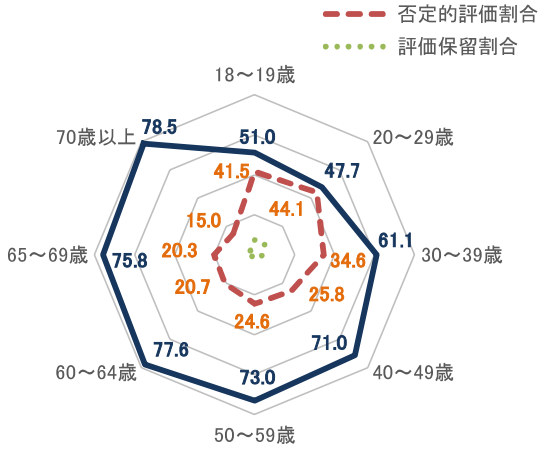
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓整備されている。 ✓美しいまではいかないけど整備はされている。 ✓街の景観を損ねるものがない。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓最近少し乱れている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓電柱も減ったりして良い。 ✓花や緑が多い。 ✓善光寺までの道のりは綺麗である。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓電柱が目立つ。
<ul style="list-style-type: none"> ✓きれいな。 ✓公園が充実している。 ✓普段の生活からそう感じる。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ボイ捨ての犬の糞が多すぎる。 ✓地域格差が大きい。 ✓市街地のみ対策が行われたがその他は進んでいない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓景色はとても自慢できる。 ✓山がきれい。 ✓自然は美しい。 ✓中央通りは良い。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓統一感がない。 ✓街路樹は荒れ放題で、河川敷は不法投棄が多い。空き家も多く、景観は悪い。 ✓他と比べるとそうは思わない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺周辺は、景観に配慮されているためかトータル的に門前町として雰囲気以前よりとても高まっていると感じている。 ✓景観に則した建築物が多い。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓連携されていない。 ✓善光寺周辺と松代の辺り以外はそのように感じない。 ✓表通りだけでなく、小路にも配慮したい。 ✓メインの通りは良いが脇道に入るとそうでもない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓緑がきれいな街並みである。東口には大きな公園もできた。 ✓中央通りなどは頑張っていると思う。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓高層マンション建設が相次いでいる。 ✓電柱の地中化がされて無い。 ✓商用に正面のみ整えている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓統一が保たれている。 ✓善光寺境界は綺麗になった。 ✓豊かな自然に恵まれた環境。市街地も徐々に整備されてきた。 ✓山間地なので空気がきれいで、緑が鮮やか。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓まだまだ、整備の途上である。 ✓最近街路樹が整備不足で、雑草や木自体が無くなっている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺の門前町としての景観は良い。 ✓街並みは長野駅~善光寺境界、その他観光地周辺は一応整備されていると思う。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓雑然としている。マンションの制限が必要。 ✓電線や電柱が乱立し街並みが汚い(統一性がない)。 ✓門前町の景観が薄れていく。

【区分】	○
【指標名】	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている

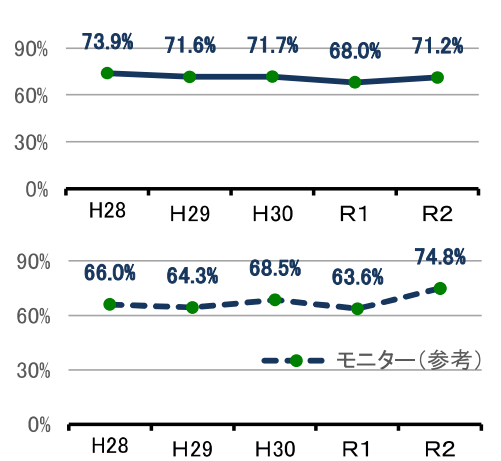
	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	71.6%	71.7%	68.0%	71.2%
否定的評価割合	24.3%	24.2%	26.7%	24.2%
評価保留割合	2.2%	2.1%	2.4%	3.0%

現状値 (H28)	目標 (R3)	73.9%	➡
平均値 (H29～R2)		70.6%	

【令和2年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓家のまわりの草とりなどきれいにしようとしている。 ✓こまめにやっている。 ✓緑化には力を入れている。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓考えていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓草取りをする。 ✓綺麗好きである。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓余裕がない。 ✓特に協力していない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓心がけている。 ✓花を植えている。 ✓掃除している。 ✓自宅等では心がけている。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓賃貸アパート暮らしなので。 ✓母と父に任せきりである。 ✓やっていない。 ✓マンションなので該当する部分がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓庭に草木を植えている。 ✓ガーデニングや家の前は清掃している。 ✓自宅前は通学路なので、花を植えて楽しんでもらえるようにと思っている。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓庭がない。 ✓意識的には心がけておらず、汚さないようにしている。 ✓何もしていない。 ✓時間がない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓除草やゴミの清掃を行っている。 ✓家のまわりにスイカズラやバラを育てて、近所の方にも楽しんでもらっている。除草も外の水路や道路の方も綺麗にしている。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓庭ない。 ✓特にしていない。 ✓そうした機会がない。 ✓意識したことがない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓家庭では道路沿いに花を置いたり、歩道の草取り、ゴミ拾いをしている。 ✓草刈り、掃除を頻繁に行っている。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓アパートなので。 ✓特に心がけているわけではない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓道路に沿った場所に花や庭木など植え、時々オープンガーデンをやっている。 ✓掃除や草刈りしている。 ✓清掃や草取りなど協力している。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓賃貸なので。 ✓自然のままで。
<ul style="list-style-type: none"> ✓意識してやっている。 ✓花作りに勤しんでいる。 ✓地域活動のクリーン作戦に参加している。 ✓自然を大切にしている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓どのようにすればよいかわからない。 ✓心がけてはいるがだんだん庭木の手入れとか草取りとか負担になってきている。 ✓家のまわりの森林の手入れを怠っている。

【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

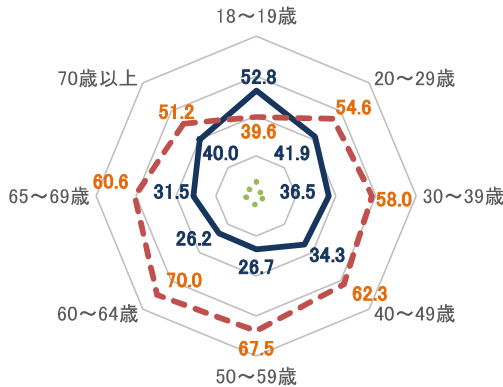
【区分】	【指標名】
●	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	33.9%	31.9%	30.4%	34.5%
否定的評価割合	59.8%	61.2%	62.3%	59.3%
評価保留割合	4.4%	4.4%	3.7%	4.3%

現状値 (H28)	目標 (R3)	35.7%	
平均値 (H29～R2)		32.7%	

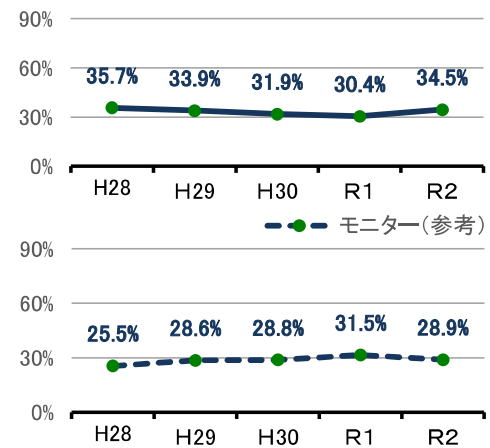
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中心市街地以外では少し不便なところがある。 ✓ 地域によってバスの運行に差がある。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ もっと電車の車両を増やしてほしい。 ✓ 車が無いと生活しづらいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ バスが沢山あるので良い。 ✓ 長野駅に公共交通機関で行くことが苦にならない。 ✓ 車がメインでありあまり使わないが、整っていると感じる。 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ もう少し増やしてほしい。 ✓ 行けない場所が多い。 ✓ バス停までが遠い。 ✓ 公共の交通機関は数が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ バスもある程度は整っていると思う。 ✓ 特にぐるりん号が良い。 ✓ バスも電車もるので良い。 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公共機関は年々減っているし料金も上がっていて使いにくい。 ✓ 利用者やドライバーの減少に伴う便数減少や運賃上昇に歯止めをかける方が必要。 ✓ 本数が少なかったり、終電・終バスが早い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 居住地は整っている。 ✓ ぐるりん号はありがたいと思う。 ✓ 市の中心は移動できるが、中心から離れれば離れるほど不便になる。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ バスの本数がない。鉄道は廃止され不便。 ✓ バスの本数が少なく、電車も犀南は JR のみで公共交通機関が少ない。 ✓ 毎朝、子供を保育園に送って職場に行くが、公共交通では絶対に不可能。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特に不満は感じていない。 ✓ バスが意外にも便利だと思う。 ✓ Suicaが使えると嬉しい。バス代がもう少し安くなると使いやすい。 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 朝松代から、長野に抜けるのが大変。 ✓ 長野駅で乗り換えないと他の地域へ動けない。本数が少なすぎる。 ✓ 料金が安い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者、障害者から不便さを聞く。 ✓ 中心拠点を結ぶ環境は整っていると思うが、利用者にとってわかりやすいとは言えない。 	60～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不便だと感じる。 ✓ 公共交通網の整備が必要。 ✓ やっぱり路面電車が欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ コミュニティバスが運行されている。 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 交通網が足りなく車に頼っている。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ バス網は発達している。 ✓ 循環バスは便利である。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公共交通の便が悪い。買い物で中山間地では大変。 ✓ 日赤への交通が不便である。

【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

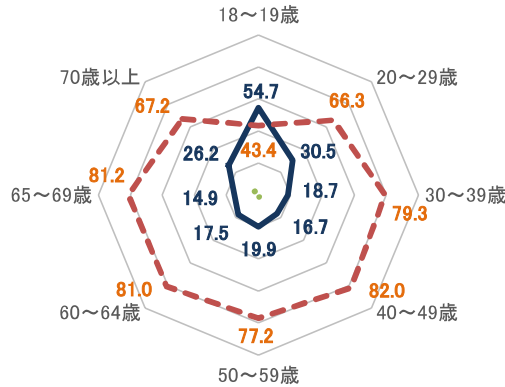
【区分】	【指標名】
○	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	27.2%	24.2%	22.1%	21.3%
否定的評価割合	67.3%	72.3%	73.8%	74.9%
評価保留割合	3.2%	1.5%	1.3%	1.9%

現状値 (H28)	目標 (R3)	26.4%	
平均値 (H29～R2)		23.7%	

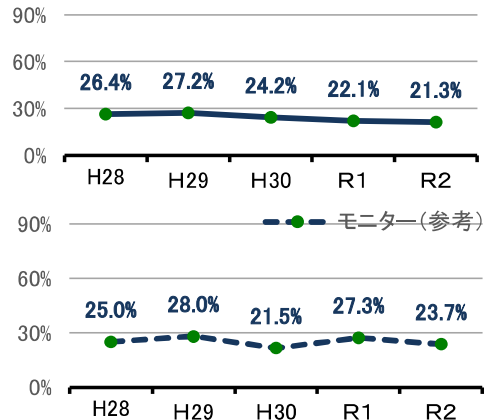
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- モニター(参考)




【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスを利用している。 ✓電車を使用している。 ✓バスを利用している。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓自動車を使用している。
<ul style="list-style-type: none"> ✓通勤に使用している。 ✓なるべく自動車を利用しないようにしている。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自家用車を使用している。 ✓公共交通機関を利用するのは稀である。
<ul style="list-style-type: none"> ✓バス通勤をしている。 ✓会社がマイカー通勤原則禁止である。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓車通勤 NG の会社だが、利便性が悪いので仕方なく自己責任で車通勤している。 ✓子供の送迎と通勤には不向きである。 ✓駅まではかなり離れており、さらにバス停まで遠い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓バス通勤をしている。 ✓会社がマイカー通勤原則禁止である。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自動車でないとな不便な場所にある。 ✓バスが通らない。 ✓身体が不自由なため利用できない場所が多い。 ✓絶対に不可能。毎朝、職場と逆方向の保育園に子供を送り、また職場方面に移動している。
<ul style="list-style-type: none"> ✓通勤は電車または自転車を利用している。 ✓毎日電車通勤している。 ✓新幹線で通勤している。 ✓バスを利用している。 ✓通勤で利用している。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓マイカー通勤をしている。 ✓自転車通勤である。 ✓時間が合わない。 ✓必要が無い。 ✓バスが高すぎて使えない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓できるだけ心掛けている。ダイヤが合わないときがある。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通機関が不便。 ✓生活全般を考えると難しい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓通勤に利用している。 ✓自家用自動車を保持していないため、100%自転車またはバスを利用している。 ✓出掛ける時は出来るだけ公共交通機関を利用するよう心掛けている。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ほとんど自家用車である。
<ul style="list-style-type: none"> ✓通勤に利用している。 ✓自家用自動車を保持していないため、100%自転車またはバスを利用している。 ✓出掛ける時は出来るだけ公共交通機関を利用するよう心掛けている。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野の公共交通は日常的に利用するほど利便性は良くない。どのお宅でもマイカー利用が主である。車を運転できなくなった人でもタクシーを利用したりしており、公共交通機関の使い辛さが露見していると思う。今後、車の運転ができなくなったことを考えると、今の公共交通手段では心配。

【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

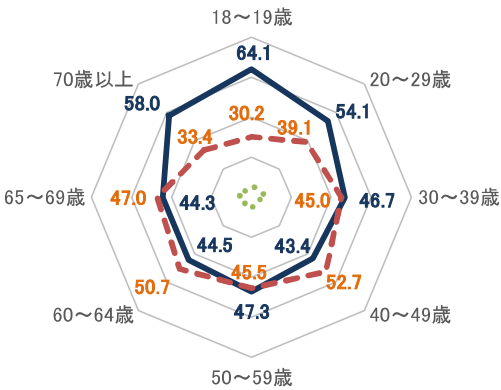
【区分】	【指標名】
○	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている

	H29	H30	R1	R2
肯定的評価割合	55.9%	48.4%	47.8%	49.3%
否定的評価割合	36.3%	44.4%	43.2%	43.4%
評価保留割合	5.6%	4.5%	5.3%	5.1%

現状値 (H28)	目標 (R3)	50.4%	
平均値 (H29～R2)		50.4%	

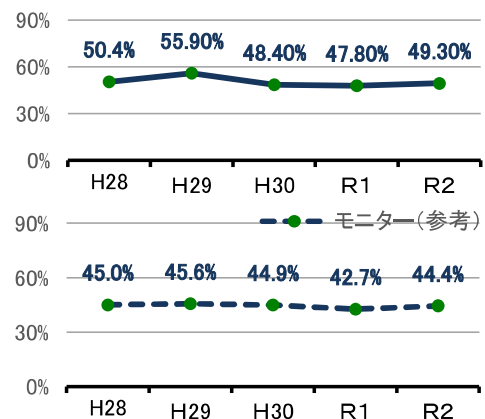
【令和2年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓無かったら学校行く手段が自転車しかない。 ✓意識はしている。 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまりしていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスがないと困る。 ✓支えるために利用する。 ✓使わないが必要だとは思う。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓時間に縛られるので不便を感じる。 ✓努力はしたが、身近に公共交通がない。 ✓何もしていない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓将来の移動を守るための保険でもあるので、ある程度の税負担も許容すべきと考えている。 ✓極力利用するようにしている。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓不便である。料金が低い。 ✓理解はしているが、電車は通ってないし、バスは料金が高く終了時刻が早くて利用できない。
<ul style="list-style-type: none"> ✓皆が不便をしないように、考えている。 ✓長野駅に向く際は電車移動を心掛けている。しかし不便である。 ✓必要なものではあると理解している。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓必要性は理解するが時間的に難しい。 ✓支えたいが、0歳児がいると車利用になる。 ✓理解はしているので、善意に頼らず、必要な分の税金を徴収していただいて構いません。
<ul style="list-style-type: none"> ✓買い物に行くときは電車を利用する。 ✓早く安心してバスや電車に乗りたい。 ✓新幹線で通勤している。 ✓積極的に利用しているが料金が低い。 ✓バスの充実を望むが、現時点では電車が主である。 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に何もしていない。 ✓なにもしていない。 ✓関わりがない。 ✓人とかかわるのは面倒である。 ✓そうは思うが自家用車に頼る。
<ul style="list-style-type: none"> ✓支える取り組みに参画している。 ✓公共交通機関が整っていれば利用する。 	60~64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通を維持したいが、今は利便性を優先する方がメリット多い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓できる限り電車、バスを使おうと思っている。 ✓中山間地に不可欠なライフライン。利用増は望めないが、利便性向上を図り減少に歯止めをかけたい。 	65~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓今は車なしの生活は考えられないが、なるべく公共交通を心掛けたい。 ✓利用したくても本数も少なく行先への利便性が無い。
<ul style="list-style-type: none"> ✓高齢者には、医療と同様に重要だ。 ✓使いやすいようにしてほしい。 ✓電車・バスを優先して利用している。 ✓高齢化の時代となり、自家用車を使えない人も増えると思う。 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通機関の必要性は理解できるが、利用する側の対象者別(年齢・健康状態・家族構成)や用途別(買い物・通院・趣味娯楽他)と地域の住環境等を考慮し、住民の利用者ファーストにたった利便性を追及してほしい。